

令和4(2022)年度子ども・若者に関する  
WEB アンケート調査結果報告書



福岡県 大野城市  
令和5(2023)年 3 月



## 目 次

### I. 調査の概要

- 1. 調査の目的 . . . . . P1
- 2. 調査の方法 . . . . . P1
  - (1) 調査の対象
  - (2) 質問の内容
  - (3) 調査の実施と回収時期及び実施の方法
  - (4) 調査結果報告書の構成について
  
- ◆ 「夢とみらいのこどもプランⅢ」成果指標の達成状況 . . . . . P5

### II. 調査の結果

- 1. 乳幼児期 . . . . . P6
  - (1) 生活習慣
  - (2) 外遊び
  
- 2. 学童期（小学2年生） . . . . . P7
  - (1) 生活習慣
  - (2) 遊び、考え
  
- 3. 学童期（小学5年生） . . . . . P9
  - (1) 生活習慣
  - (2) 遊び、考え
  - (3) 夢、海外への考え
  - (4) メディア、地域との関わり、夢【小2・小5年代比較】
  
- 4. 思春期（中学2年生） . . . . . P15
  - (1) 生活習慣
  - (2) 地域活動
  - (3) メディアとの関わり
  - (4) 青少年施設・事業
  - (5) 夢、考え
  
- 5. 青年期（17歳） . . . . . P21
  - (1) 生活習慣
  - (2) メディアとの関わり

(3) 青少年施設・事業	
(4) 夢、考え	
6. 青年期 (19 歳)	..... P27
(1) 生活習慣	
(2) メディアとの関わり	
(3) 青少年施設・事業	
(4) 夢、考え	
(5) 分析と考察	
7. ヤングケアラー	..... P32
8. 保護者	..... P37
(1) 子育てに関する意識	
(2) 子どもとの接し方	
(3) 子どもの勉強、進学	
(4) 子育て環境・支援	
(5) スマートフォン	
(6) 分析と考察	
9. こどもの貧困	..... P49

# I . 調査の概要

## 1. 調査の目的

大野城市は、平成20年に初めて策定された青少年育成基本計画である「夢とみらいの子どもプラン」（以下「プラン」という）を、平成26年に「夢とみらいの子どもプランⅡ」（以下「プランⅡ」という）、平成31年に「夢とみらいの子どもプランⅢ」（以下「プランⅢ」という）として改定し、時代の潮流や、子ども・若者の現状と課題に見合ったプランの推進を行ってきた。

今回の調査は、令和5年度で計画期間が終了する「プランⅢ」に掲げられた成果指標の達成度合いを調査するとともに、子どもや子育て家庭の生活状況や貧困実態を把握し、令和6年度から計画期間が始まる「プランⅣ」の策定など、今後市として効果的な施策を推進していくための基礎資料を得ることを目的とした。

## 2. 調査の方法

### (1) 調査の対象

調査の対象は、大野城市に住む乳幼児期から青年期までの子ども・若者（下記の表の対象年齢）及び保護者で、合計10,435人を対象とした。なお、標本の回収数は全体で3,930人分、回収率は37.66%（参考：前回調査は44.54%）であった。具体的な内訳および回収数、回収率は表1のとおりである。

表1. 調査対象および回収数、回収率の内訳

発達段階	対象者	調査人数	回収数	回収率
乳幼児期 (1～5歳)	1歳児の乳幼児の保護者（無作為抽出）	2,000人 (各400人)	693人	34.65%
	2歳児の乳幼児の保護者（無作為抽出）			
	3歳児の乳幼児の保護者（無作為抽出）			
	4歳児の乳幼児の保護者（無作為抽出）			
	5歳児の乳幼児の保護者（無作為抽出）			
学童期	大野城市立小学2年生（10校全クラス）	1,061人	708人	66.73%
学童期	大野城市立小学5年生（10校全クラス）	1,067人	781人	73.20%
学童保護者	小学2年生・5年生（10校全クラス）の保護者	2,128人	692人	32.52%
思春期(中2)	大野城市立中学2年生（5校全クラス）	1,074人	230人	21.42%
中2保護者	市立中学2年生（5校全クラス）の保護者	1,074人	357人	33.24%
青年期(17歳)	2005年4月2日～2006年4月1日生まれの市民（全員）	1,009人	288人	28.54%
青年期(19歳)	2003年4月2日～2004年4月1日生まれの市民（全員）	1,022人	181人	17.71%
合計		10,435人	3,930人	37.66%

## (2) 質問の内容

質問の内容は、対象者別に作成され、それぞれ次の質問項目によって構成されている。

### 1) 乳幼児をもつ保護者対象の質問

- ① 子育ての楽しさ、悩み、不安を問う質問
  - ② 子どもの生活習慣やメディアとの付き合い方を問う質問
  - ③ 大野城市の子育て環境と支援策を問う質問
  - ④ 家庭や家計を問う質問
- など 18 項目

### 2) 学童（小学2年生）の児童対象の質問

- ① 生活習慣を問う質問
  - ② 遊び、メディアとの関わり、自己意識を問う質問
  - ③ 将来の夢や目標を問う質問
- など 9 項目

### 3) 学童（小学5年生）の児童対象の質問

- ① 生活習慣を問う質問
  - ② 遊び、メディアとの関わり、自己意識を問う質問
  - ③ 将来の夢や目標、海外への考えを問う質問
- など 11 項目

### 4) 学童（小学2年生、5年生）の子どもをもつ保護者対象の質問

- ① 子育ての楽しさ、不安等を問う質問
  - ② 子どものメディアとの関わりを問う質問
  - ③ 家庭や家計を問う質問
  - ④ 子どもの教育、進学を問う質問
- など 21 項目

### 5) 思春期（中学2年生）対象の質問

- ① 生活習慣やメディアとの関わりを問う質問
  - ② 青少年育成事業との関わりを問う質問
  - ③ 将来の夢や海外への考え、自己に関する意識を問う質問
  - ④ 家族のお世話の状況を問う質問
- など 22 項目

### 6) 思春期（中学2年生）の子どもをもつ保護者対象の質問

- ① 子育ての楽しさ、不安等を問う質問
- ② 子どもとの関わりやスマートフォンとの関わりを問う質問
- ③ 子育て施設の認知度や必要な支援を問う質問
- ④ 家庭や家計を問う質問

- ⑤ 子どもの教育や進学を問う質問  
など 23 項目

7) 青年期（17 歳）対象の質問

- ① 生活習慣、メディアとの関わりを問う質問
- ② 青少年事業・施設との関わりを問う質問
- ③ 将来の夢や規範意識等を問う質問
- ④ 家族のお世話の状況を問う質問  
など 21 項目

8) 青年期（19 歳）対象の質問

- ① 生活習慣、メディアとの関わりを問う質問
- ② 青少年事業・施設との関わりを問う質問
- ③ 将来の夢や規範意識等を問う質問
- ④ 家族のお世話の状況を問う質問  
など 21 項目

(3) 調査の実施と回収時期及び実施の方法

調査は、令和 4（2022）年 10 月に市ホームページのアンケート機能を使い、QR コード読み取りによる WEB 方式によって実施した。アンケートの実施方法は表 2 のとおりである。

表 2. 回答の時期と実施方法

発達段階	回答時期	実施の方法
乳幼児期	令和 4（2022）年 10 月 1 日～10 月 19 日	QR コードを郵送で配布。WEB 回答。
学童期小 2 小 5		小学校に QR コードを配布。学校のタブレットを使って WEB 回答。
学童保護者		小学校経由で QR コード配布。WEB 回答。
思春期中 2		中学校経由で QR コード配布。WEB 回答。
中 2 保護者		中学校経由で QR コード配布。WEB 回答。
青年期 17 歳 19 歳		QR コードを郵送で配布。WEB 回答。

(4) 調査結果報告書の構成について

1) 本報告書は、資料編の各発達段階のアンケート結果を、前回（2018 年）調査との比較を中心に、各発達段階（乳幼児期、小学 2 年目、小学 5 年生、中学 2 年生、17 歳、19 歳）、ヤングケアラー、保護者、貧困の項目に分類し抜粋したものである。

なお、今回初めて調査する一部の項目については、令和 3 年 3 月に福岡県が実施した「青少年の健全育成に関する県民意識等調査（以下「県調査」という）」との比較を行なった。

2) 調査結果は、アンケートの各項目を集計、可視化（グラフ化）したものである。  
なお、数値の端数処理について、回答比率は小数点以下第 1 位を四捨五入して、整数表記としている。このため、表記上の百分率の合計が 100%にならない場合がある。

また、円グラフにおいて、1%未満のラベルは未表示としている。

3) (2) で示した質問内容のうち、本報告書ではとりわけ傾向が顕著である結果や、2018 年調査との比較において差が見られる結果を中心に抜粋して表示する。

◆ 夢とみらいの子どもプランⅢ（成果指標の達成状況）

発達段階	基本施策	成果指標	数値			評価※
			2023年 (プランⅢ目標値)	2018年 (現状値)	2022年 (調査値)	
乳幼児期 (妊娠期)	基本的な生活習慣づくりの推進	午後9時までに就寝する乳幼児の割合	60%以上	29%	26%	×
	子育てしやすい環境の充実	子育てを楽しんでいると思う割合	90%以上	80%	83%	○
	仕事と子育ての両立支援	ワーク・ライフ・バランスがとれていると回答した人の割合（「とれている」「どちらかといえばとれている」の合計）	60%	45% (2016年)	61%	◎
学童期	学校・家庭・地域・行政が連携する子育ての推進	1年間に地域活動をしたことがある割合（小5）	99%以上	97%	89%	×
	心身ともに健やかな子どもの育成	メディア（テレビ、電子ゲーム、携帯電話）の1日の視聴・使用時間の合計がおおよそ2時間以上の割合（小5）	85%以下	93%	49%	◎
	親と子が安心できる環境づくり	家族と話をよくする割合（小5）	95%以上	92%	90%	×
思春期	学校・家庭・地域・行政における青少年の育成	1年間に地域活動をしたことがある割合	85%	80%	88%	◎
	青少年の自尊感情と規範意識を育むための支援	「自分には好きなおもしろいところがある」の割合	50%以上	—	57%	◎
	多様な青少年育成の機会の充実	青少年育成事業（中学生リーダーズクラブ）の認知度の割合	30%以上	19%	17%	×
青年期 (17歳、19歳の平均)	規範意識の高い若者の育成	SNS等で個人情報を意識して使用している割合	50%以上	—	64%	◎
	社会参画の促進	選挙は大切な権利だと思う割合	70%以上	—	79%	◎
	社会的自立に向けた支援	将来の夢ややりたい職業がある割合（「はっきり決めている」「何となく決めている」の合計）	70%以上	61%	66%	○

※ ◎:目標を達成 ○:現状値(2018年)よりも状況改善 △:現状値(2018年)から変化なし ×:現状値(2018年)より悪化

## II. 調査の結果

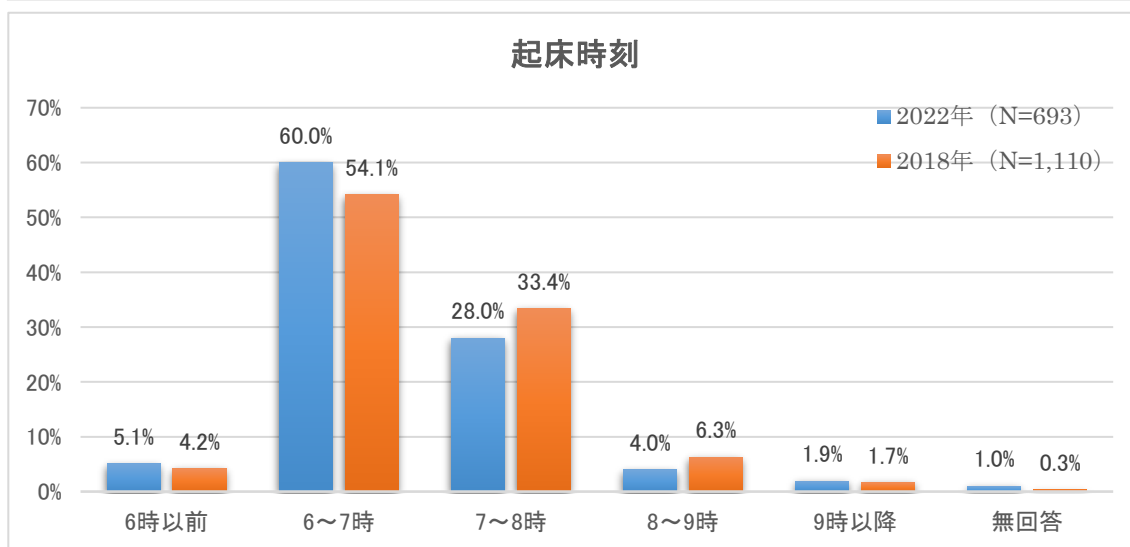
## 1. 乳幼児期

子どもの〈起床時間〉と〈就寝時間〉について尋ねたところ、前回調査と比較すると「6時以前」と「6時～7時」が増加し、全体的に起床時間が早まっている。一方、「午後9時までに就寝する幼児」は、25.5%で2018年調査時の28.2%からさらに低くなり、就寝時間が遅くなってきていることから、睡眠時間が短くなっている傾向がうかがえる。

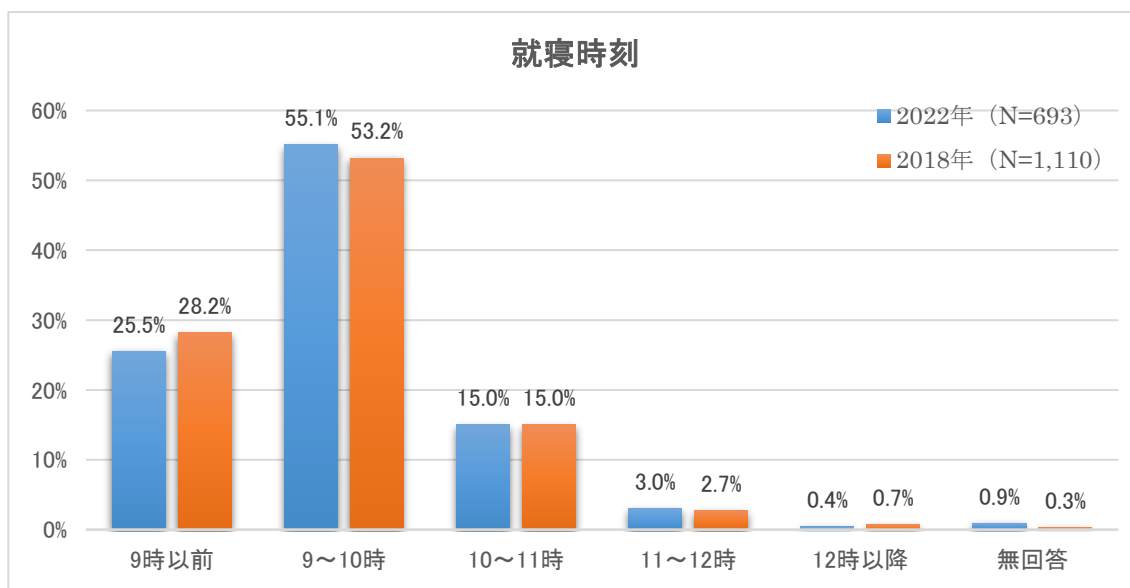
〈外遊び〉について尋ねたところ、「30分～1時間」「1時間～2時間」を合わせると全体の7～8割を占め、前回調査時とほぼ同じ傾向にある。

### (1) 生活習慣

問：お子さまは、平日、何時に起きていますか。

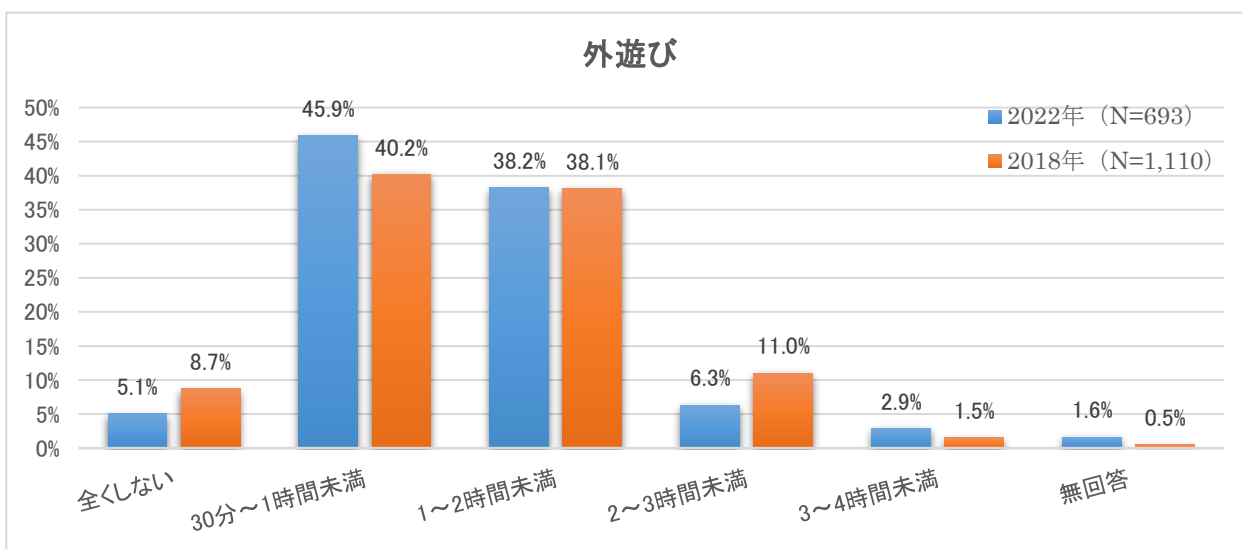


問：お子さまは、平日、夜何時に寝ていますか。



## (2) 外遊び

問：お子さまは、一日にどのくらい外遊びをしますか。



## 2. 学童期（小学2年生）

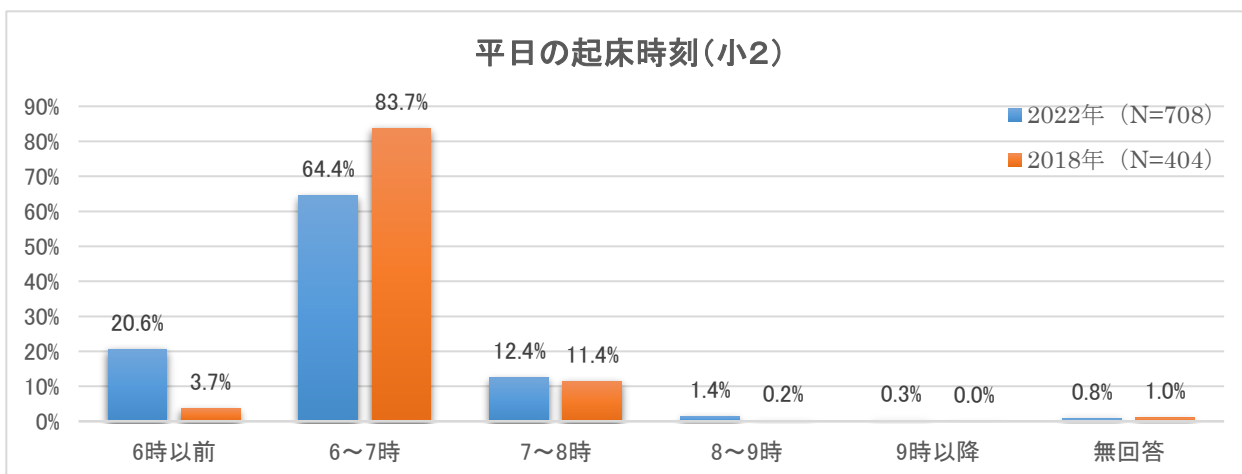
子どもの〈起床時間〉と〈就寝時間〉について尋ねたところ、前回調査と比較し、起床時間は「6時～7時」が減少し、「6時以前」が増加している。就寝時間は「9時～10時」が減少し「9時以前」が増加している。前回調査時と比べ、早く寝て早く起きる傾向にある。

「話をする」「食事をする」など〈家族と一緒にすること〉について尋ねたところ、どの項目においても前回調査時の数値から減少している。

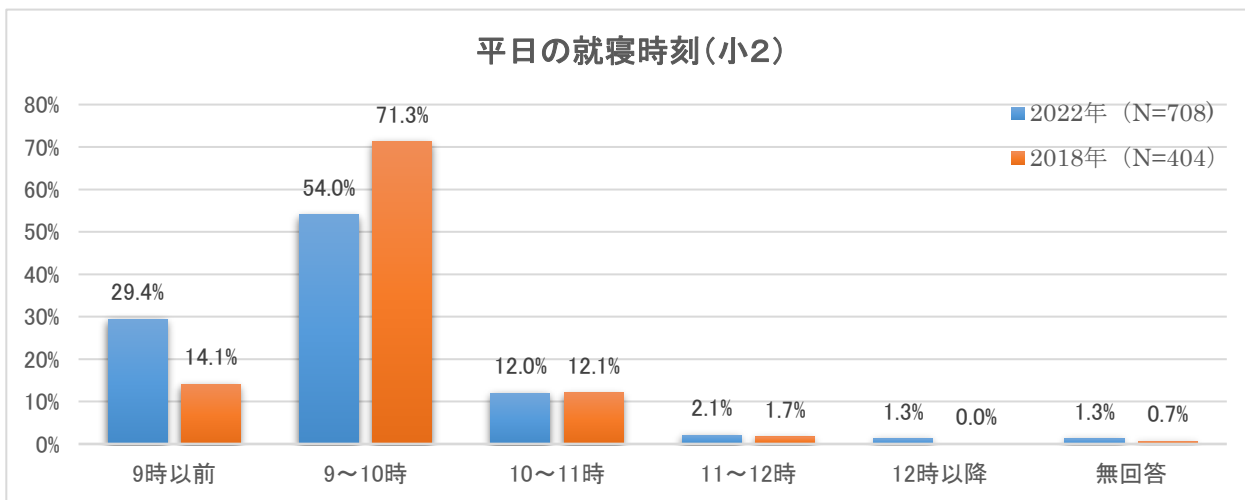
〈自己に関する意識や感情〉を尋ねたところ、前回調査時と比較し「失敗しても、あまり気にしない」が増加し、「自分の事を大事な人間だと思う」が減少している。今回から「家族や先生などまわりの人が、自分の気持ちをわかってくれていると思うか」という質問をしたところ、56.4%が「思う」と回答している。また、〈将来の夢や目標〉について尋ねたところ、「はっきり決めている」「なんとなく決めている」合計が、7割～8割を占めている。

## (1) 生活習慣

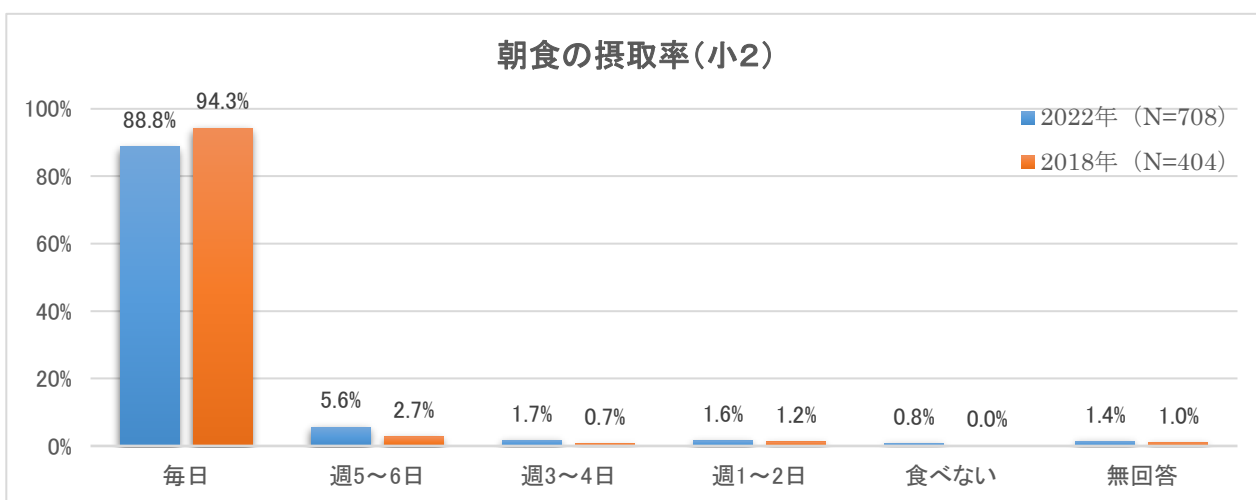
問：あなたは、学校に行く日、いつも何時に起きていますか。



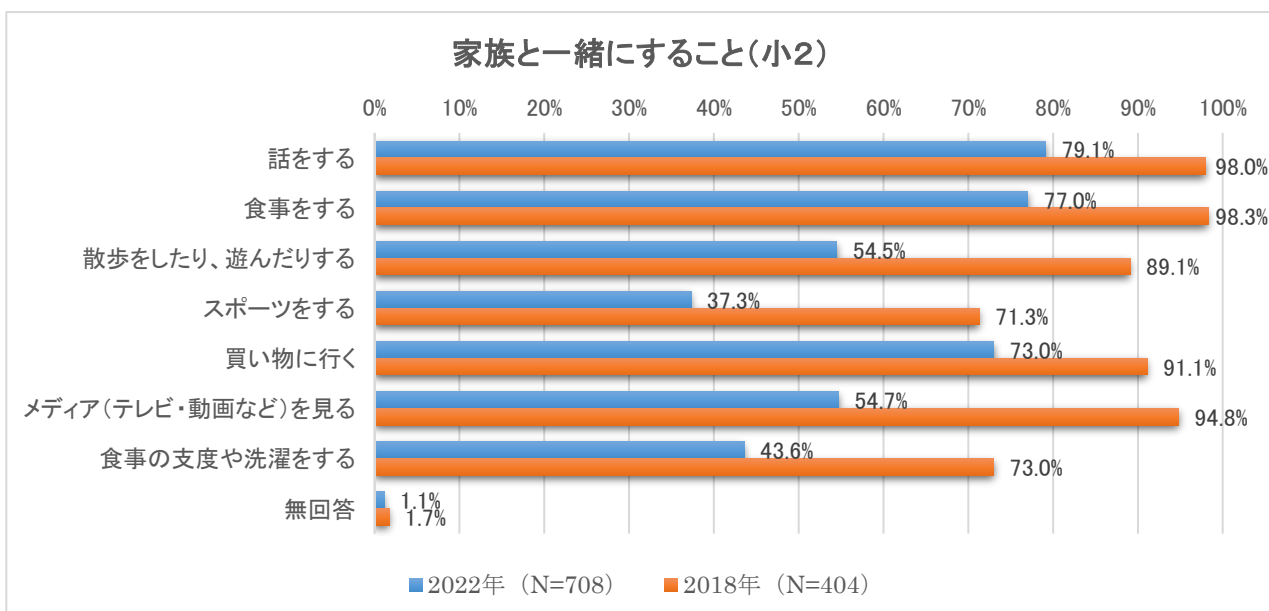
問：あなたは、学校に行く日、いつも何時に寝ていますか。



問：あなたは、朝ごはんを食べていますか。

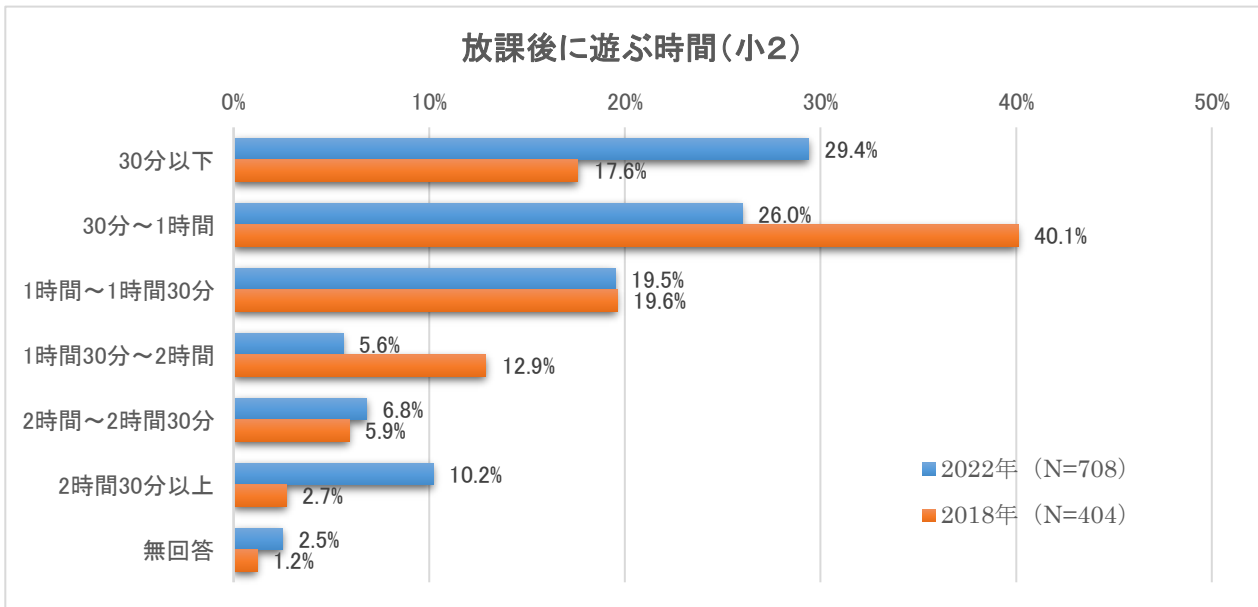


問：あなたが、おかあさんやおとうさんなどの家族と一緒にすることを選んでください。(複数回答可)

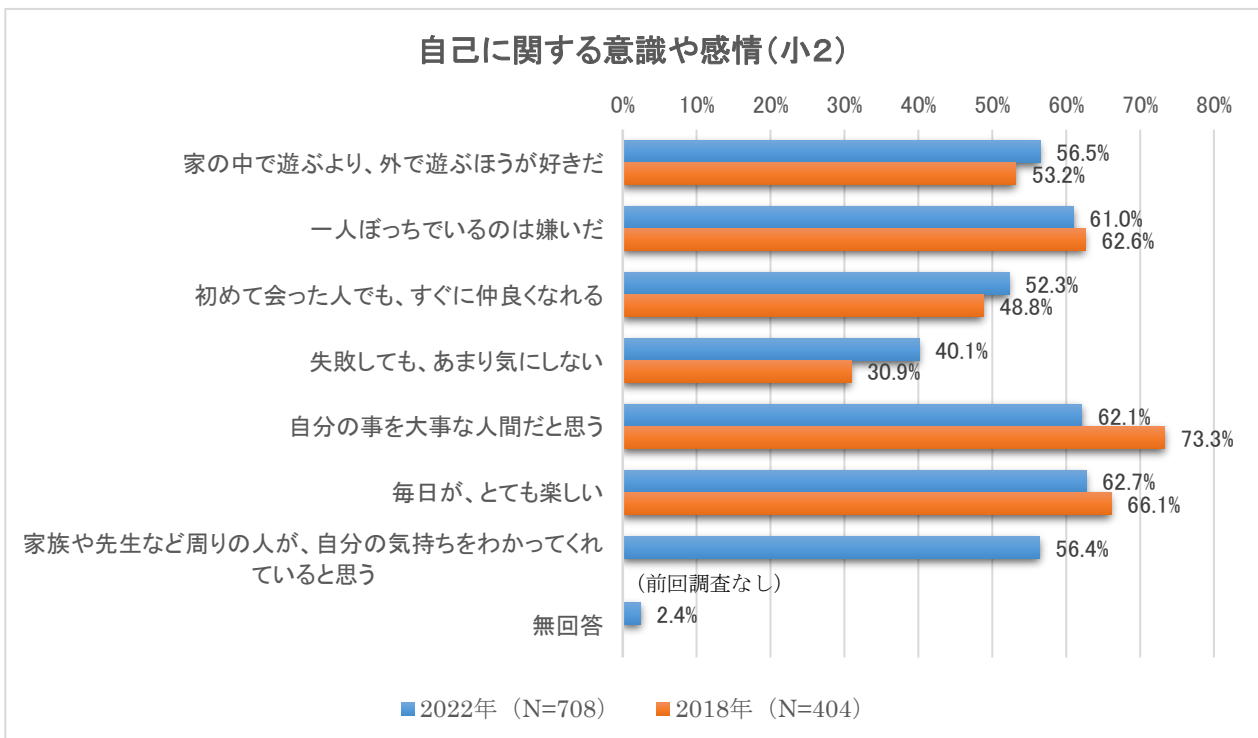


## (2) 遊び、考え

問：あなたは、月曜日から金曜日の放課後に、何時間くらい遊んでいますか。



問：次のことについて、あてはまるものを選んでください。(複数回答可)



## 3 学童期 (小学5年生)

子どもの〈起床時間〉と〈就寝時間〉について尋ねたところ、前回調査と比較し起床時間は「6時～7時」が減少し、「6時以前」が増加している。就寝時間は「9時～10時」が減少し、「9時以前」が増加している。小学2年生と同様、起床時間、就寝時間は共に早まっている。

「話をする」「食事をする」など〈家族と一緒にすること〉について尋ねたところ、どの項目においても前回調査時の数値から減少している。

〈自己に関する意識や感情〉を尋ねたところ、「過去の失敗をくよくよ考えることがある」と答えた割合が、37.6%から48.4%に増加した一方で、「自分に自信がある」と答えた割合が、34.2%から25.9%に減少している。

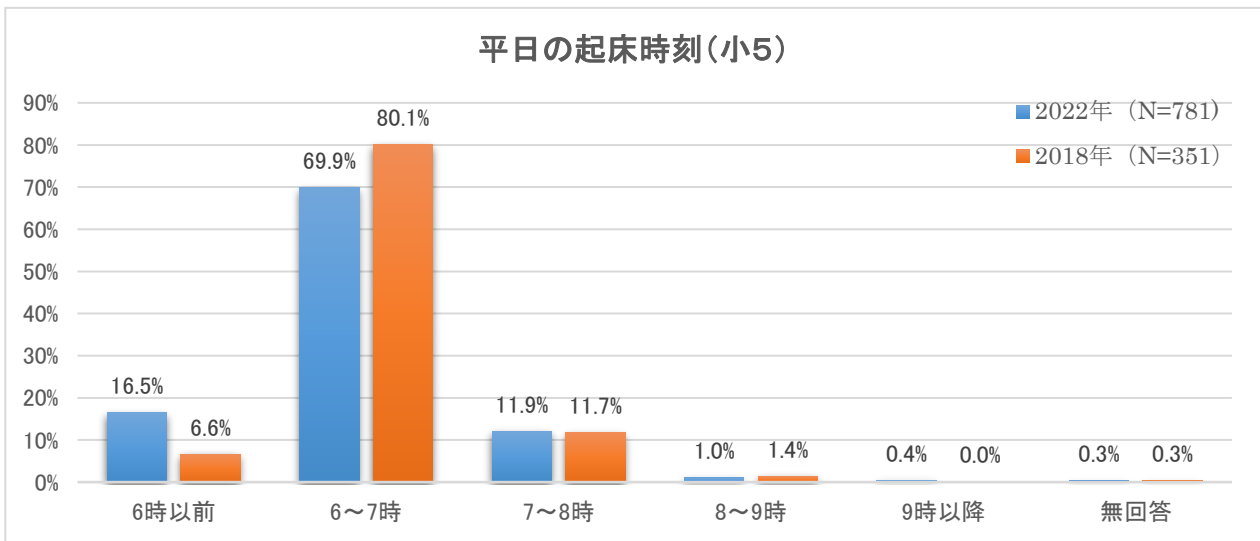
海外への考え方についての質問で、〈海外留学や海外での仕事をしたいと思うか〉を尋ねたところ、県調査と比較すると「わからない」の回答が多かった。〈海外留学や海外での仕事をしたいと思わない理由〉については、「外国語に自信がない」「危険の面で不安」の割合が高かった。

〈メディアとの関わり〉について、小学5年生、2年生、乳幼児期の年代ごとに比較すると、年齢が上がるにつれ、利用時間が長くなる傾向にあった。

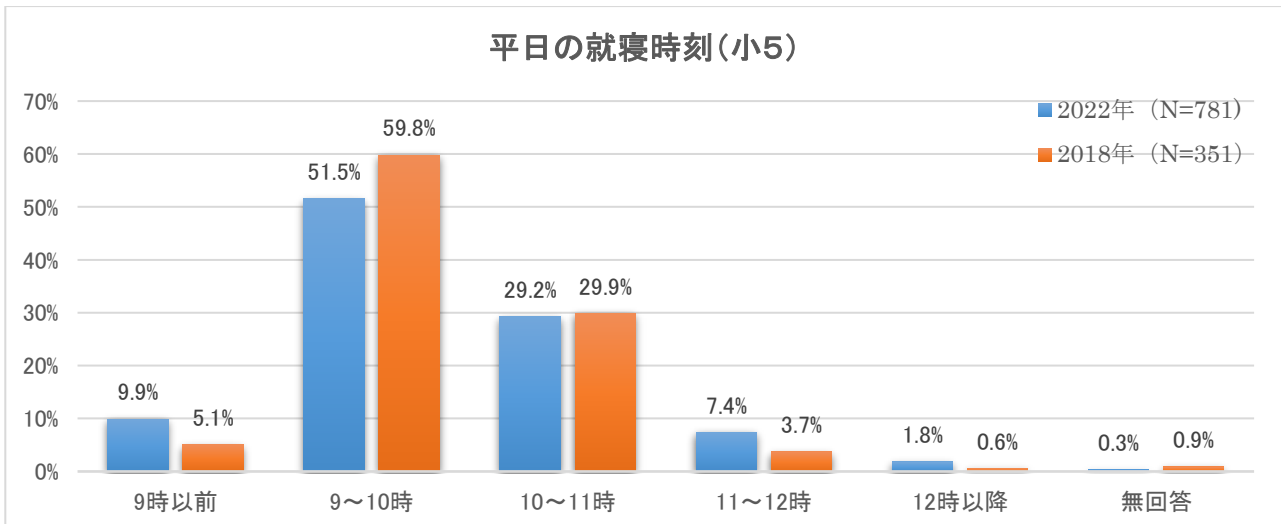
〈将来の夢や目標〉について尋ねたところ、小学2年生、5年生のどちらも「はっきり決めている」「なんとなく決めている」と回答した合計が7割～8割を占めている。

## (1) 生活習慣

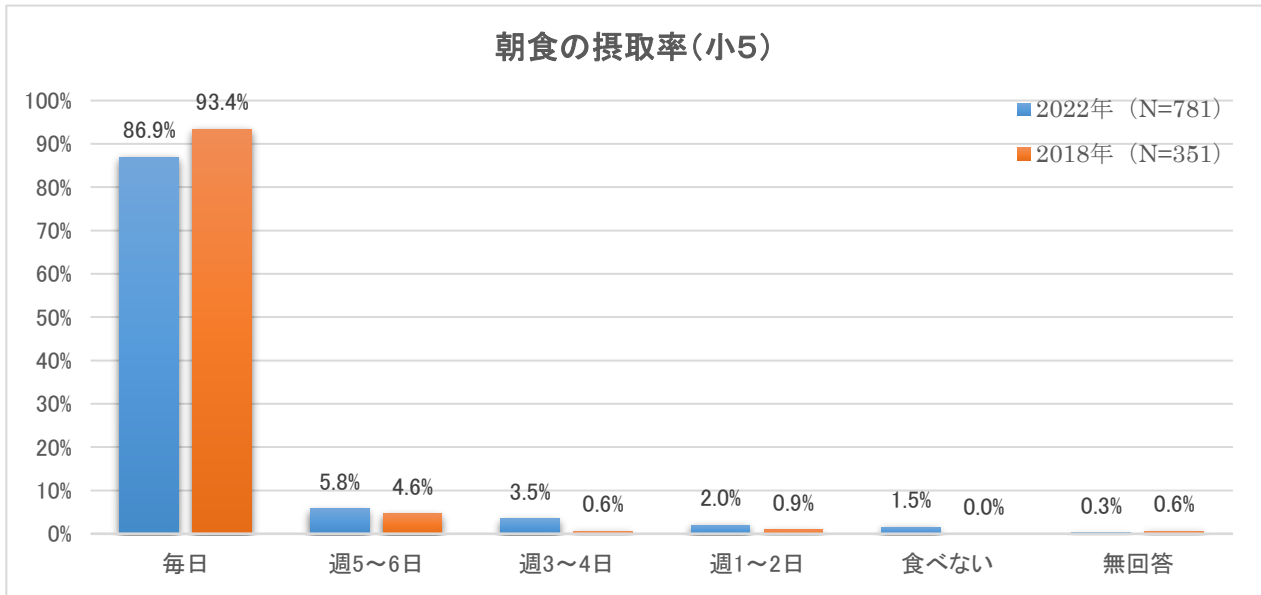
問：あなたは、学校に行く日、何時に起きていますか。



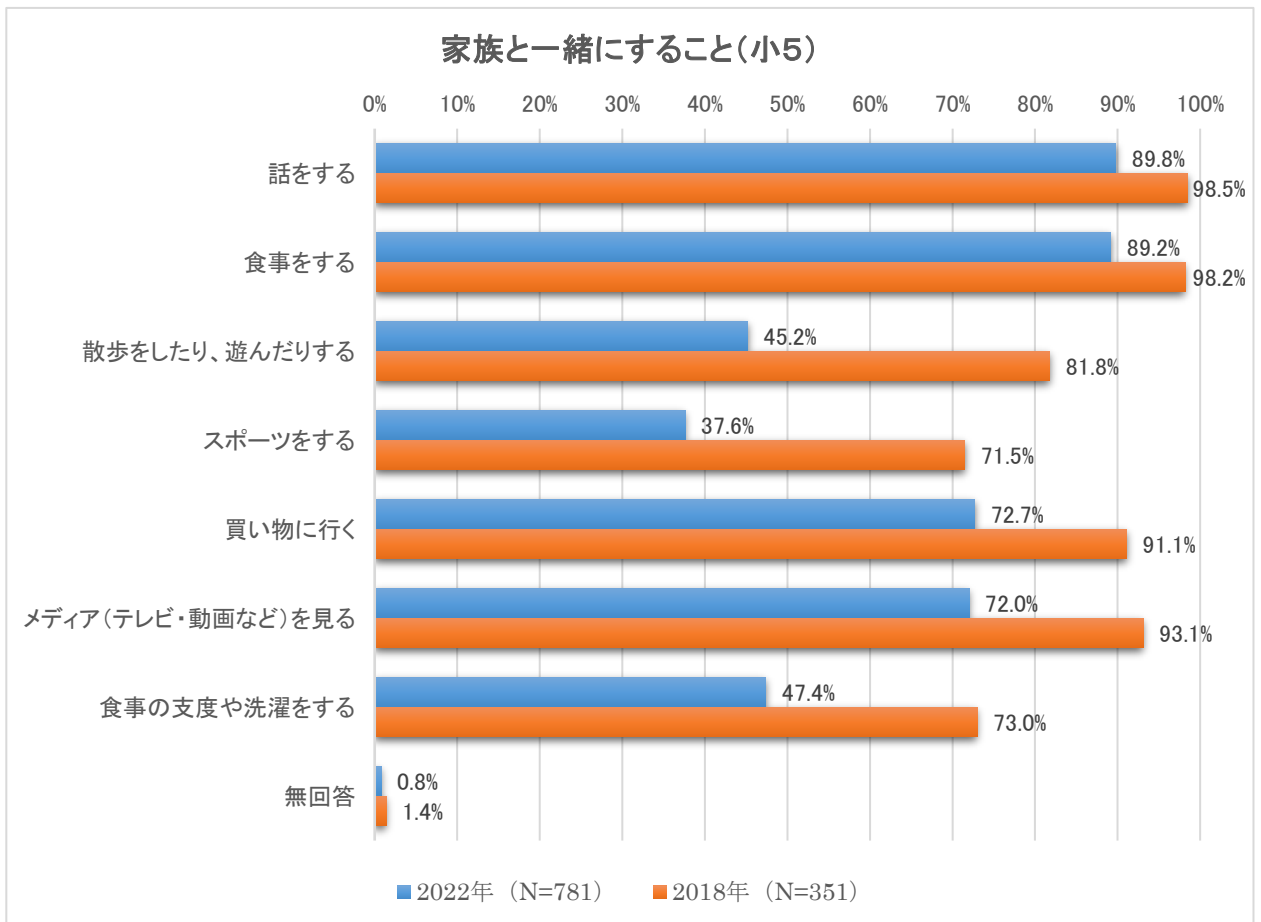
問：あなたは、学校に行く日、夜何時に寝ていますか。



問：あなたは、朝食を食べていますか。



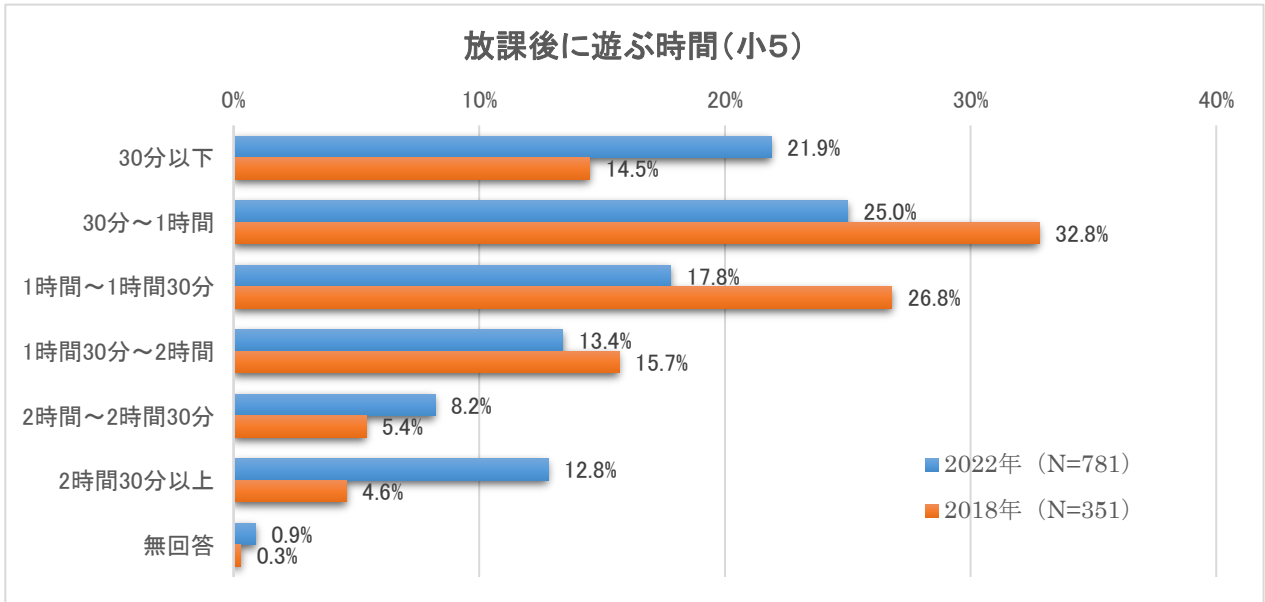
問：次のうち、あなたがお母さんやお父さんなどの家族と一緒にすることを選んでください。  
(複数回答可)



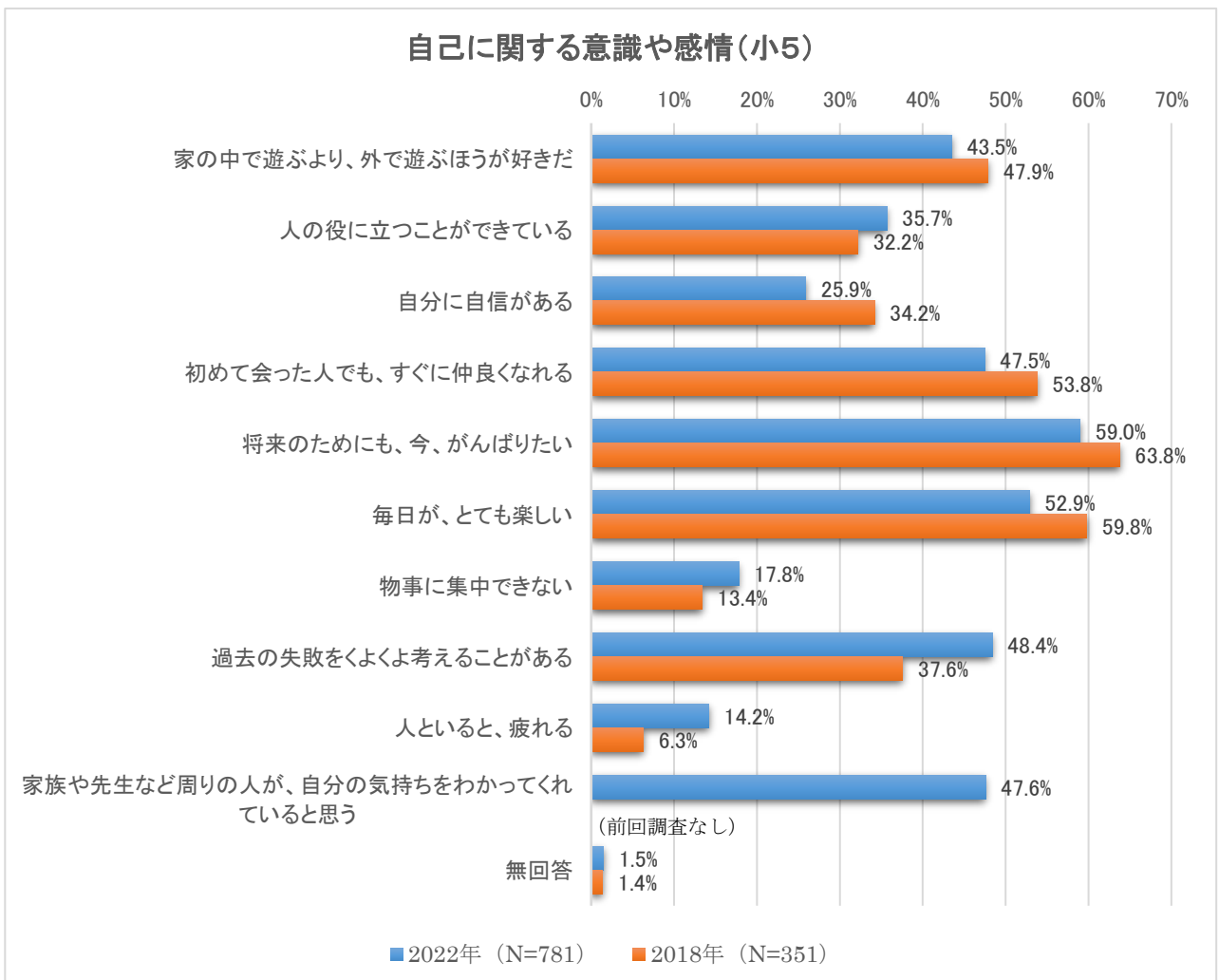
※ 2018年は「よくする」と「たまにする」の合計

(2) 遊び、考え

問：あなたは、月曜日から金曜日の放課後に、1日に何時間くらい遊んでいますか。  
(テレビ・ゲーム以外に)

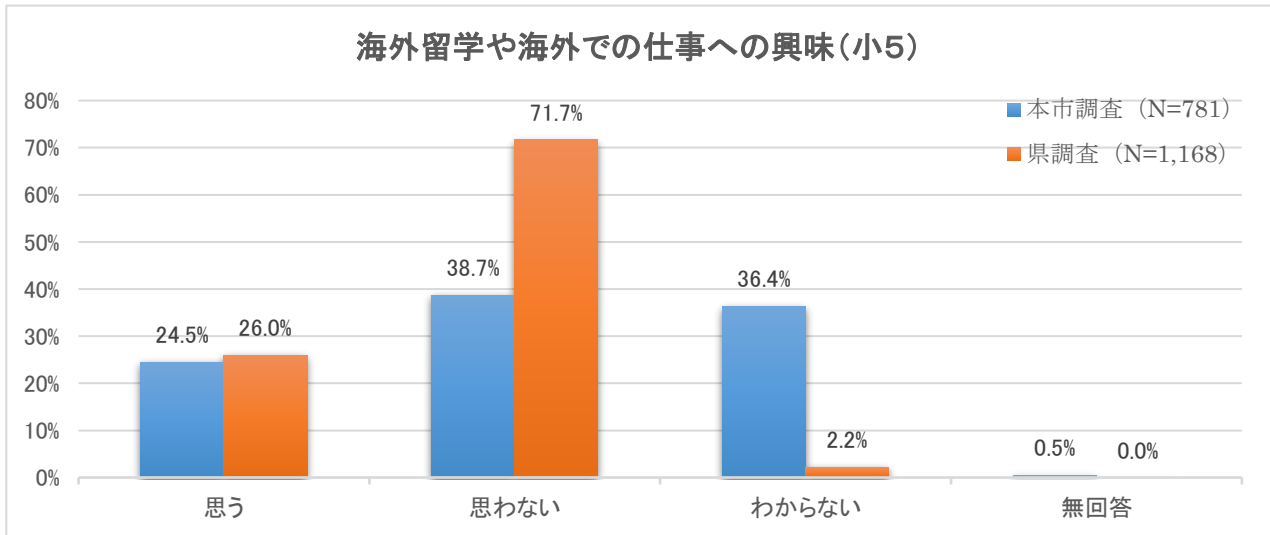


問：次のことについて、あてはまるものを全部選んでください。(複数回答可)



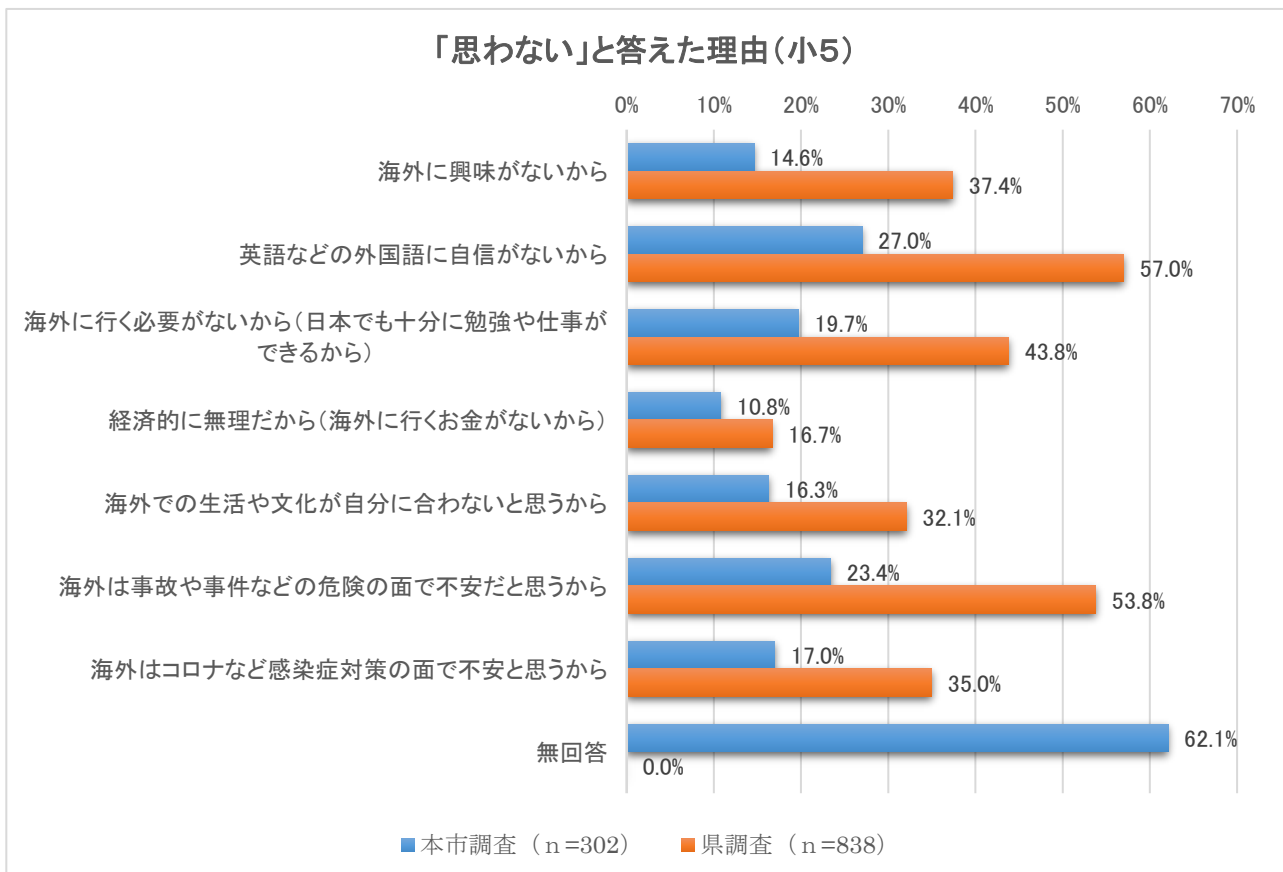
### (3) 夢、海外への考え方

問：海外留学や海外で仕事をしたいと思いませんか。



※ 県調査は小学6年生が対象

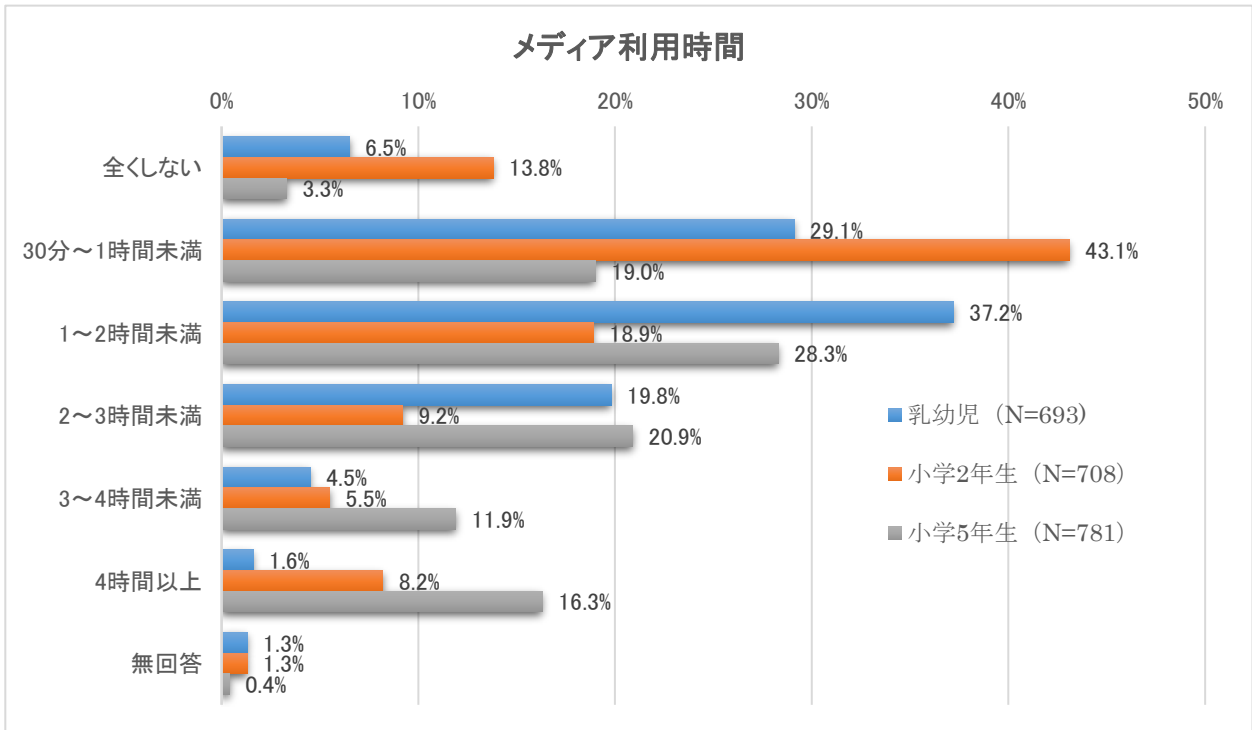
問：前問で「思わない」と答えた人にお聞きします。海外に出て、留学や仕事をしたいとは思わない理由を教えてください。(複数回答可)



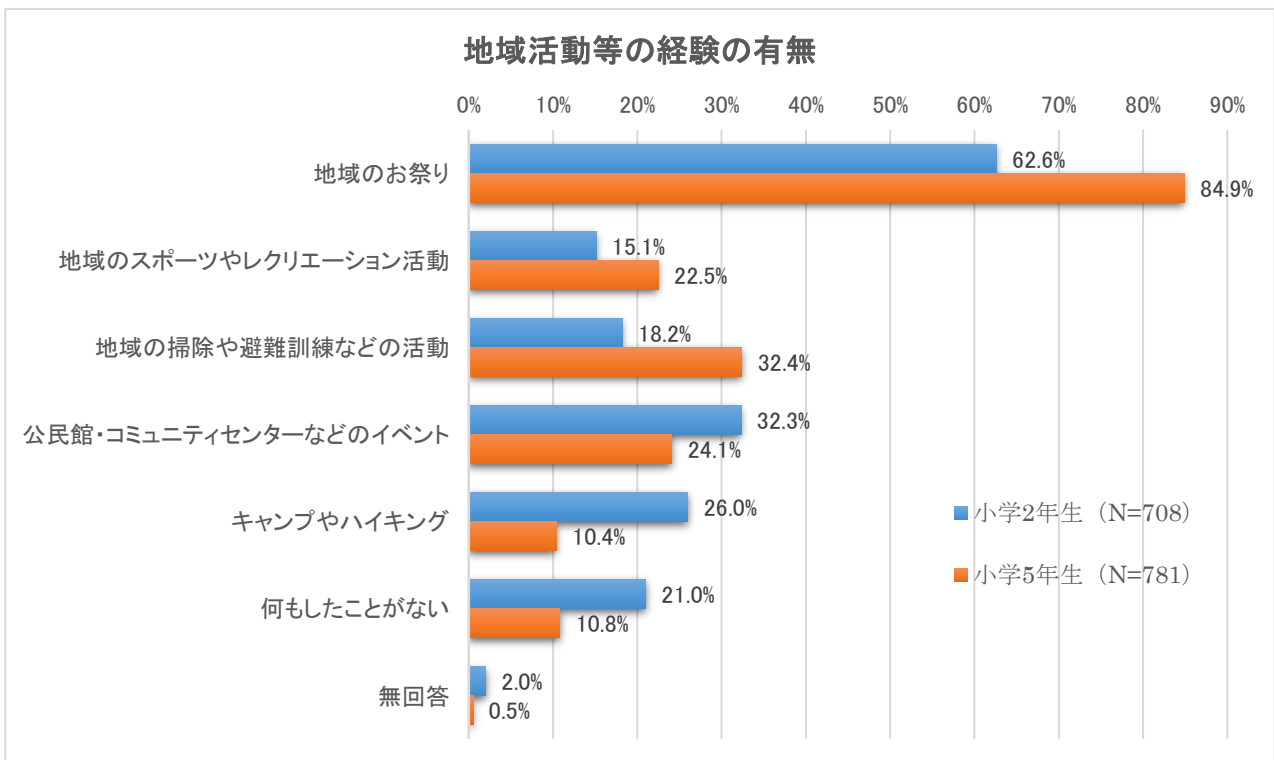
※ 県調査は小学6年生が対象

(4) メディア、地域との関わり、夢【乳幼児期（参考）、小2・小5、年代比較】

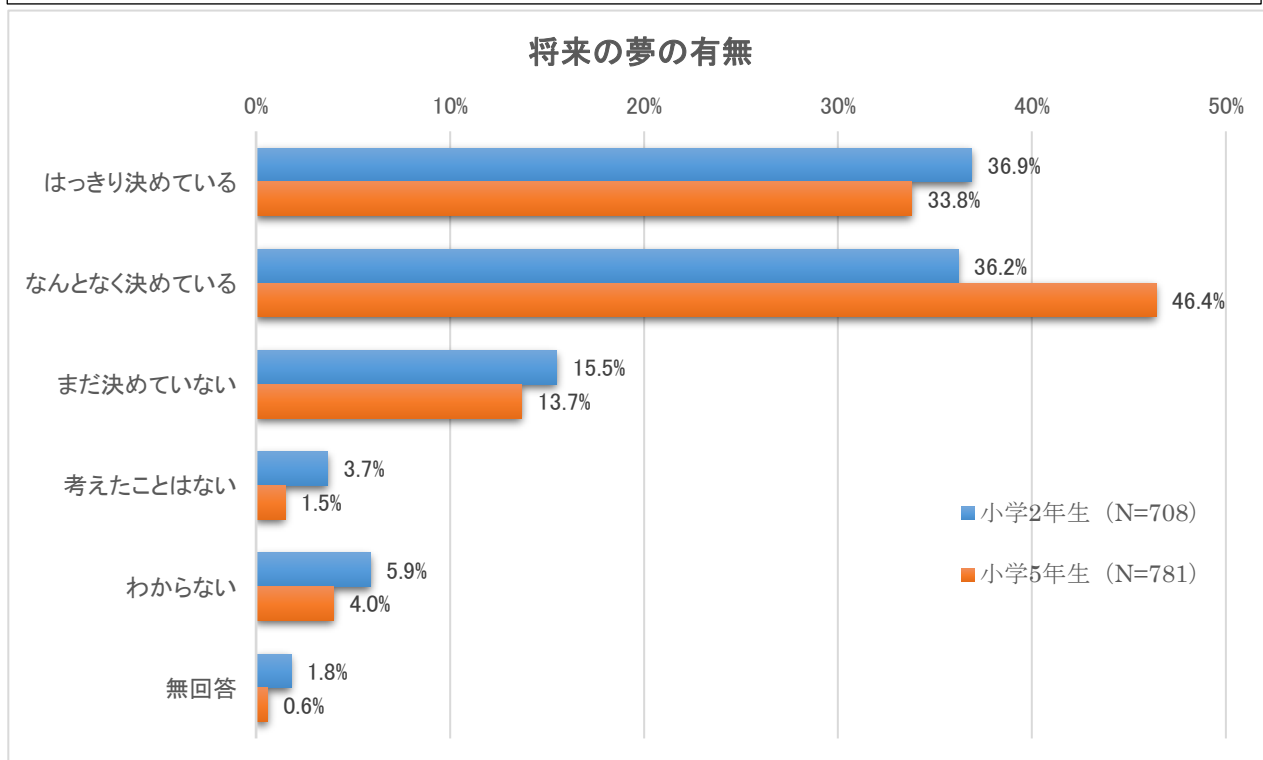
問：あなたは、月曜日から金曜日に一日にどのくらいメディア（テレビ、電子ゲーム、携帯電話など）を利用しますか。



問：あなたは、次の地域活動に参加したことがありますか。（複数回答可）



問：将来の夢や目標を決めていますか。



#### 4. 中学2年生

〈起床時間〉と〈就寝時間〉について尋ねたところ、前回調査時と比較して、起床時間に差はあまりないが、就寝時間では、早い時間帯（9時～10時）増加する半面、12時以降の遅い時間帯が増えている。

〈朝食〉について尋ねたところ、前回調査と比較して、「毎日食べる」が少し減っている。

メディアとの関わりでは、〈メディアの利用時間〉については、1日の利用時間が「1～2時間」、「2～3時間」と回答した割合が共に約3割を占めており、次に多いのは「4時間以上」となっている。〈メディアとの付き合い方〉については、「自分に合った使い方ができている」が最も多く、次に「ルール・使用時間を守る」「個人情報意識し使用している」が多かった。

〈大野城市の青少年事業、施設の認知度〉について尋ねたところ、「英語・日本語スピーチコンテスト」「ユープレ」を「知っている」と回答した割合は約3割で、「少年の船」や「中学生・高校生交流の翼」など、近年、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できていない事業の認知度は低い傾向にあった。

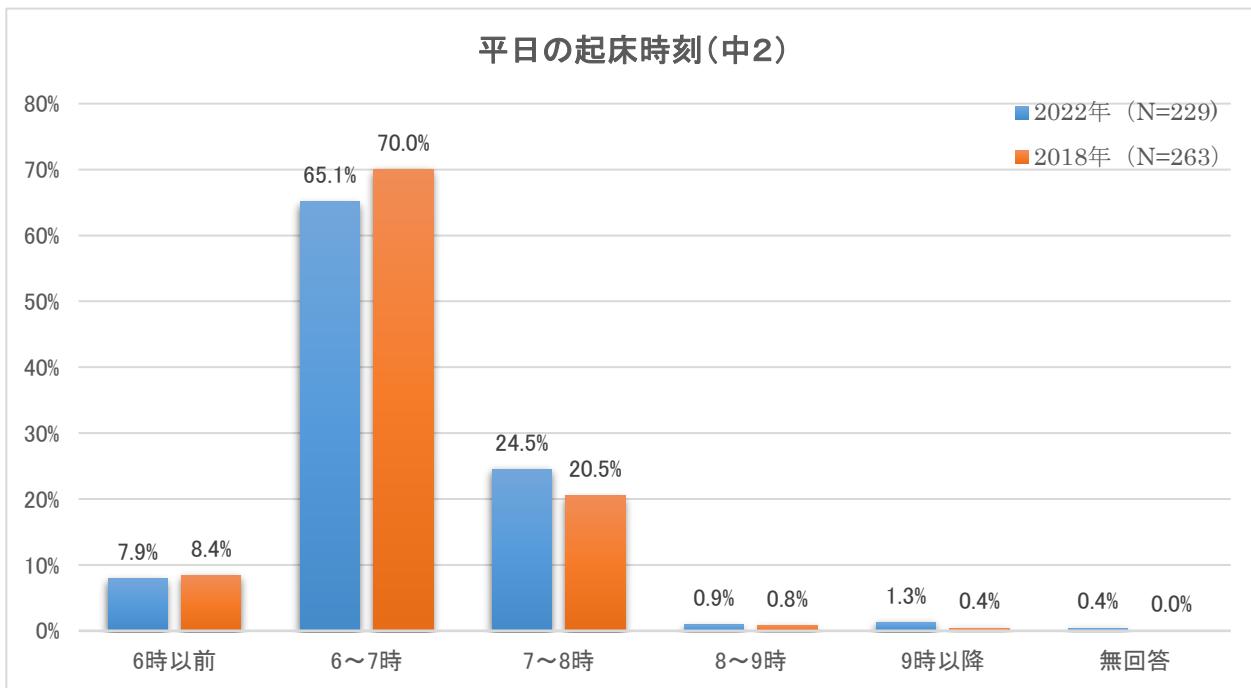
〈将来の夢や目標〉について尋ねたところ、「なんとなく決めている」が最も多く、次に「まだ決めていない」の割合が多い。

〈海外留学や海外での仕事をしたいと思うか〉尋ねたところ、「思わない」が55.5%と半数以上となっていた。「思わない」理由について尋ねたところ、「外国語に自信がない」が最も多く、次いで、「海外に行く必要が無い（日本でも十分勉強や仕事ができるから）」「事故や事件などの危険の面から不安」となっている。

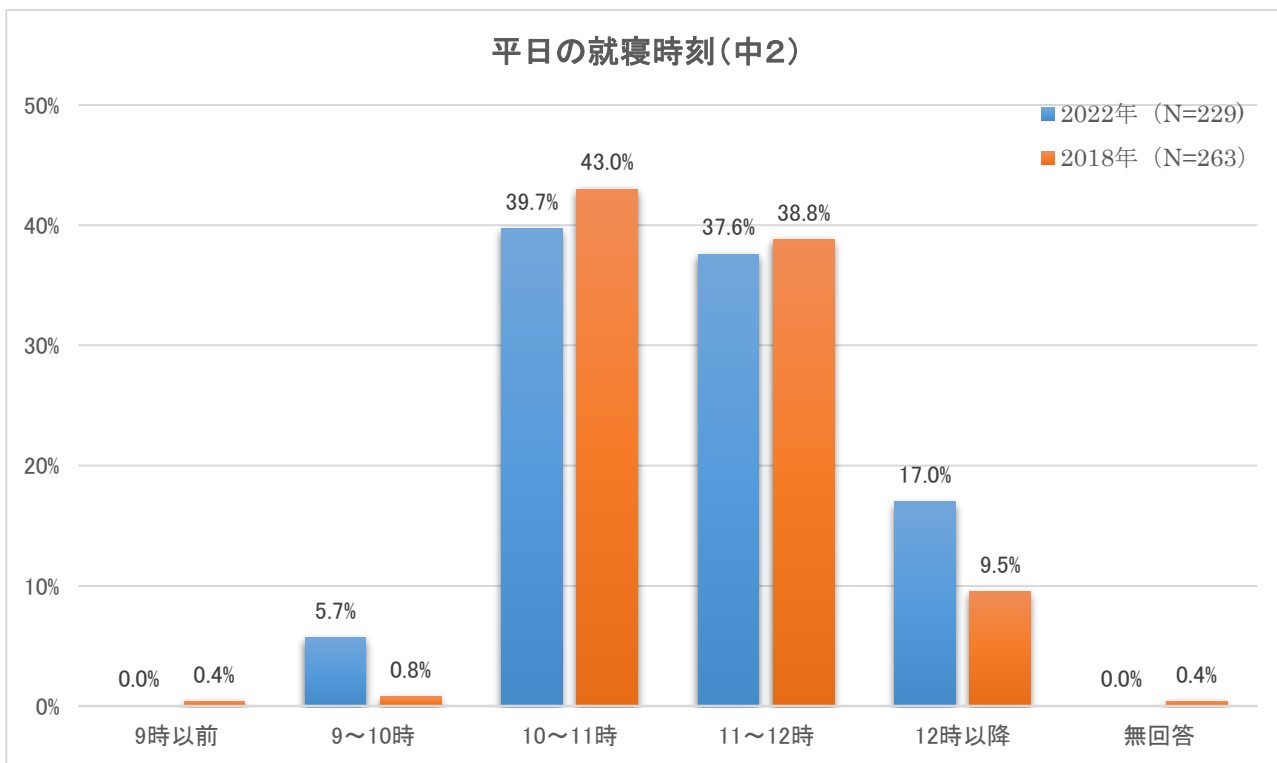
〈自己に関する意識や感情〉について尋ねたところ、前回調査と比較して、「人の役に立つことができている」「周りの人が自分の気持ちをわかってくれている」「人というとな疲れ」の回答割合が増え、「自分には好きなどころが1つはある」の回答割合は減っている。

(1) 生活習慣

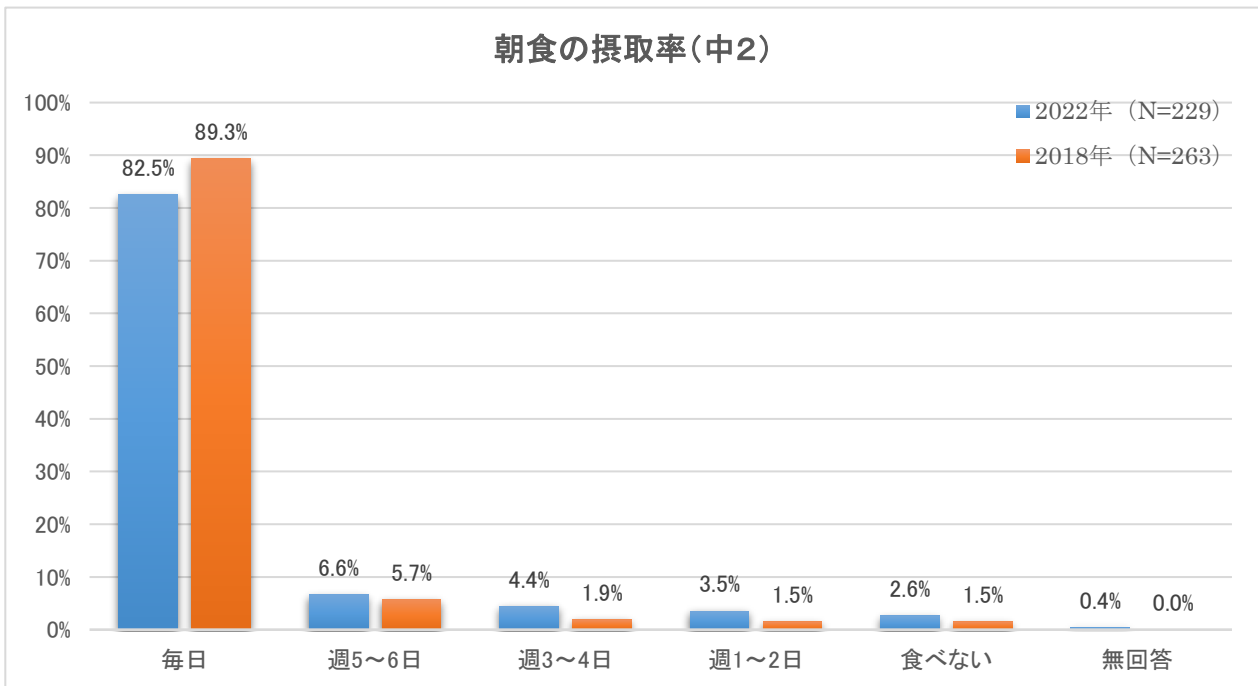
問：あなたは、平日、何時に起きていますか。



問：あなたは、平日、夜何時に寝ていますか。

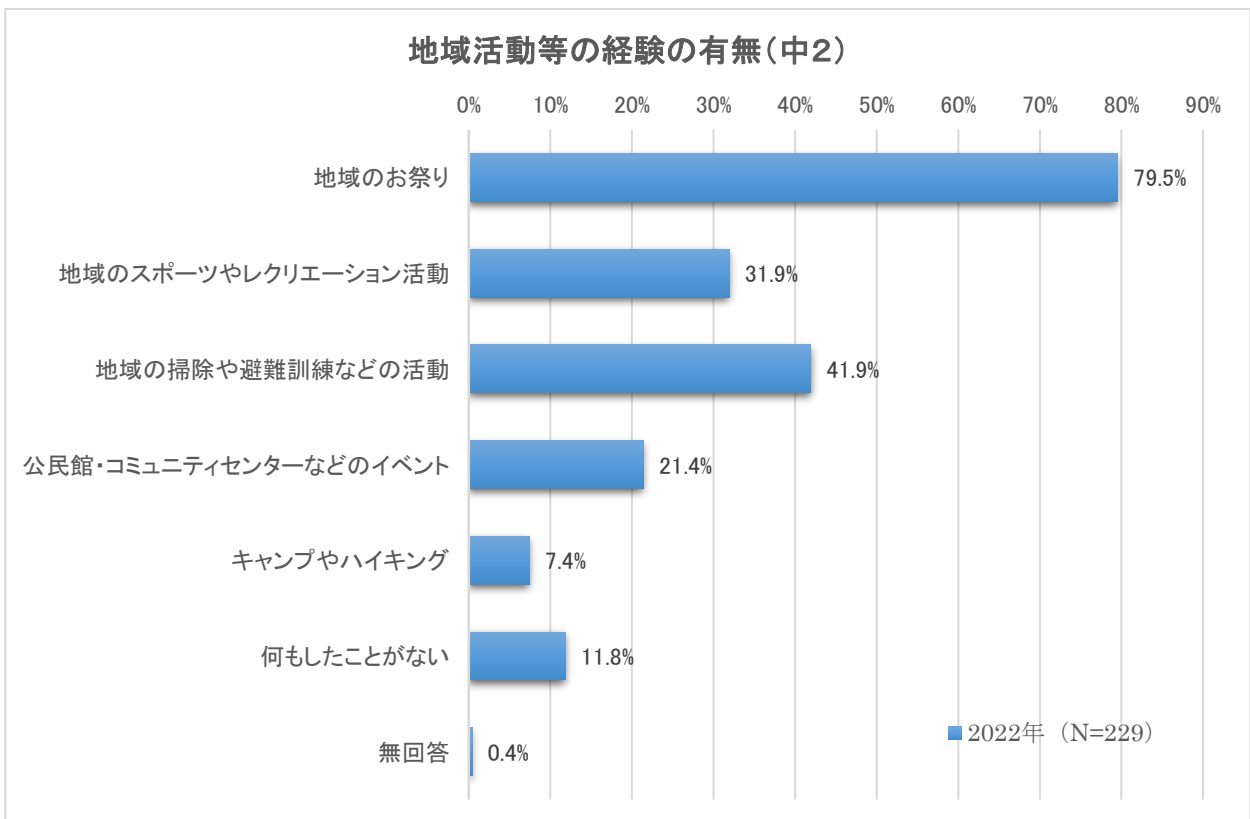


問：あなたは、朝食を食べていますか。



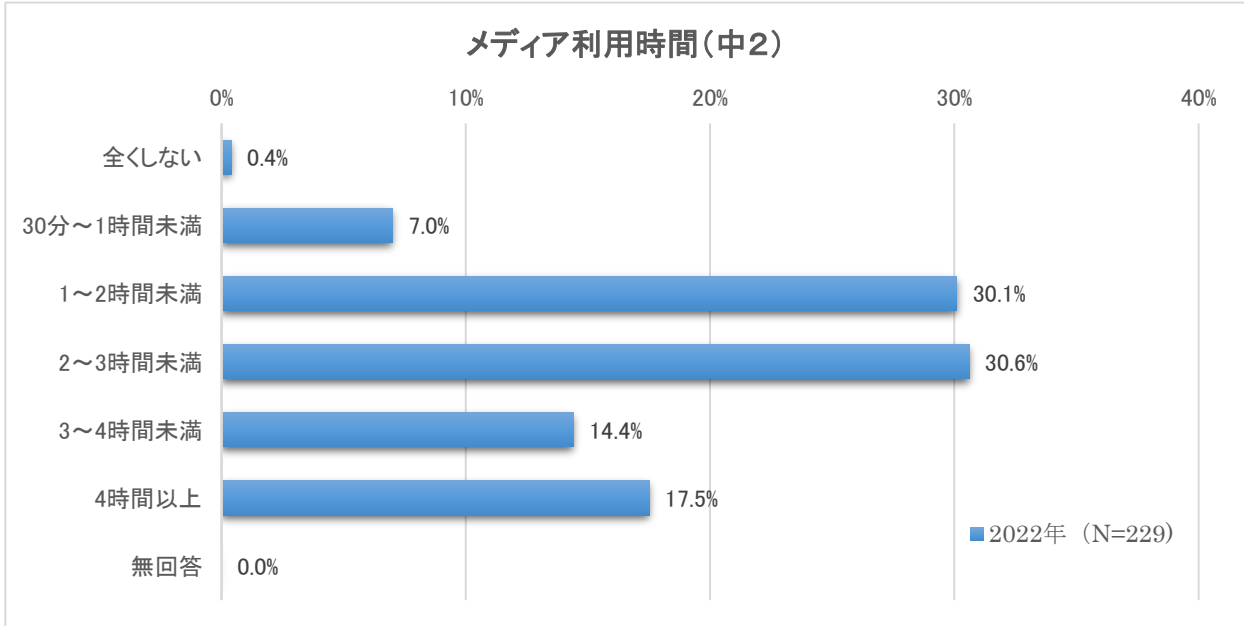
## (2) 地域活動

問：あなたは、次の地域活動に参加したことがありますか。(複数回答可)

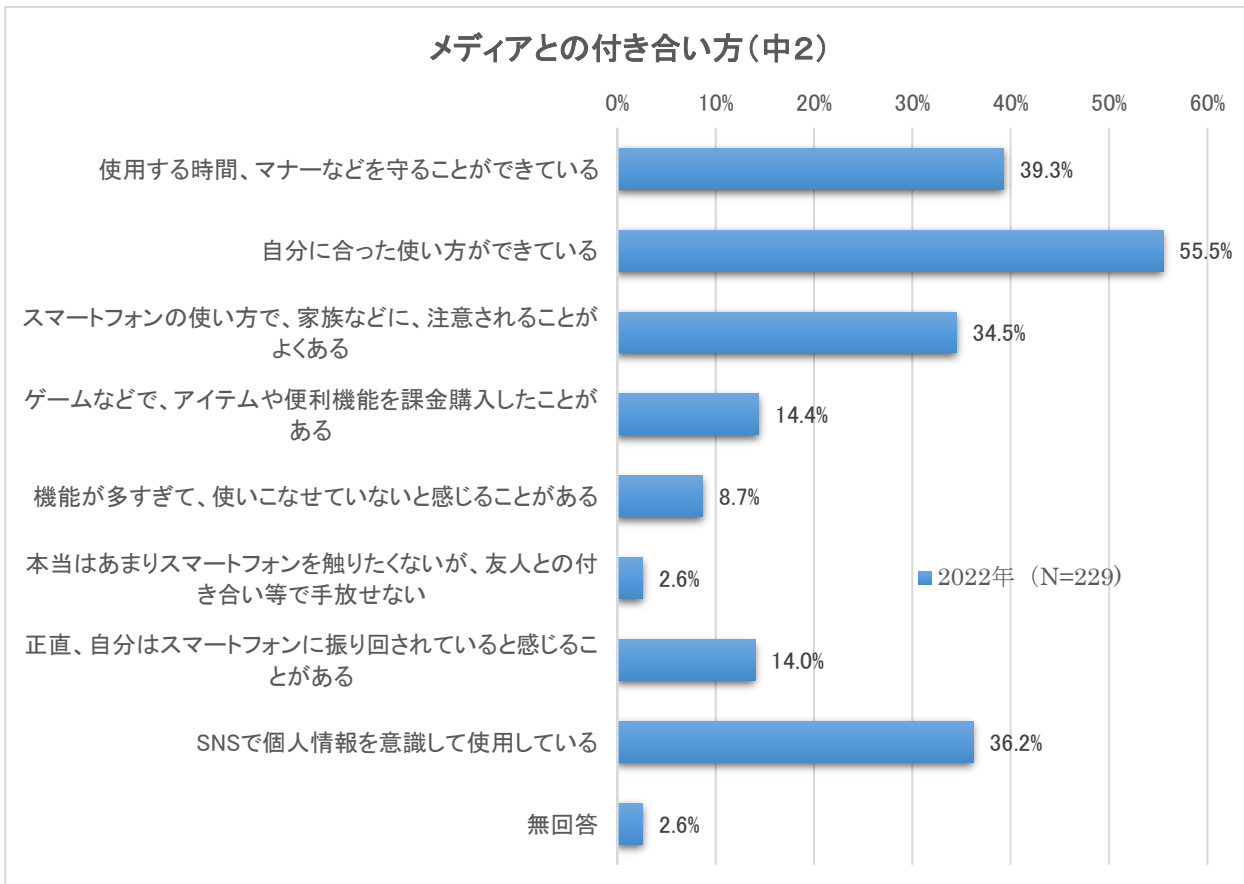


### (3) メディアとの関わり

問：あなたは、一日にどのくらいメディア（テレビ、電子ゲーム、携帯電話など）を利用しますか。

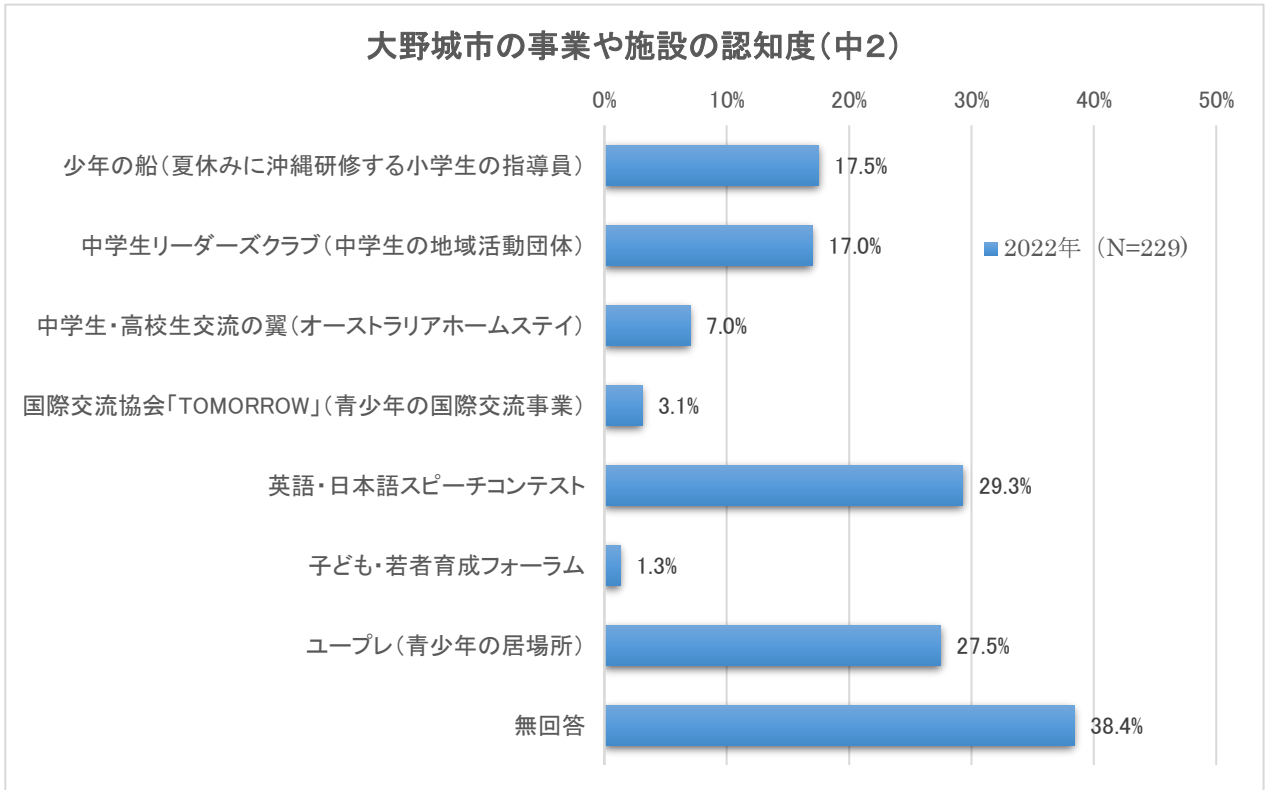


問：あなたの、パソコン、スマートフォンなどのメディアとの付き合い方について、あてはまるものを選択してください。(複数回答可)



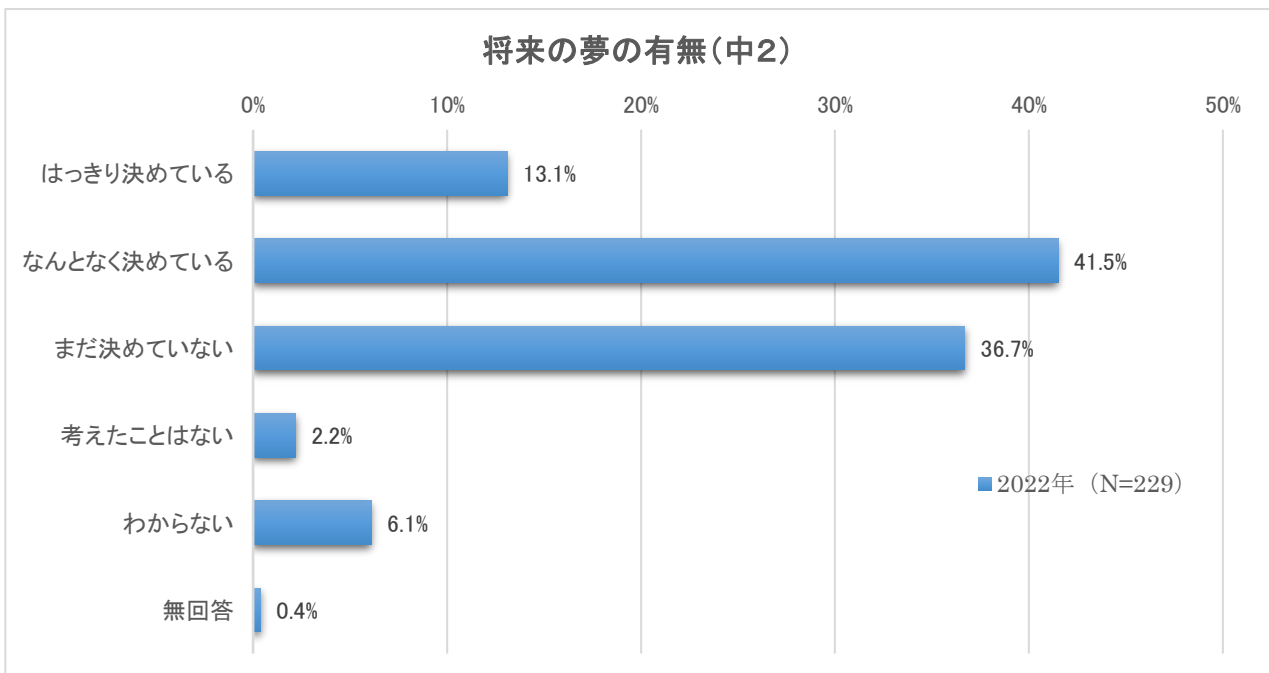
#### (4) 青少年事業、施設

問：大野城市の事業や施設で、あなたが知っているものを選択してください。(複数回答可)

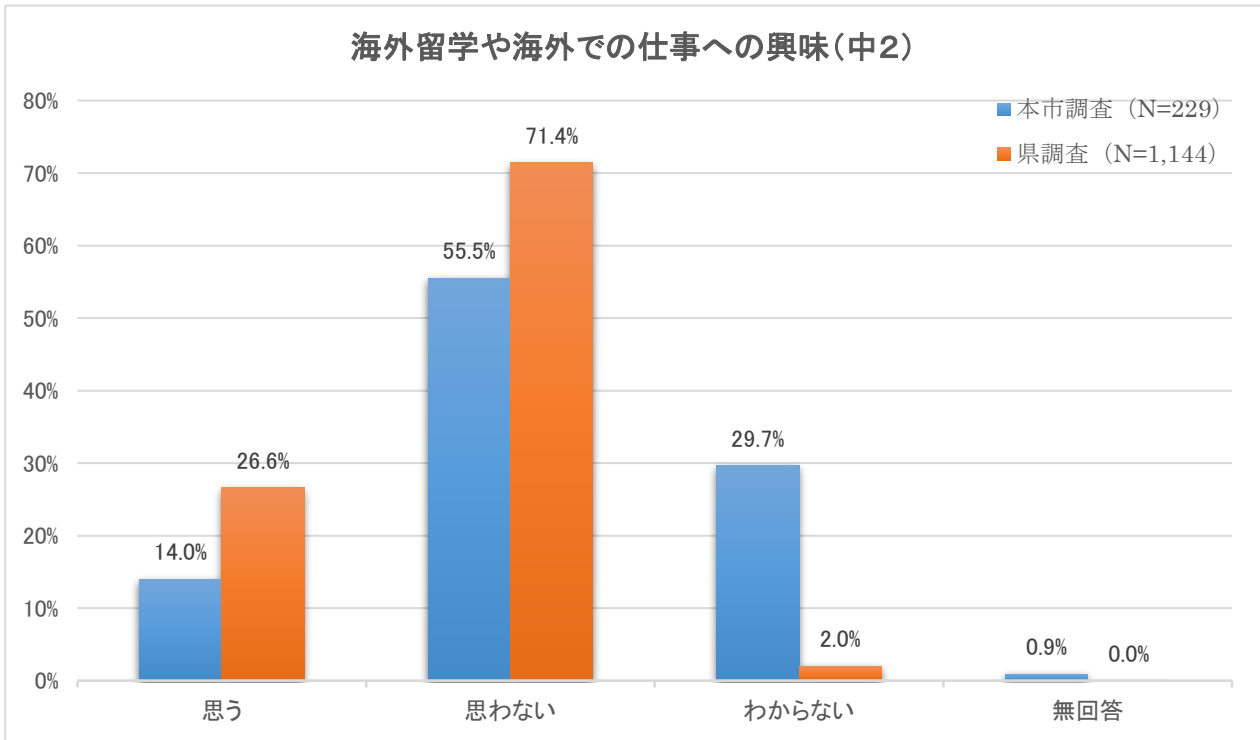


#### (5) 夢、考え

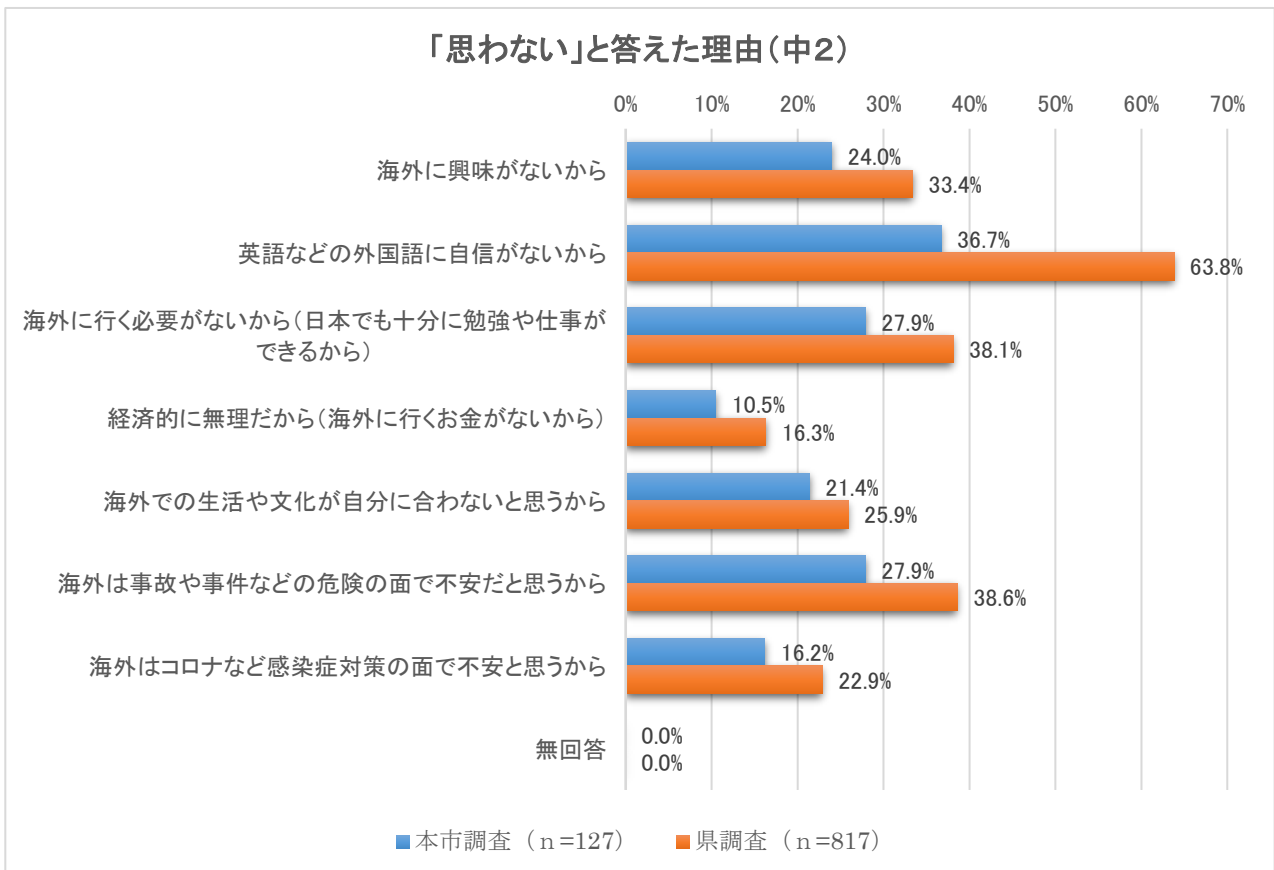
問：将来の夢や目標を決めていますか。



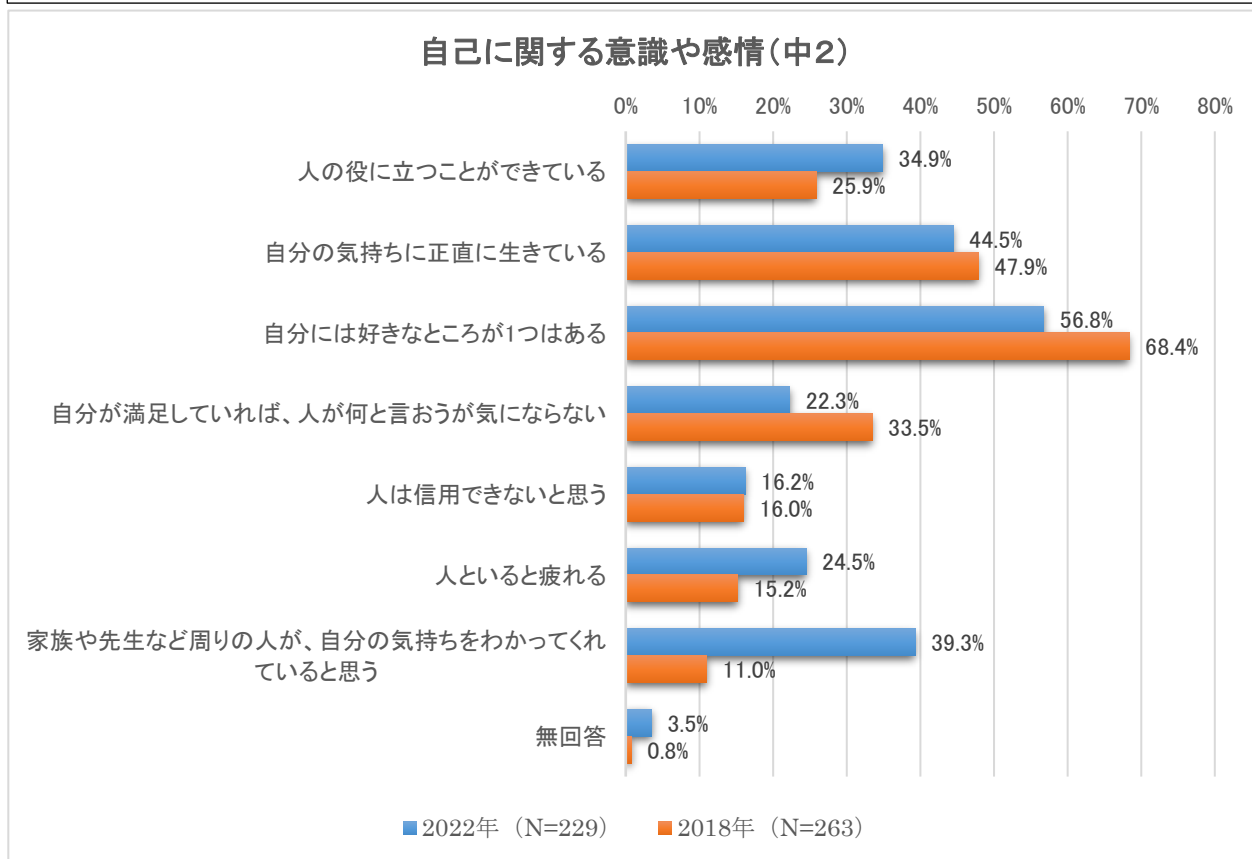
問：海外留学や海外で仕事をしたいと思えますか。



問：前問で「思わない」と回答した方にお尋ねします。海外に出て留学や仕事をしたいとは思わない理由を教えてください。(複数回答可)



問：あなたは、自分自身についてどのように思いますか。（複数回答可）



## 5. 青年期（17歳）

〈起床時間〉と〈就寝時間〉について尋ねたところ、前回調査時と比較して、起床時間は「6時以前」と「6時～7時」が減り「7時～8時」が増えている。就寝時間は「11時～12時」が減り「12時以降」が増えていて、生活リズムの夜型化が進んでいると推測される。

〈メディア利用時間〉について尋ねたところ、「2～3時間」が最も多く約3割を占めている。なお、「3～4時間」と「4時間以上」利用する割合を合わせると4割を超えている。

〈メディアとの付き合い方〉では、「SNS等で個人情報を意識して使用している」と回答した割合が59.6%、「自分に合った使い方ができている」と回答した割合が56.1%となっている一方で、30%の人が「正直、自分はスマートフォン等に振り回されていると感じることがある」と回答している。

〈大野城市の青少年事業、施設の認知度〉について尋ねたところ、「英語・日本語スピーチコンテスト」は約3割で、「ユープレ」の認知度は約2割である。

〈将来の夢や目標〉について尋ねたところ、「なんとなく決めている」の回答が最も多く、「まだ決めていない」も多い。

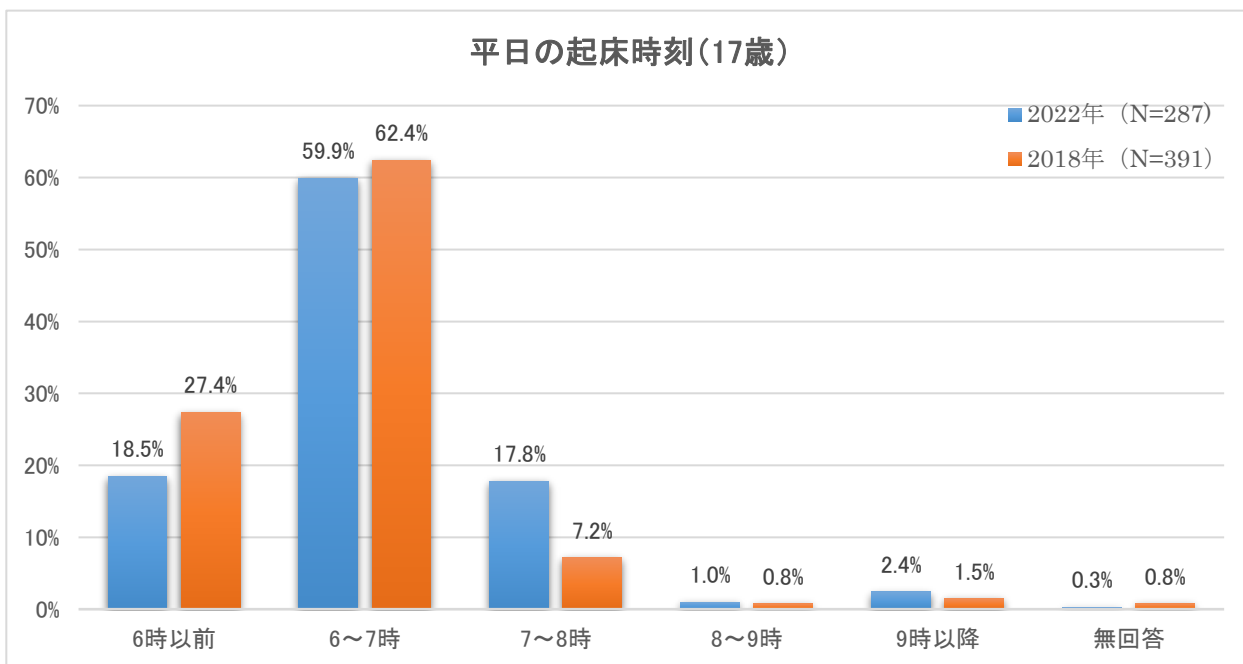
〈海外留学や海外での仕事をしたいか〉尋ねたところ、「思わない」が42.9%と最も多かった。その理由については、「外国語に自信がない」の回答が一番多く、次いで「海外に興味がない」が多かった。

〈選挙〉について尋ねたところ、「大切な権利だと思う」が8割近くを占めている。

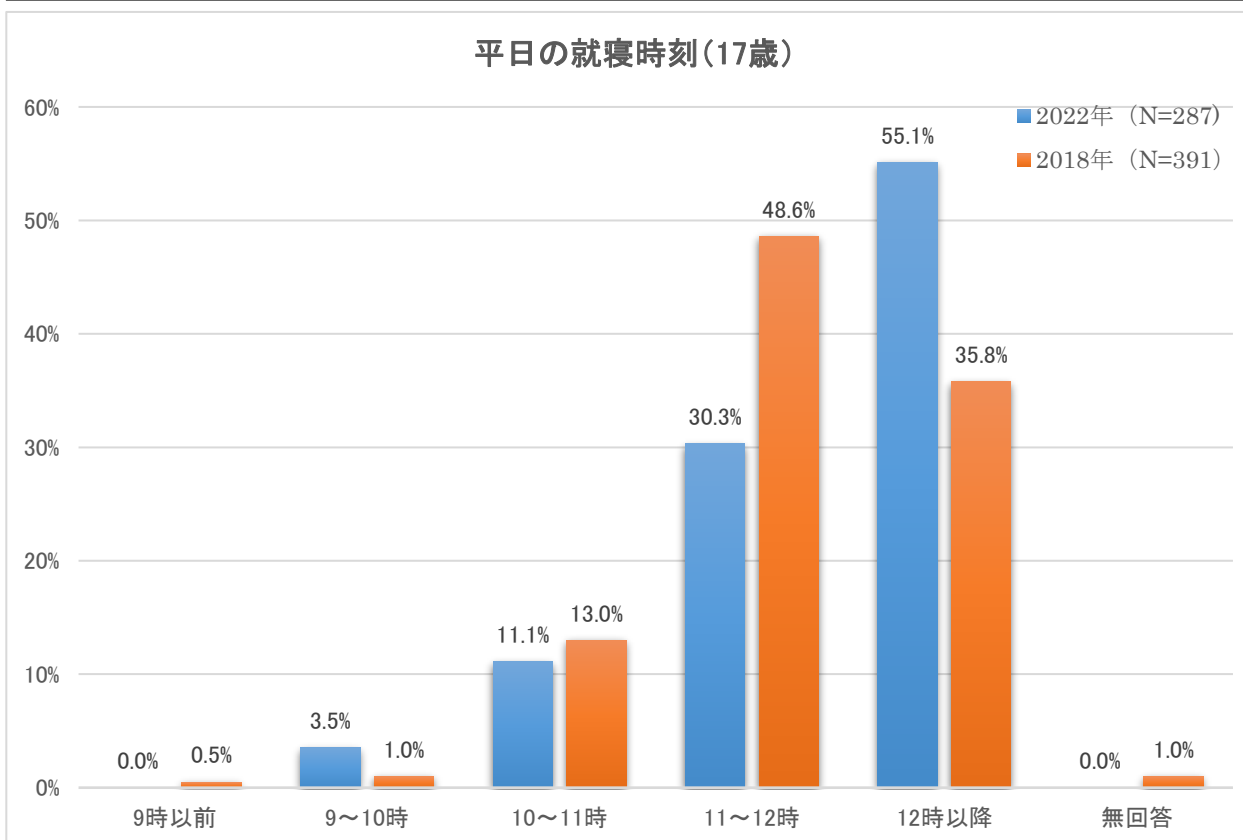
〈大野城市の定めた迷惑行為の認知度〉について尋ねたところ、13項目中11項目について、5割を超えて認知されている。

(1) 生活習慣

問：あなたは、平日、何時に起きていますか。

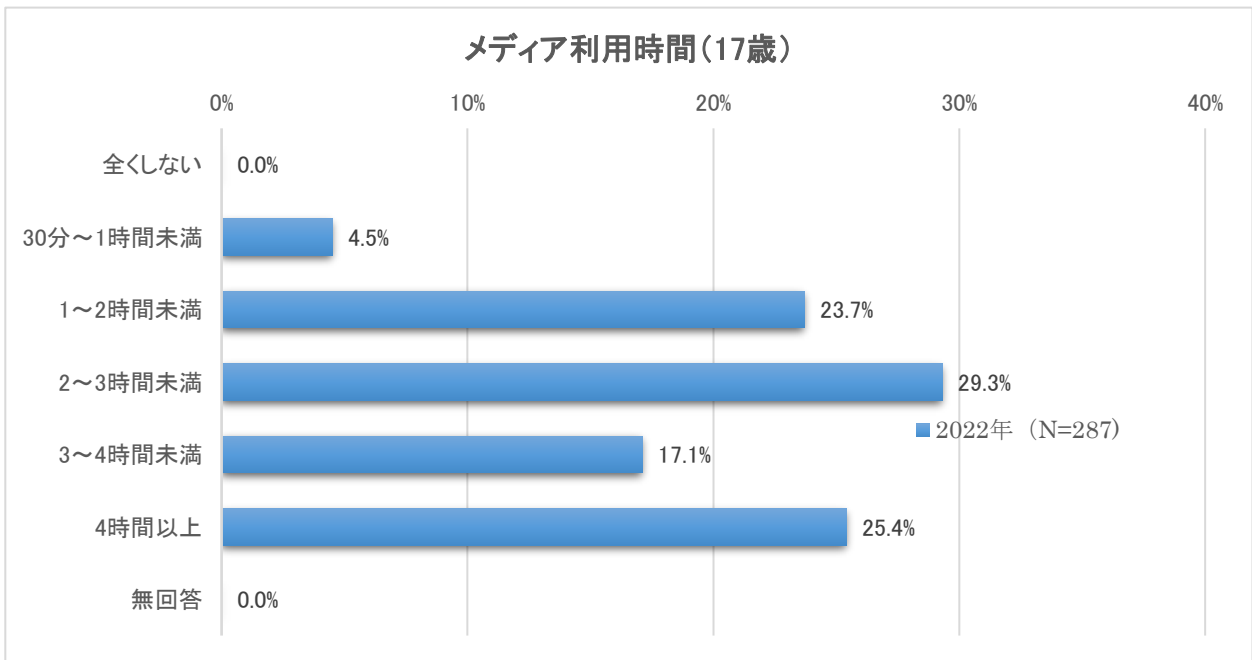


問：あなたは、平日、夜何時に寝ていますか。

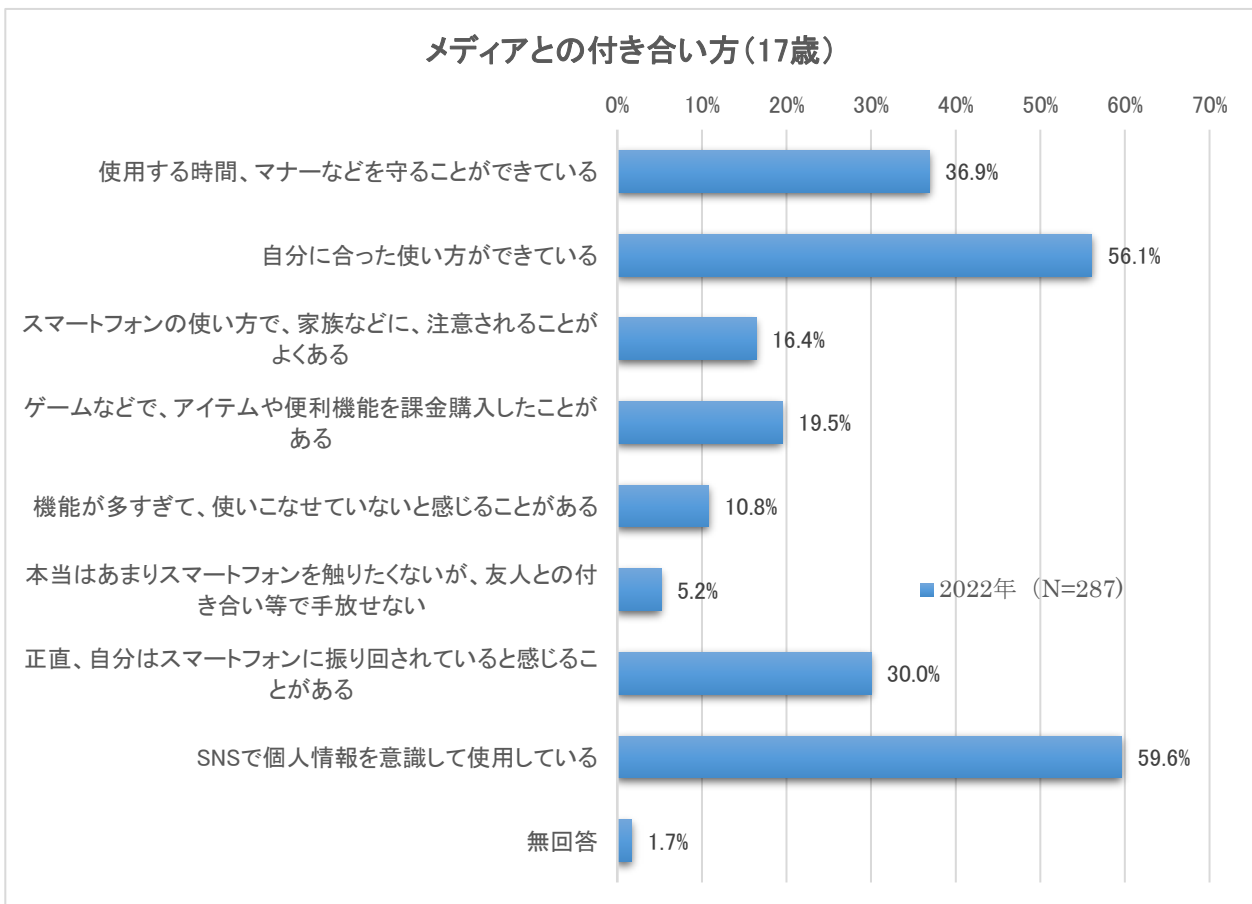


(2) メディアとの関わり

問：あなたは、一日にどのくらいメディア（テレビ、電子ゲーム、携帯電話など）を利用しますか。

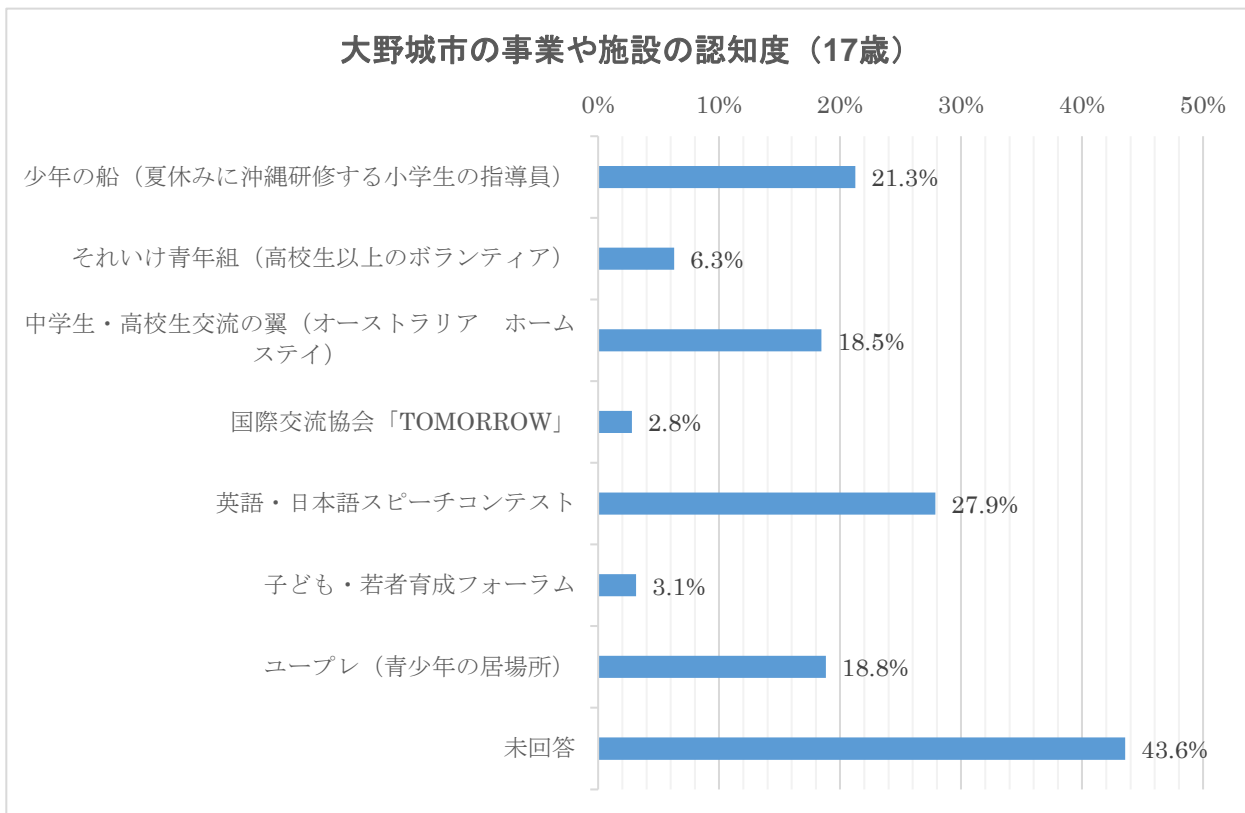


問：あなたの、パソコン、スマートフォンなどのメディアとの付き合い方について、あてはまるものを選択してください。（複数回答可）



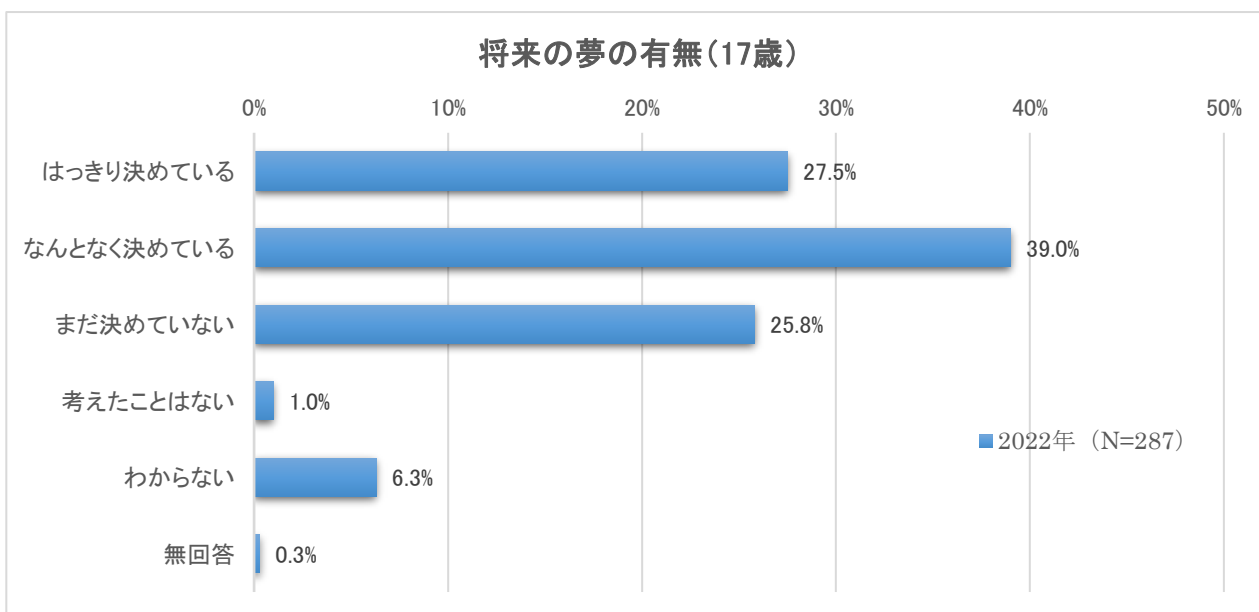
### (3) 青少年事業、施設

問：大野城市の事業や施設で、あなたが知っているものを選択してください。(複数回答可)

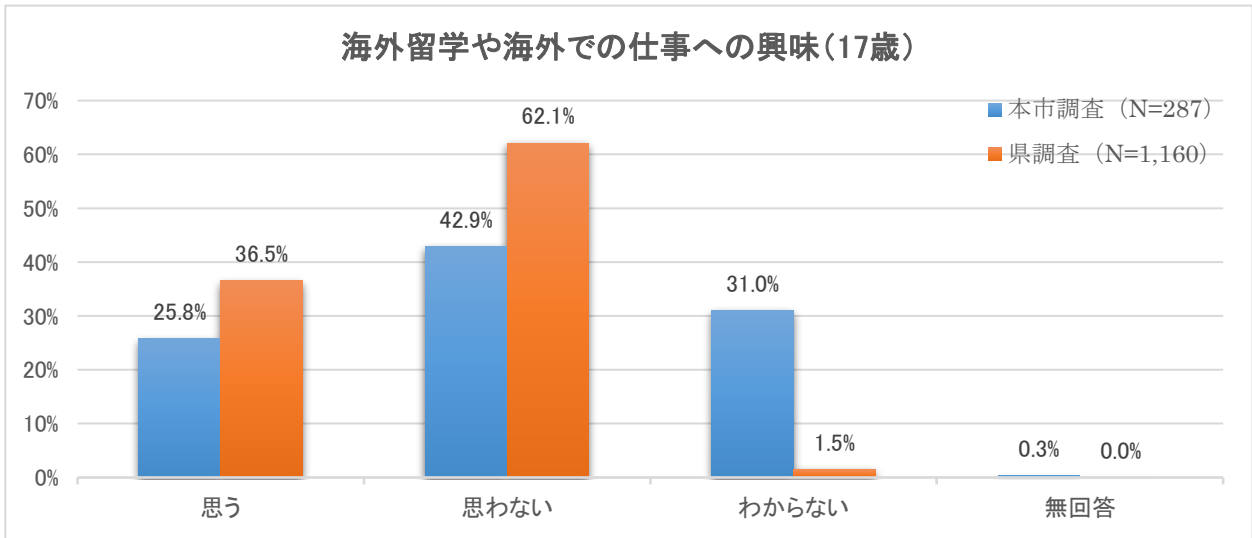


### (4) 夢、考え

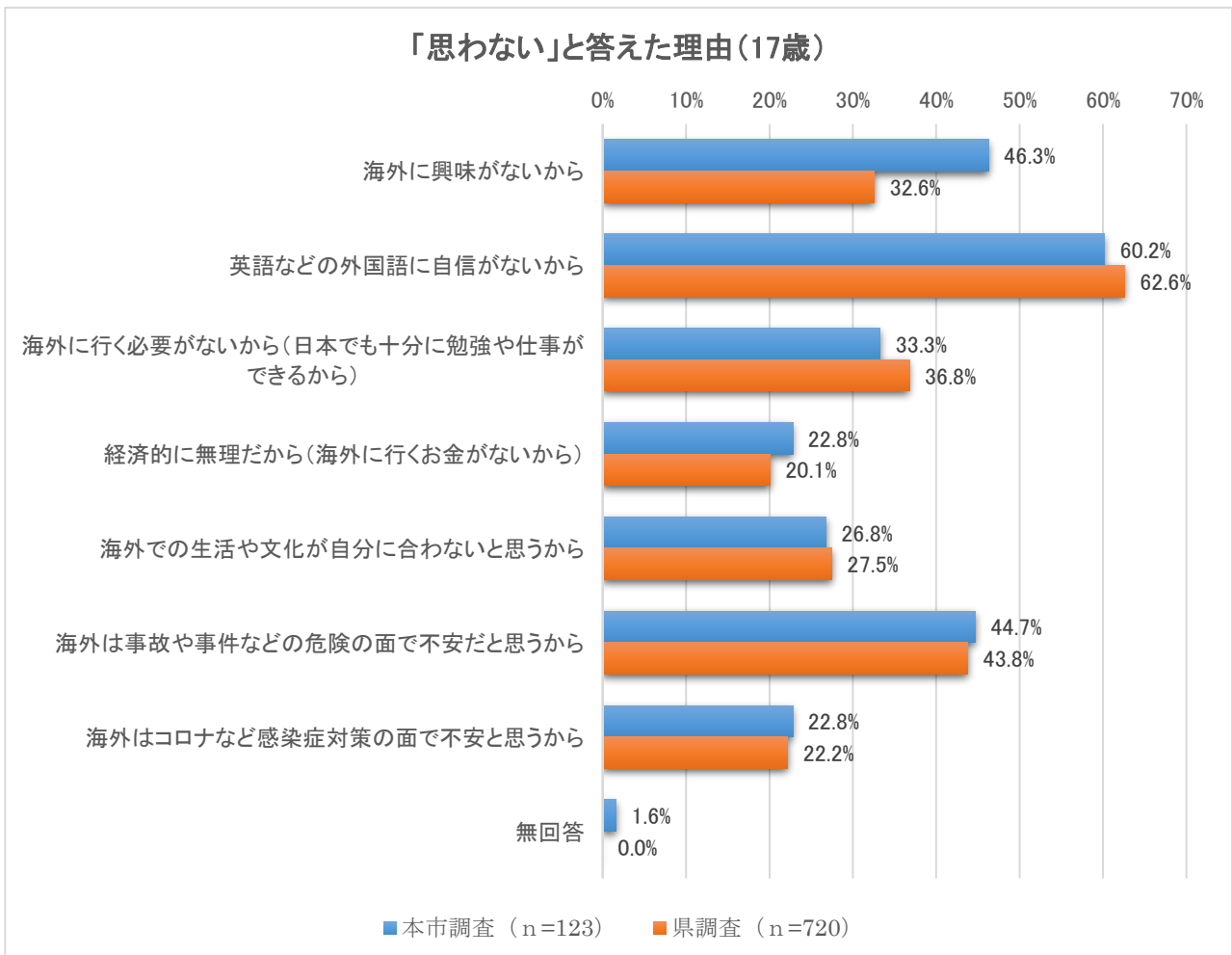
問：将来の夢や目標を決めていますか。



問：海外留学や海外で仕事をしたいと思えますか。

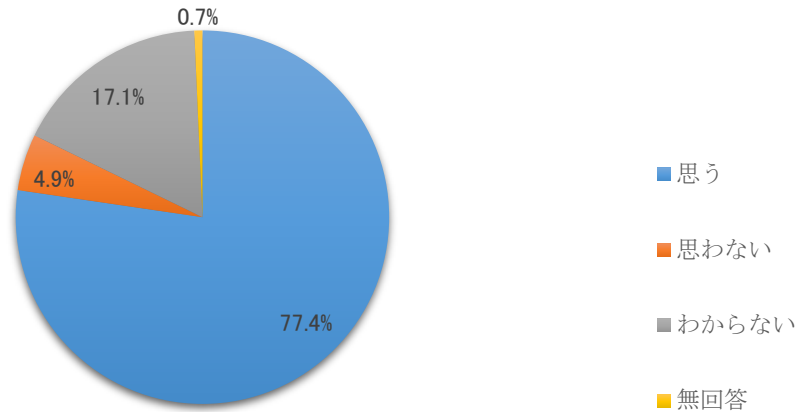


問：前問で「思わない」と回答した方にお尋ねします。海外に出て留学や仕事をしたいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)



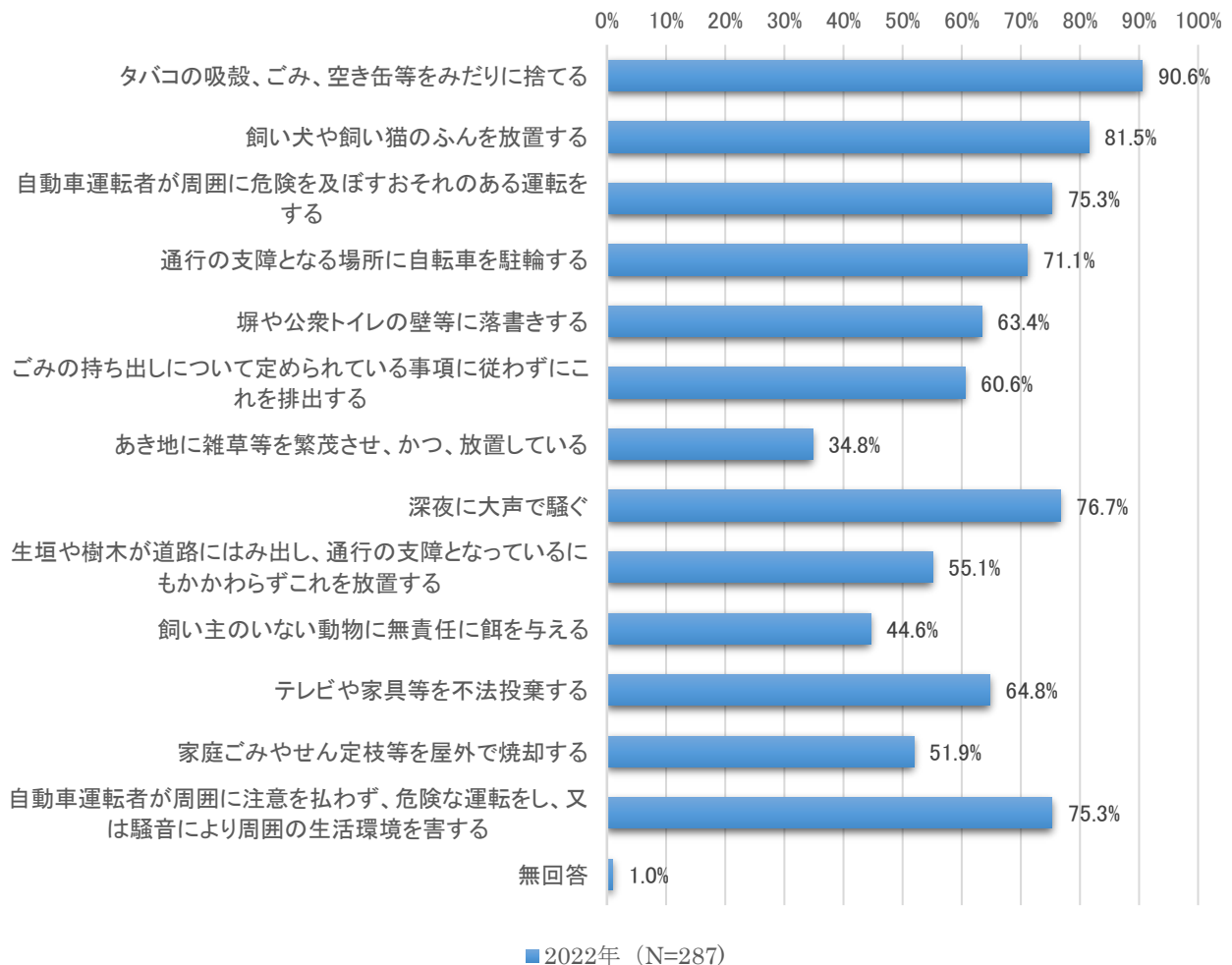
問：選挙は大切な権利だと思いますか。

### 選挙は大切な権利だと思うか(17歳)



問：大野城市が迷惑行為として定めている次の行為のうち、あなたが迷惑行為と認識しているものを教えてください。(複数回答可)

### 大野城市が定める迷惑行為への認識(17歳)



## 6. 青年期（19歳）

〈起床時間〉と〈就寝時間〉について尋ねたところ、前回調査時と比較して、起床時間は「6時～7時」が減り、「7時～8時」が増えている。就寝時間は、「11時～12時」が減り、「12時以降」が増えていて、生活リズムの夜型化が進んでいると推測される。

メディアとの関わりでは、〈メディアの利用時間〉については、「4時間以上」の回答した割合が5割を超えており、「全くしない」と回答した割合は0.0%となっている。

〈メディアとの付き合い方〉について尋ねたところ、「自分に合った使い方ができている」や、「SNSで個人情報を意識して使用している」と回答した割合が高かった。

青少年事業、施設に関する質問で、大野城市の青少年施設「ユープレ」を地元の人が知らないことが無い人にその理由を尋ねたところ、「(施設を)知らないから」が62.8%と最も多く、次いで「利用する必要性を感じない」「家や学校から遠い」となっていた。

〈将来の夢や目標〉について尋ねたところ、「はっきり決めている」と「なんとなく決めている」を合わせると65.6%となっている。

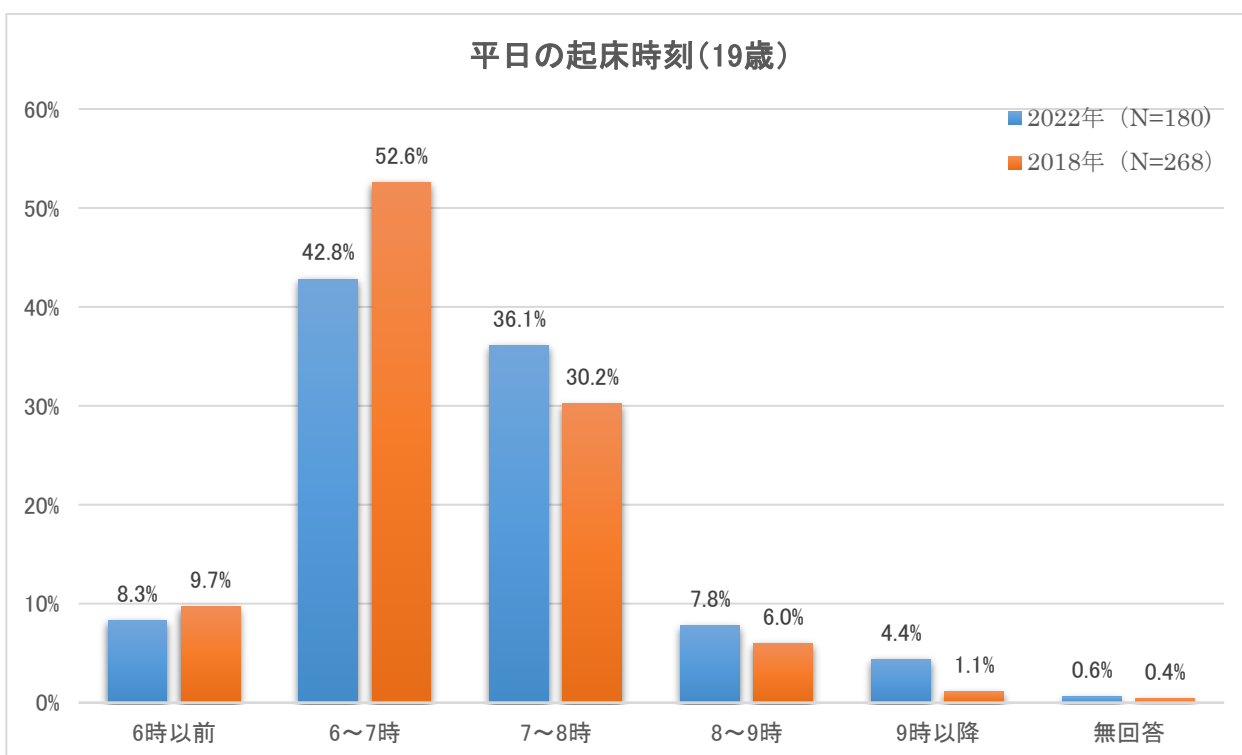
〈海外留学や海外での仕事をしたいと思うか〉尋ねたところ、「思わない」が「思う」より多くなっている。「思わない」理由について尋ねたところ、「外国語に自信がない」と回答した割合が一番多く、次いで「海外に興味がない」となっている。

〈選挙〉について尋ねたところ、「大切な権利だと思う」が8割を超えている。

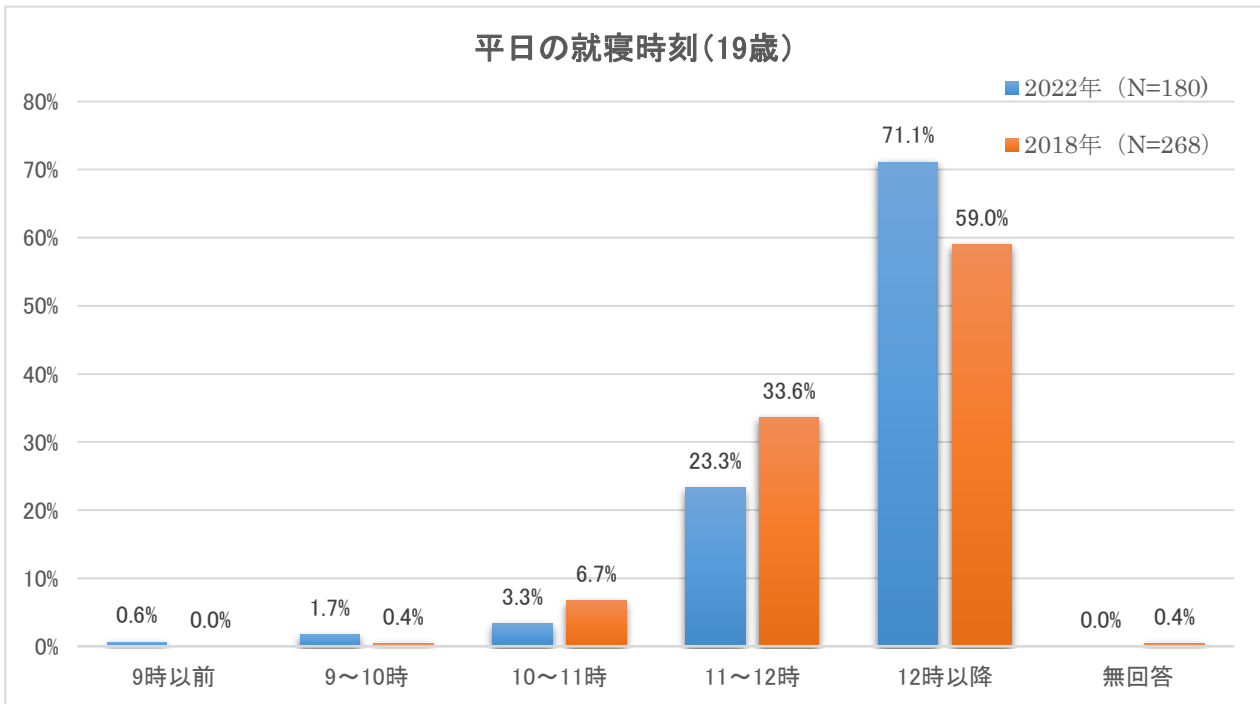
〈大野城市の定めた迷惑行為の認知度〉について尋ねたところ、13項目中11項目について、5割を超えて認知されている。また、17歳と比べると、認知度はおおむね上がっている。

### (1) 生活習慣

問：あなたは、平日、何時に起きていますか。

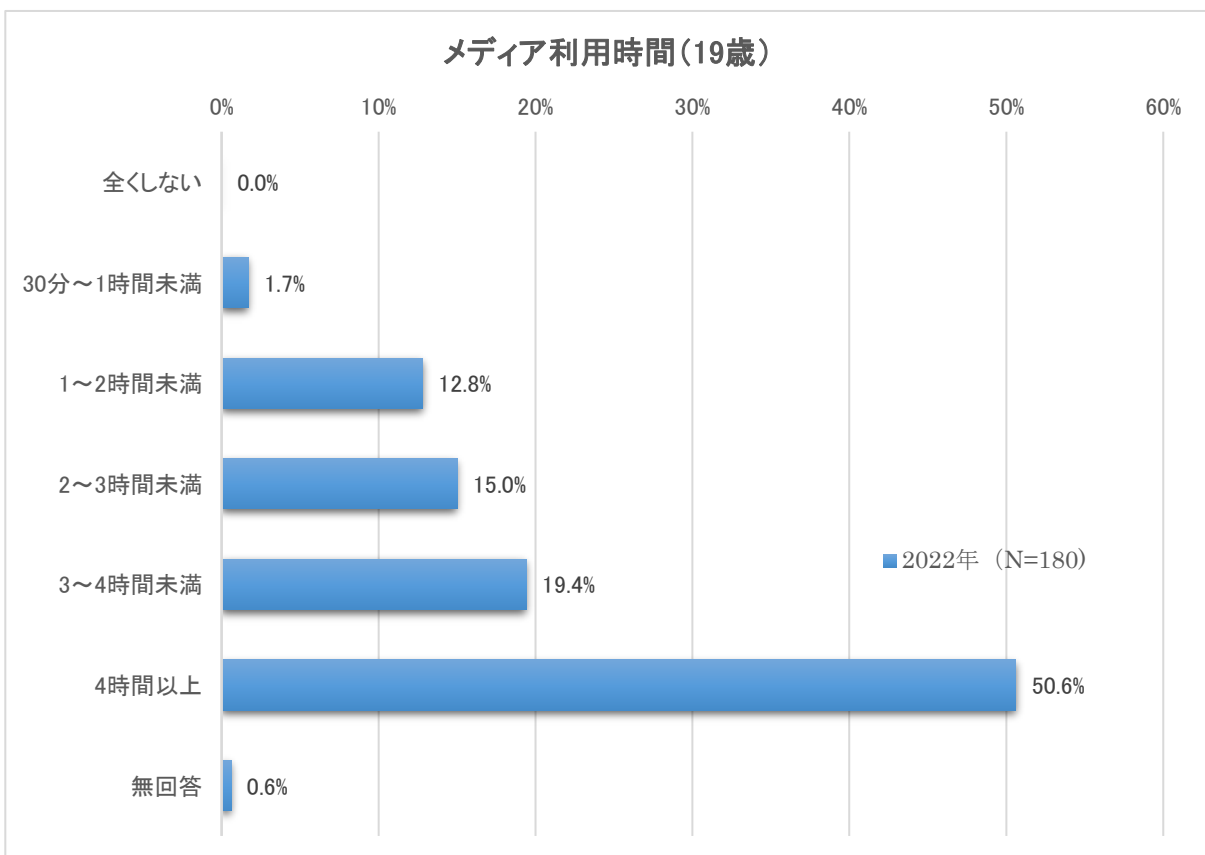


問：あなたは、平日、夜何時に寝ていますか。

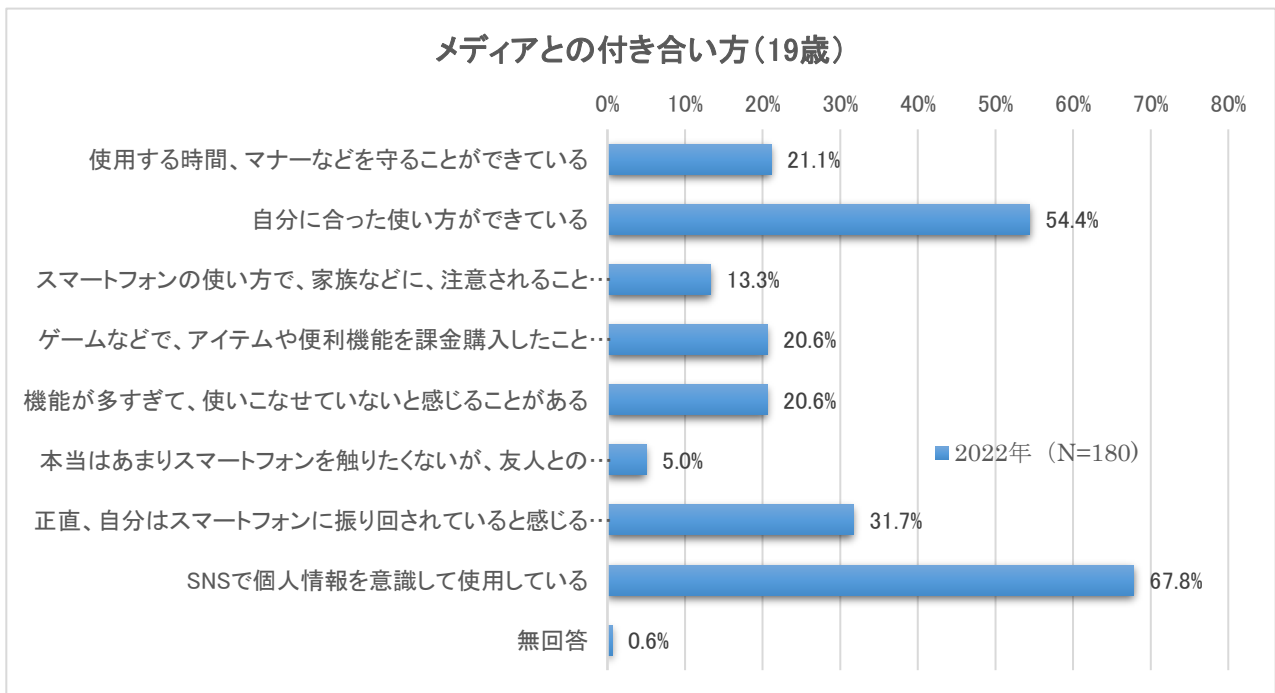


## (2) メディアとの関わり

問：あなたは、一日にどのくらいメディア（テレビ、電子ゲーム、携帯電話など）を利用しますか。

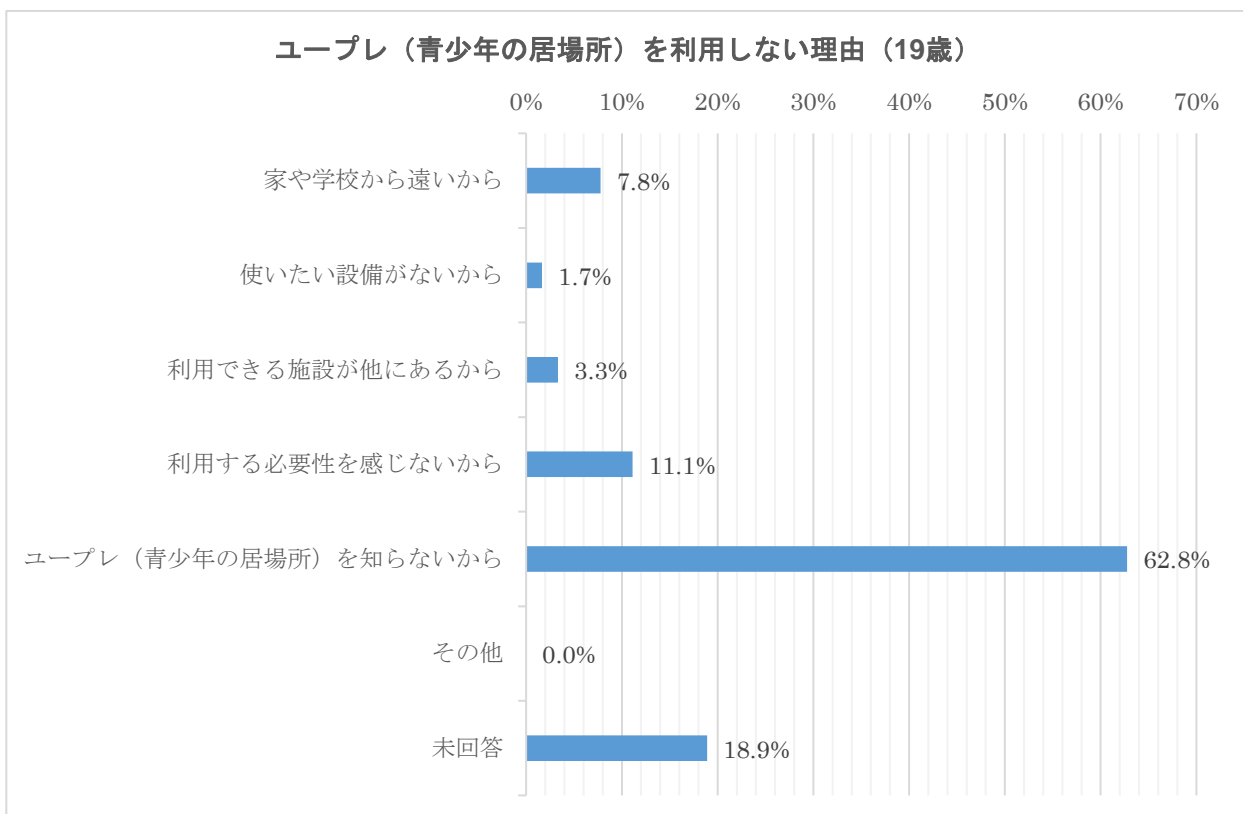


問：あなたの、パソコン、スマートフォンなどのメディアとの付き合い方について、あてはまるものを選択してください。（複数回答可）



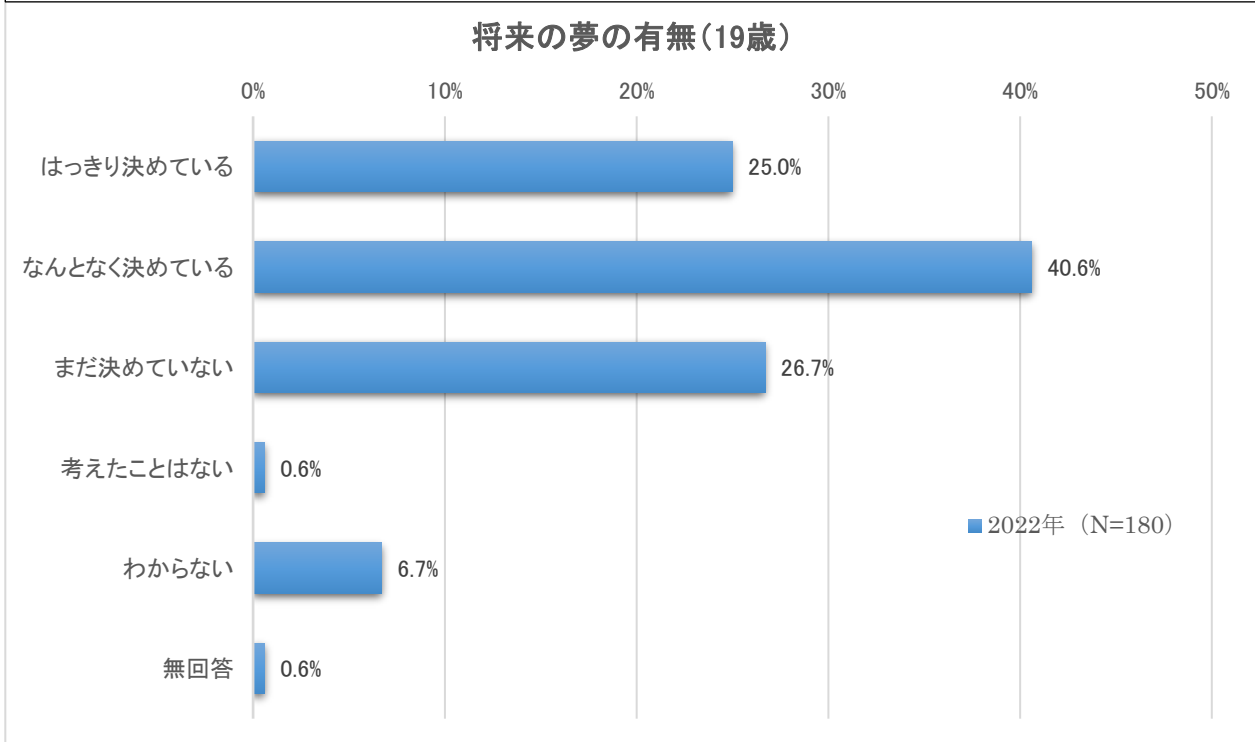
### (3) 青少年事業、施設

問：ユープレ（青少年の居場所）を利用したことがない方にお尋ねします。あなたが利用しない理由を教えてください。（複数回答可）

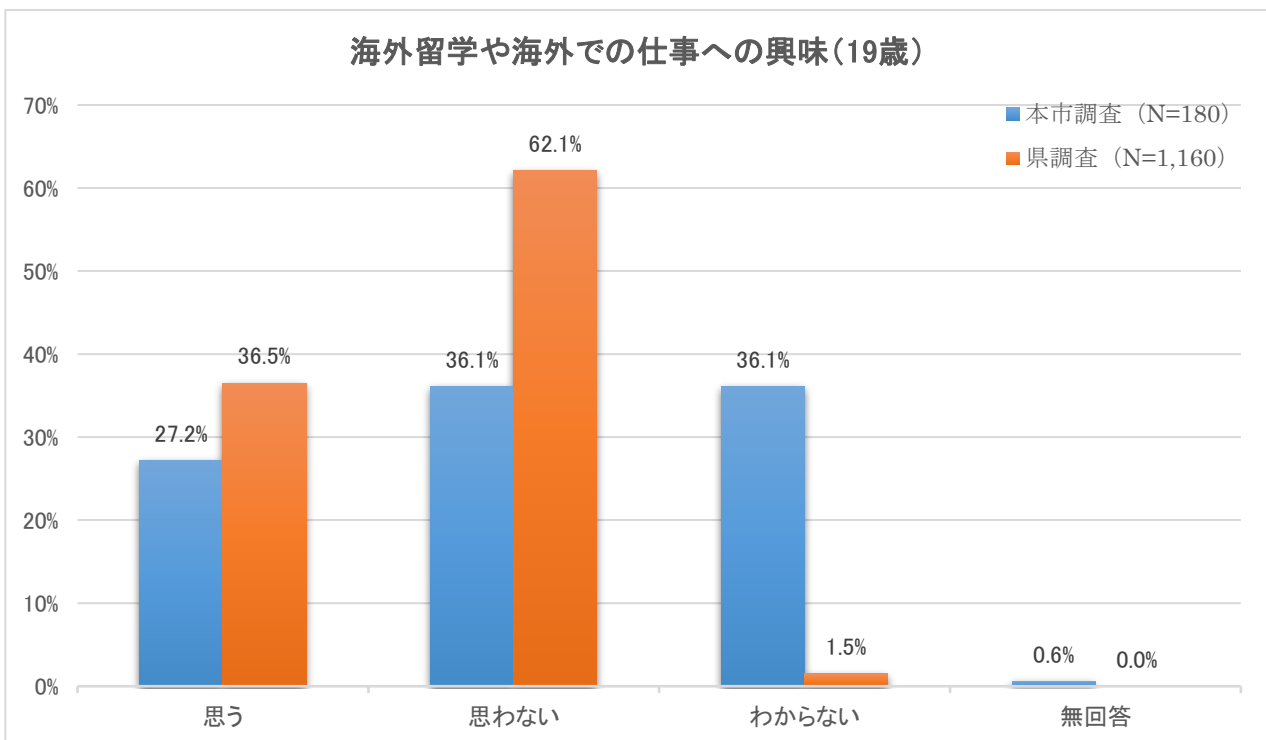


#### (4) 夢、考え

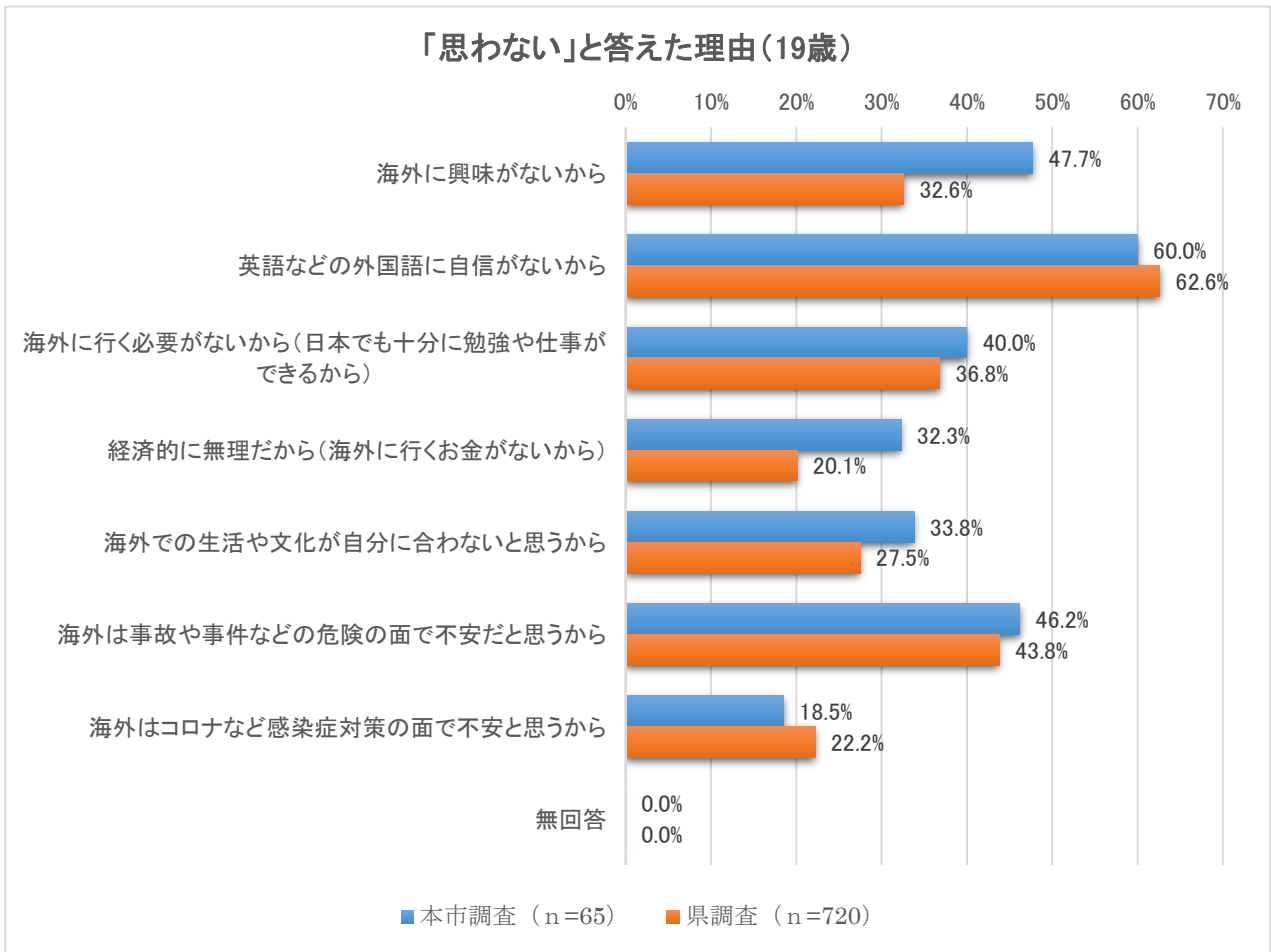
問：将来の夢や目標を決めていますか。



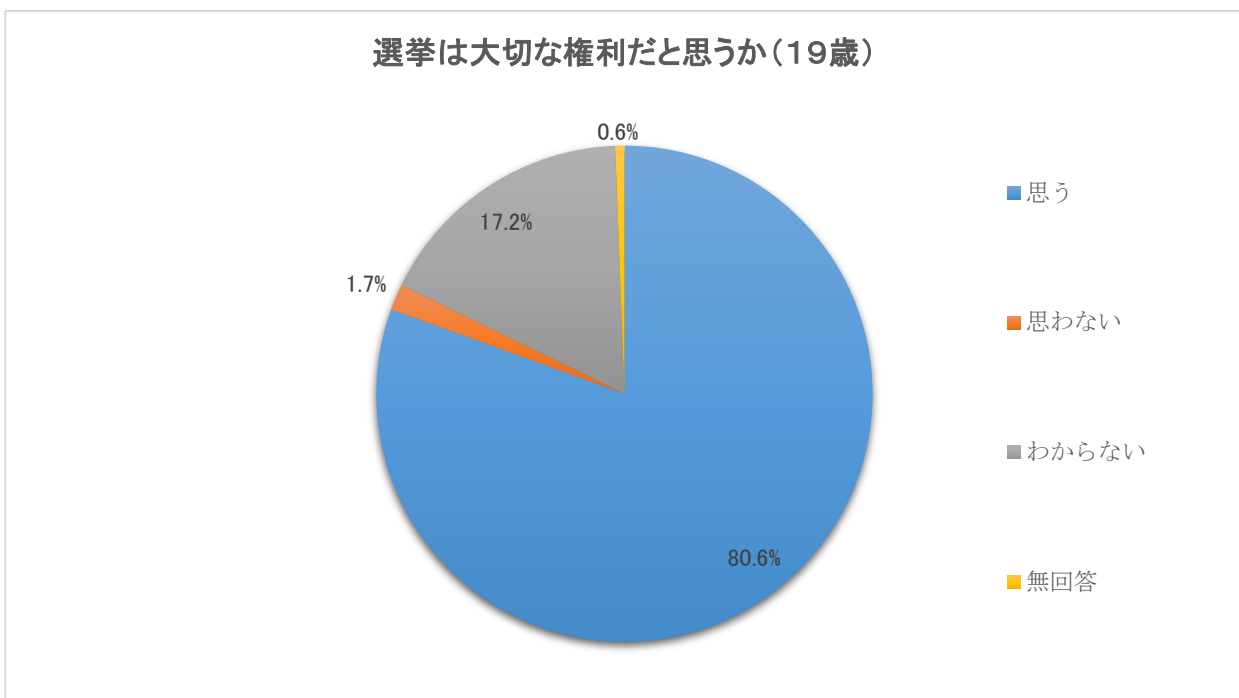
問：海外留学や海外で仕事をしたいと思いませんか。



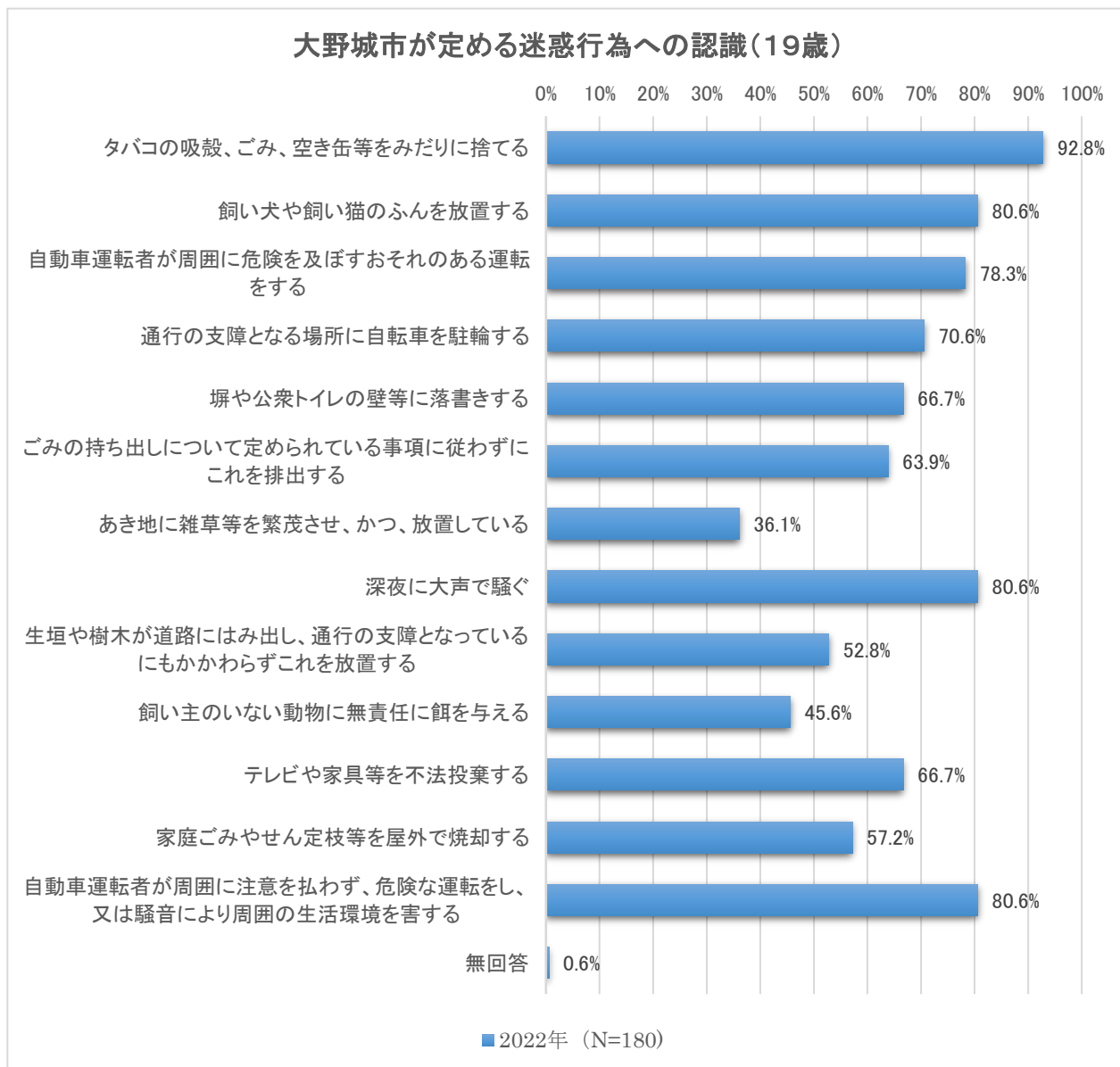
問：前問で「思わない」と回答した方にお尋ねします。思わない理由は何ですか。（複数回答可）



問：選挙は大切な権利だと思いますか。



問：大野城市が迷惑行為として定めている次の行為のうち、あなたが迷惑行為と認識しているものを教えてください。（複数回答可）



## 7. ヤングケアラー

中学2年生、17歳、19歳に対し、ヤングケアラーについて8項目の質問を行った。

〈お世話をしている家族の有無〉を尋ねたところ、「いない」が8割以上であるが、中学2年生では、1割以上はお世話をしている家族がいると回答している。

〈お世話をしている家族の内訳〉を尋ねたところ、回答母数は少ないが「きょうだい」が最も多く、次に「その他」「父母」「祖父母」の順となっている。

〈お世話をしている「きょうだい」〉を尋ねたところ、回答母数は少ないが「若い」が最も多く、自分より下の「きょうだい」のお世話をしているものと考えられる。また、障がいを持つ「きょうだい」のお世話をしている者もいる。

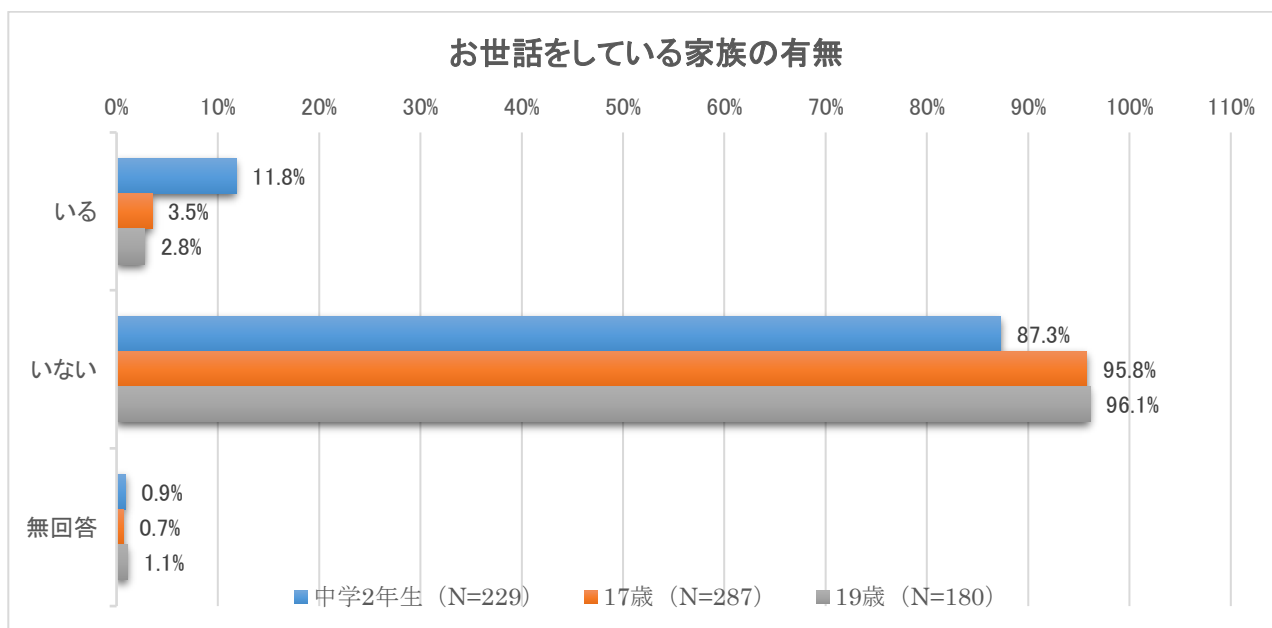
〈家族のお世話をしているために、やりたいけどできていないこと〉を尋ねたところ、「特になし」が最も多いが、中学2年生と17歳では「宿題・勉強」「睡眠」「友人と遊ぶ」「自分の時間」など「や

りたいができない」と感じている。

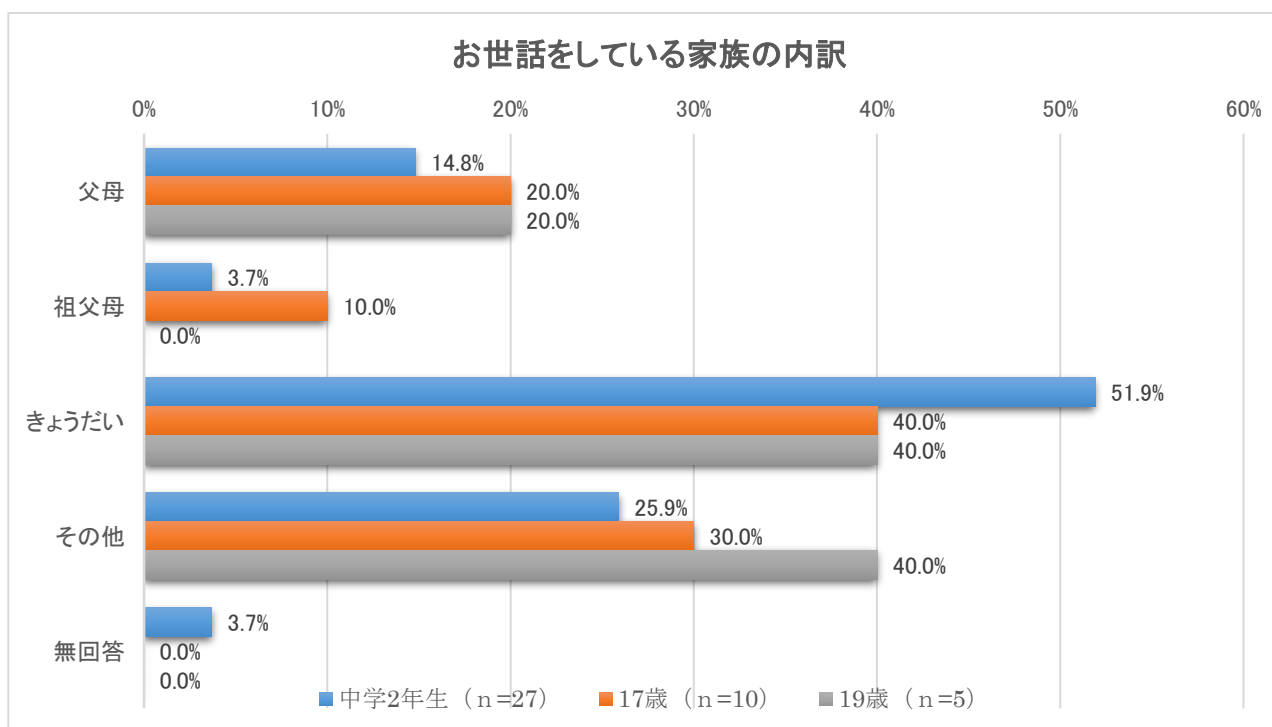
〈家族のお世話の頻度〉を尋ねたところ、「ほぼ毎日」が約半数と最も多く、〈家族のお世話に費やす時間〉では、「3時間未満」が多いが、「7時間以上」と長時間となっている者もいる。

〈ヤングケアラーという言葉を知っているか〉を尋ねたところ、「聞いたことはない」が最も多く、年齢が上ると「聞いたことがあり、知っている」の割合が高くなる。また、「知っている」「聞いたことはある」と回答した者へ、〈あなた自信がヤングケアラーにあてはまると思うか〉と尋ねたところ、「あてはまらない」割合が多いが、「無回答（回答しない）」の者も多かった。

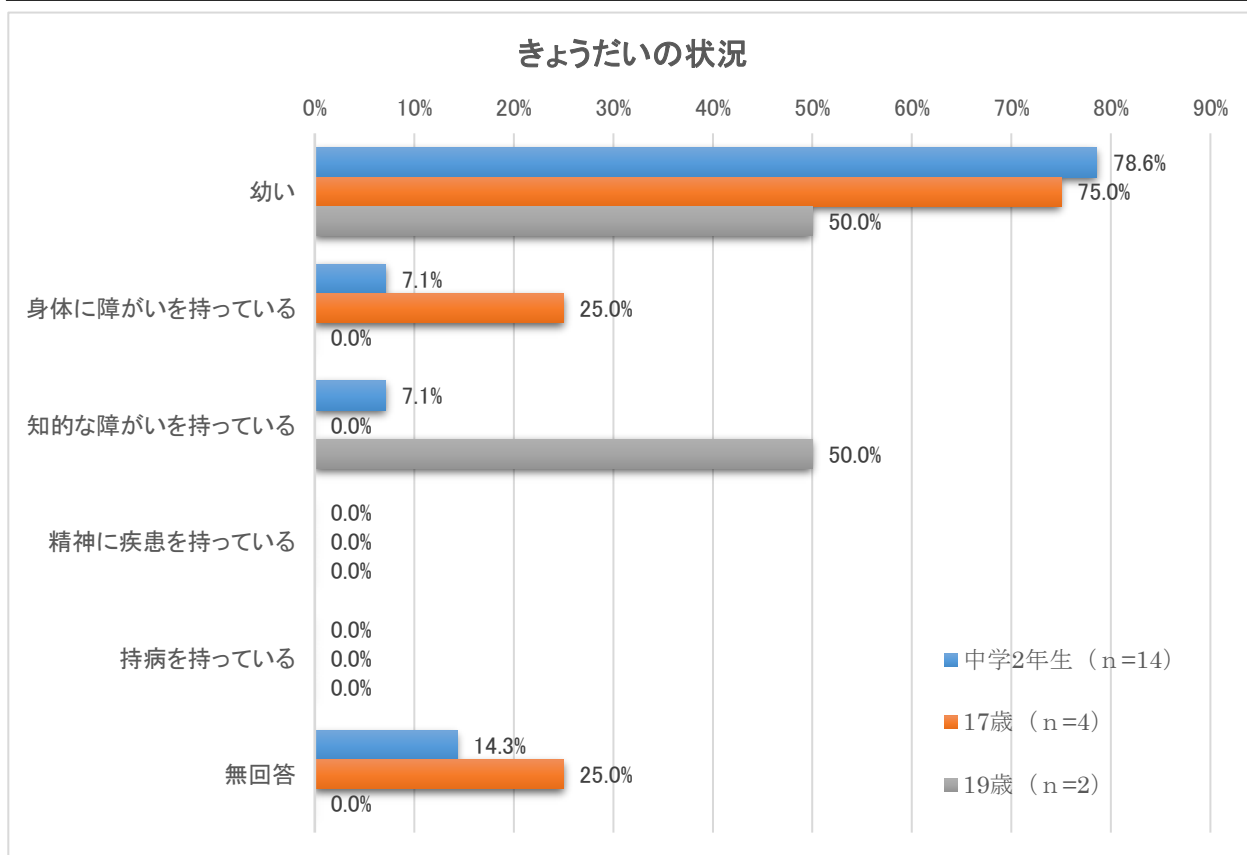
問：あなたが中心となってお世話をしている家族はいますか。



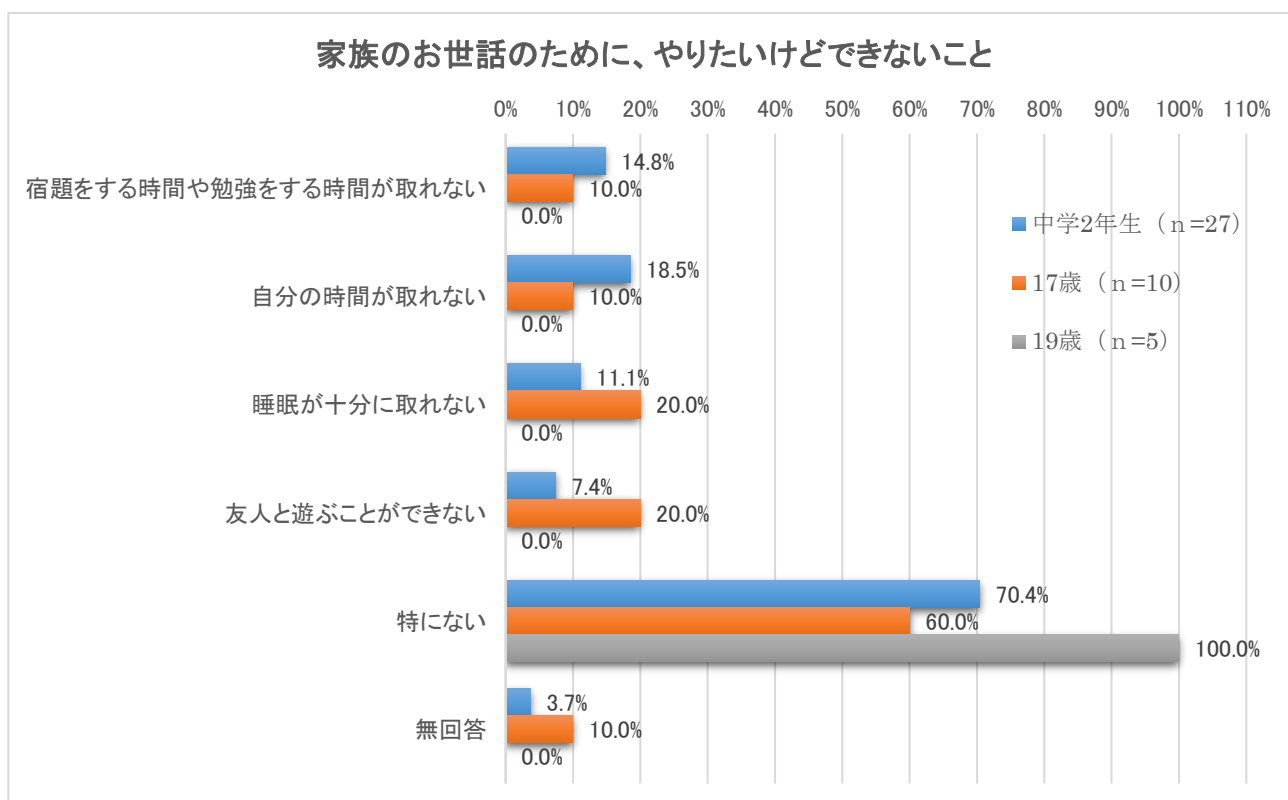
問：お世話をしている家族が「いる」と回答した人で、家族の誰のお世話をしていますか。



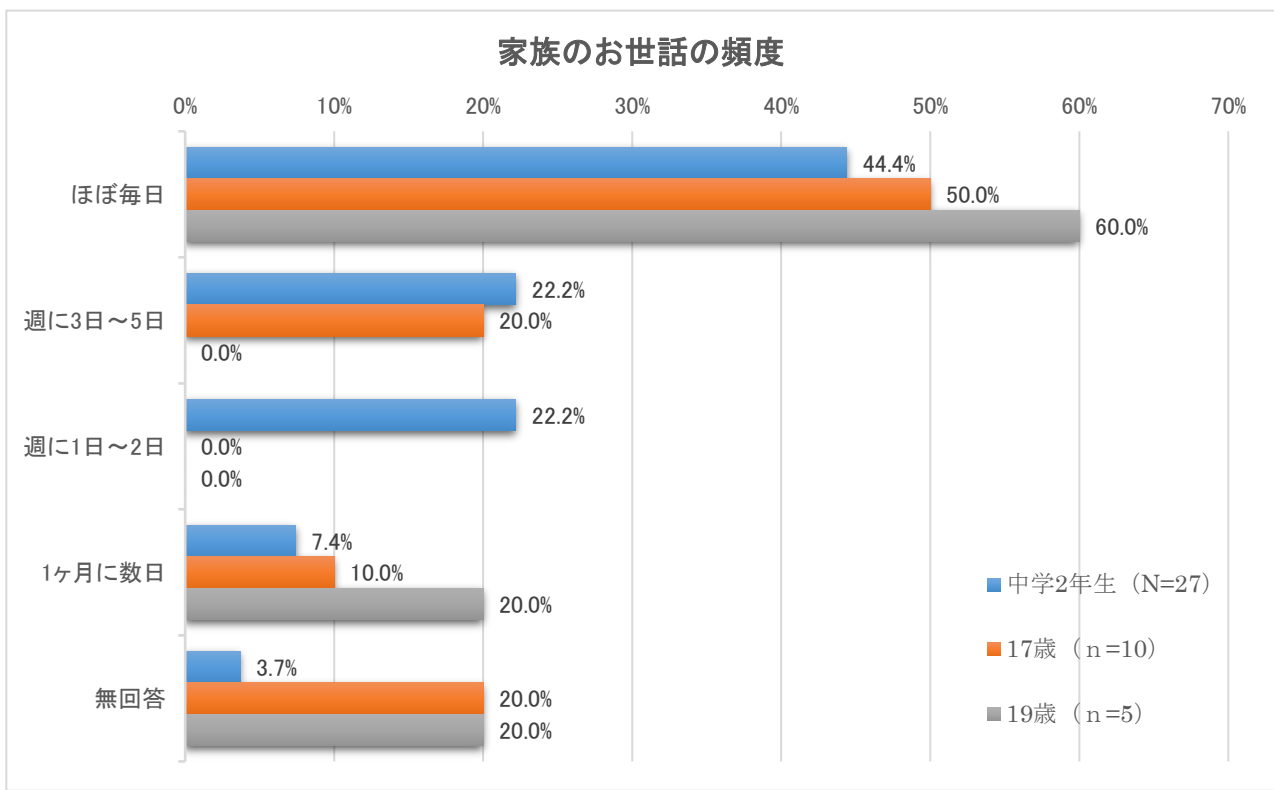
問：お世話をしている家族が「きょうだい」と回答した人で、きょうだいの状況を教えてください。



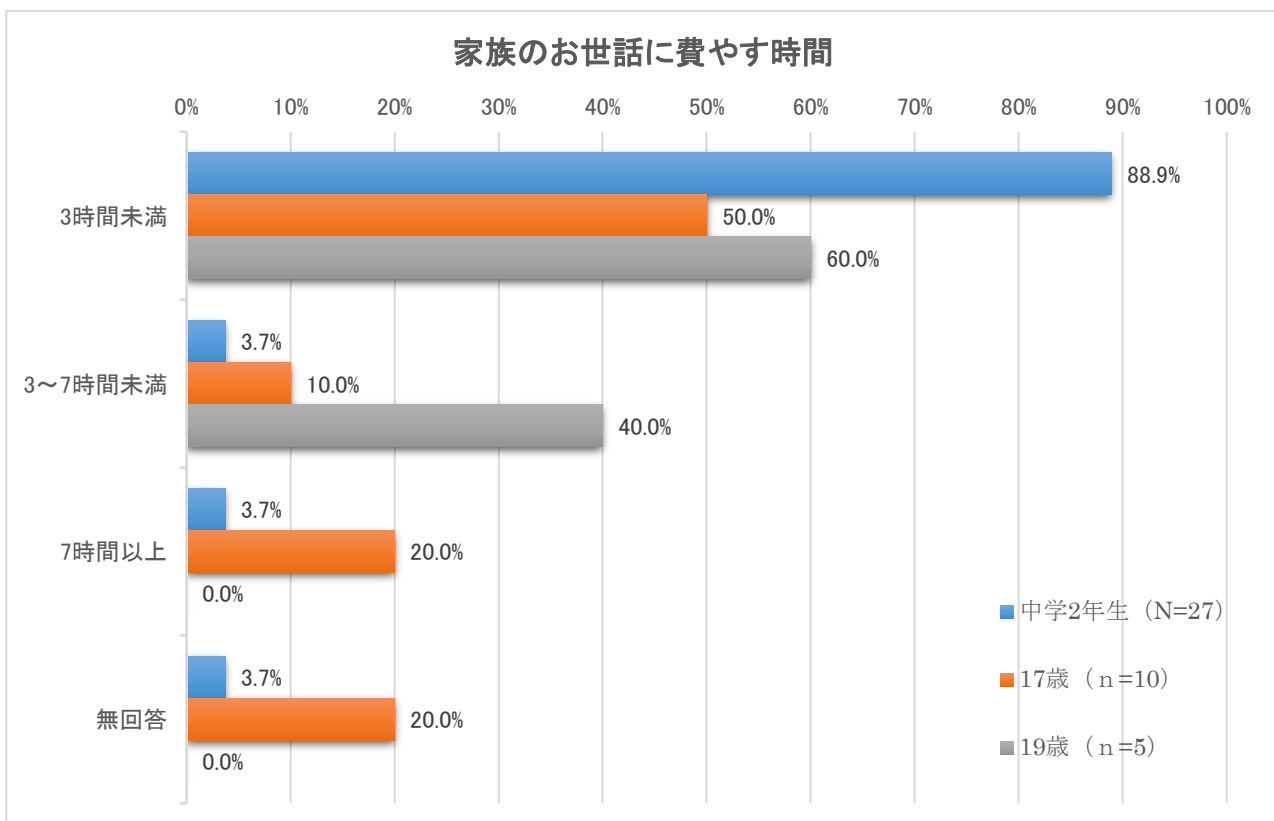
問：お世話をしている家族が「いる」と回答した人で、世話のために、やりたいけどできないことを回答してください。（複数回答可）



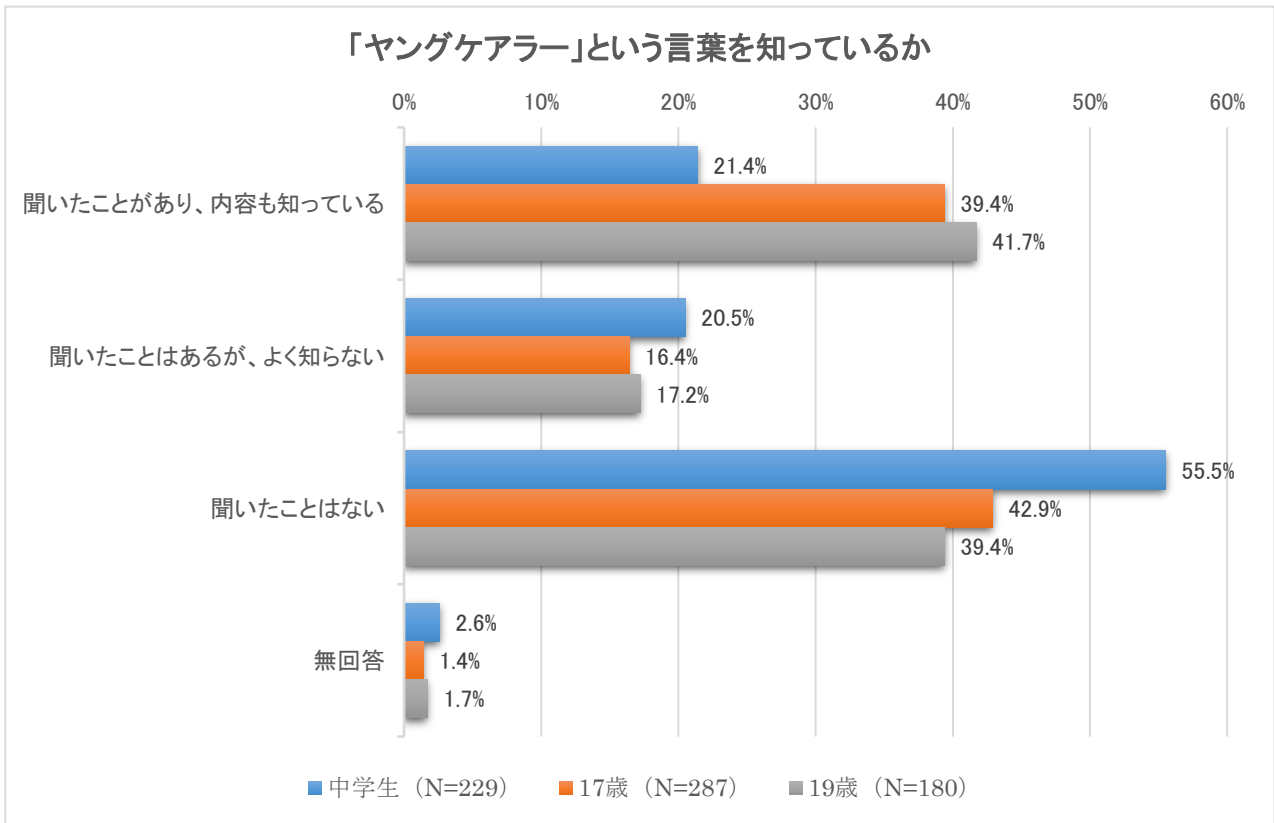
問：お世話をしている家族が「いる」と回答した人で、家族のお世話をしている頻度を教えてください。



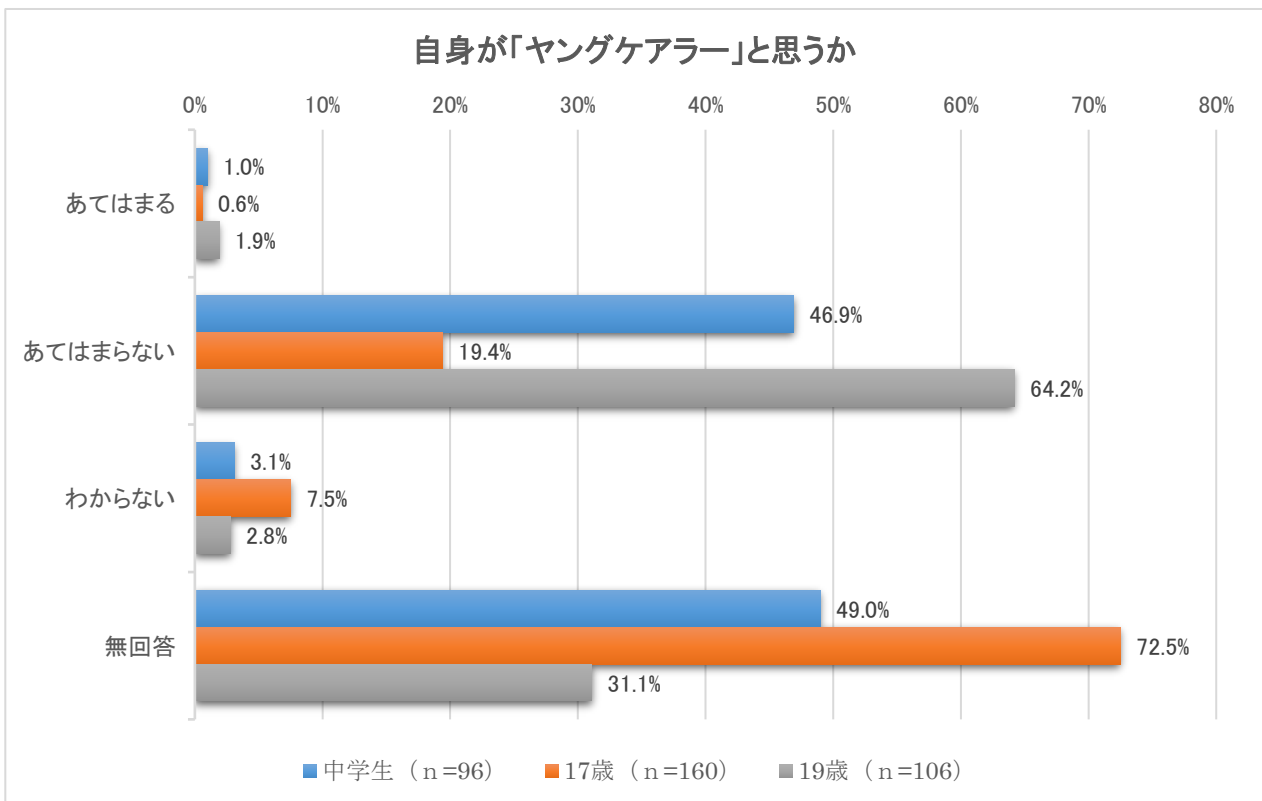
問：お世話をしている家族が「いる」と回答した人で、家族のお世話に費やす時間を教えてください。



問：あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。



問：前問で「知っている」「聞いたことはある」と回答した人で、あなたは、ヤングケアラーにあてはまると思いますか。



## 8.保護者

乳幼児保護者、学童保護者、中学生保護者に、子育てに関する意識、子どもとの接し方、子どもの勉強・進学、子育て環境・支援、スマートフォンの利用について質問した。

〈子育ては楽しいか〉の質問には、各発達段階保護者ともに、前回調査と比較して「楽しい」の回答が増えている。〈子育てのイライラ〉の質問には、「よくある」「ときどきある」の回答の合計が9割を占め、前回調査とほぼ同じ傾向にある。〈子どもとゆったり過ごせる時間がありますか〉の質問では、「はい」の回答が各発達段階ともに7割から8割を占め、中学生保護者への質問では、前回調査と比較し「はい」の回答が増えている。

中学生保護者に〈子どもとよくすること〉を尋ねると、「話をする」「食事をする」をはじめ、各項目とも前回調査と比較して「よくする」と回答した割合が減少している。

〈子育てのストレスや悩みの対処方法〉の質問では、前回調査とほぼ同じ結果だが、乳幼児保護者の「ひとりで対処する」が増えている。

〈子どもの気持ちの理解度〉について、学童保護者と中学生保護者に質問したところ、前回調査時と比較し、学童保護者の「わかっている」が減り、中学生保護者の「わかっている」が増えている。

〈子育てに関する悩みや不安〉について、乳幼児保護者に質問したところ、「子どもの将来のこと」が最も多く、次いで「しつけや教育に自信が持てない」が多くなっていた。また、学童保護者と中学生保護者への不安の悩みの内容について質問では、「子どもの進学・受験」と回答した人の割合が高かった。

〈子どもへの不適切な接し方〉の質問では、各発達段階ともに、「不適切な接し方はしていない」と「どなってしまふ」といった回答が多かった。また、〈不適切な接し方は虐待と思うか〉と質問したところ、「思わない」が3割～4割を占めている。

〈子どもの平均的な勉強時間〉について中学生保護者に質問したところ、前回調査と比較して、長時間（120分以上）と回答した割合が減り、短時間（60分未満）の回答割合が増えている。

〈子どもの進学先〉について中学生保護者に質問したところ、「大学」が最も多く、〈進学の心配〉の質問では、「金銭的な負担」が5割を超え最も多く、次に「学力」であった。

〈海外留学〉について中学生保護者に質問したところ、「賛成する」が7割を占めていた。一方、海外留学に反対する保護者に〈反対の理由〉を質問したところ、「海外は治安の面で不安」が最も多く、約7割を占めていた。

〈ワークライフバランス〉について、乳幼児保護者に質問したところ、バランスが「とれている」「どちらかというのとれている」と回答した割合の合計は約6割であった。

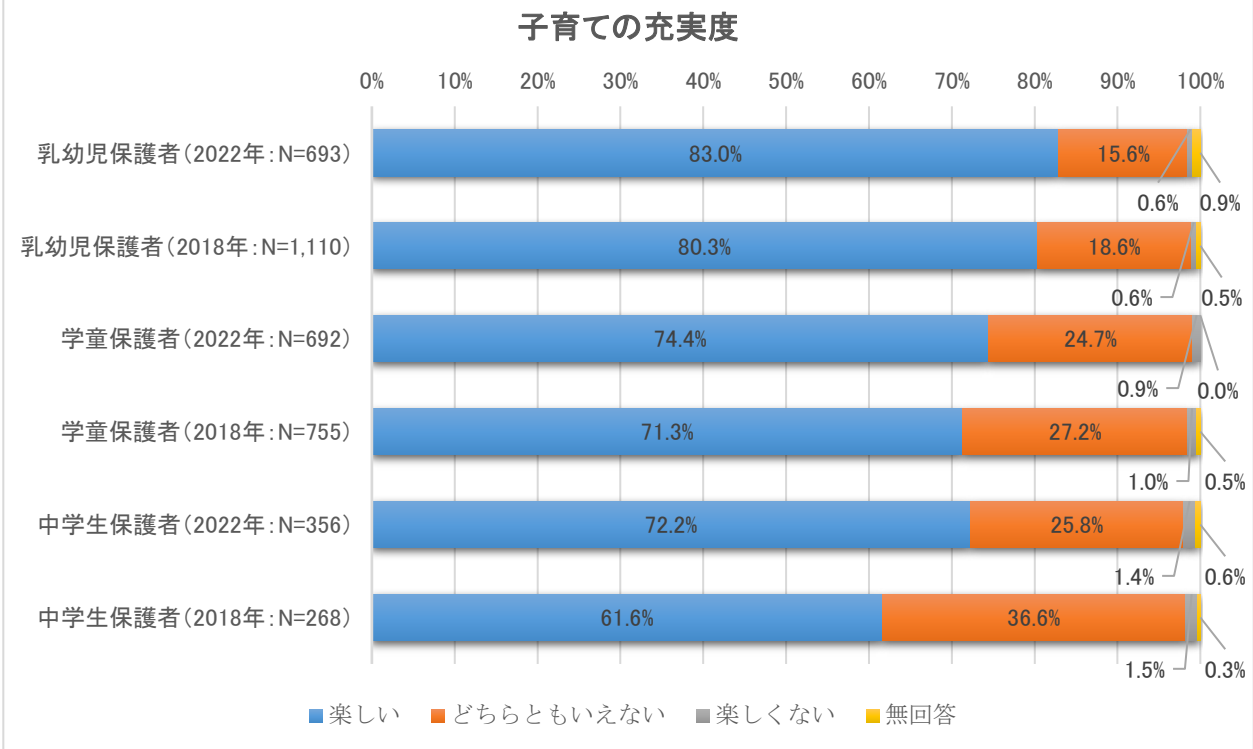
〈希望する子育て環境の整備〉について、乳幼児保護者に質問したところ、「経済的支援」「医療費の無料化」が多かった。学童保護者・中学生保護者への〈子育てに必要な支援〉の質問では、前回調査と同じく「就学費用の軽減」「悩みを相談できること」が多くなっていた。

乳幼児保護者に〈子育て支援制度・サービスの認知度〉について質問したところ、「赤ちゃん訪問」「ブックスタート」の認知度が高かった。

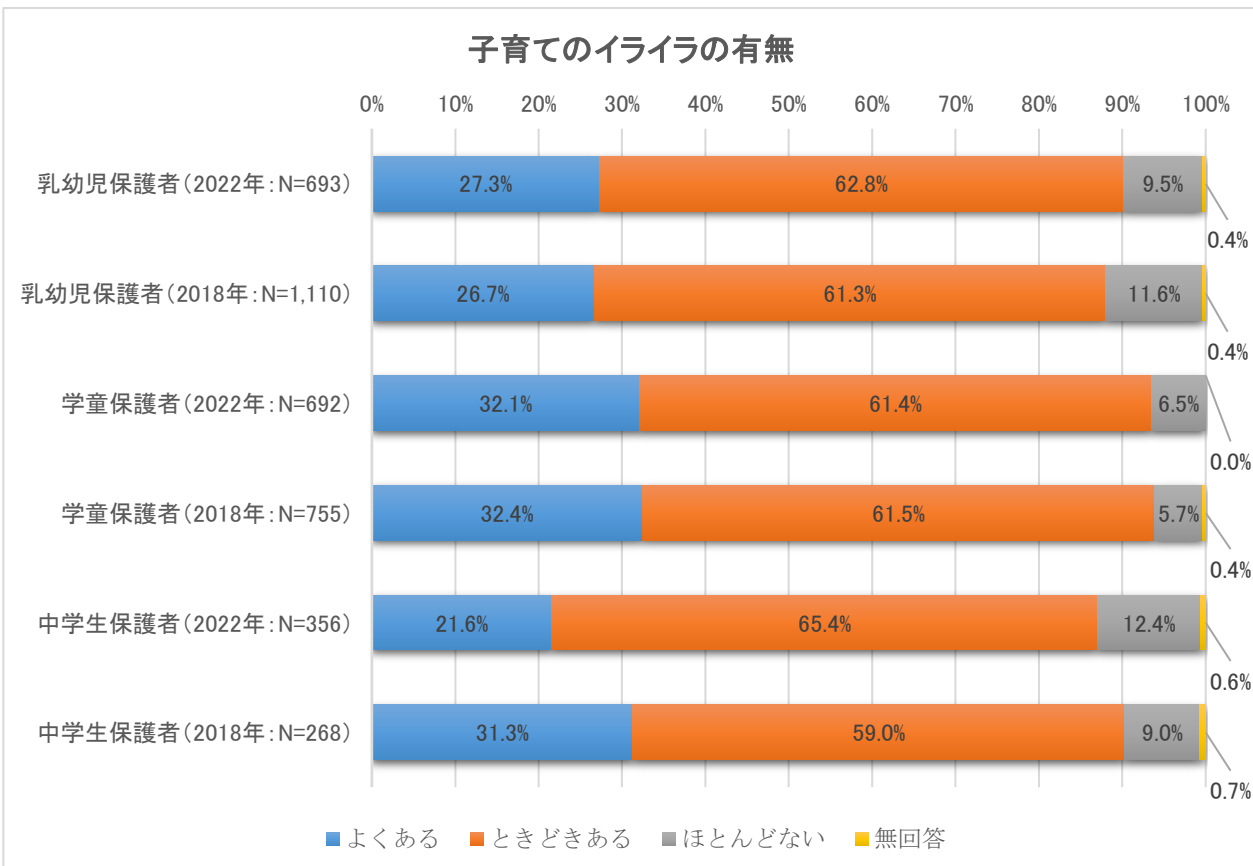
〈子どものスマートフォン〉の所有について、学童保護者・中学生保護者に質問したところ、前回調査と比較して、中学2年生の所有率が、54.9%から84%と大きく増加しており、中学生で自分用のスマートフォンを所有する者が増えている。また、〈子どものスマートフォンの利用のルール、約束〉について尋ねたところ、「使用時間の制限」や「有害サイト、有料サイトを使用しないこと」「フィルタリング機能を設定している」などスマートフォンの利用について、制限や決まり事を作り、こどもに使用させていることが窺える。

(1) 子育てに関する意識

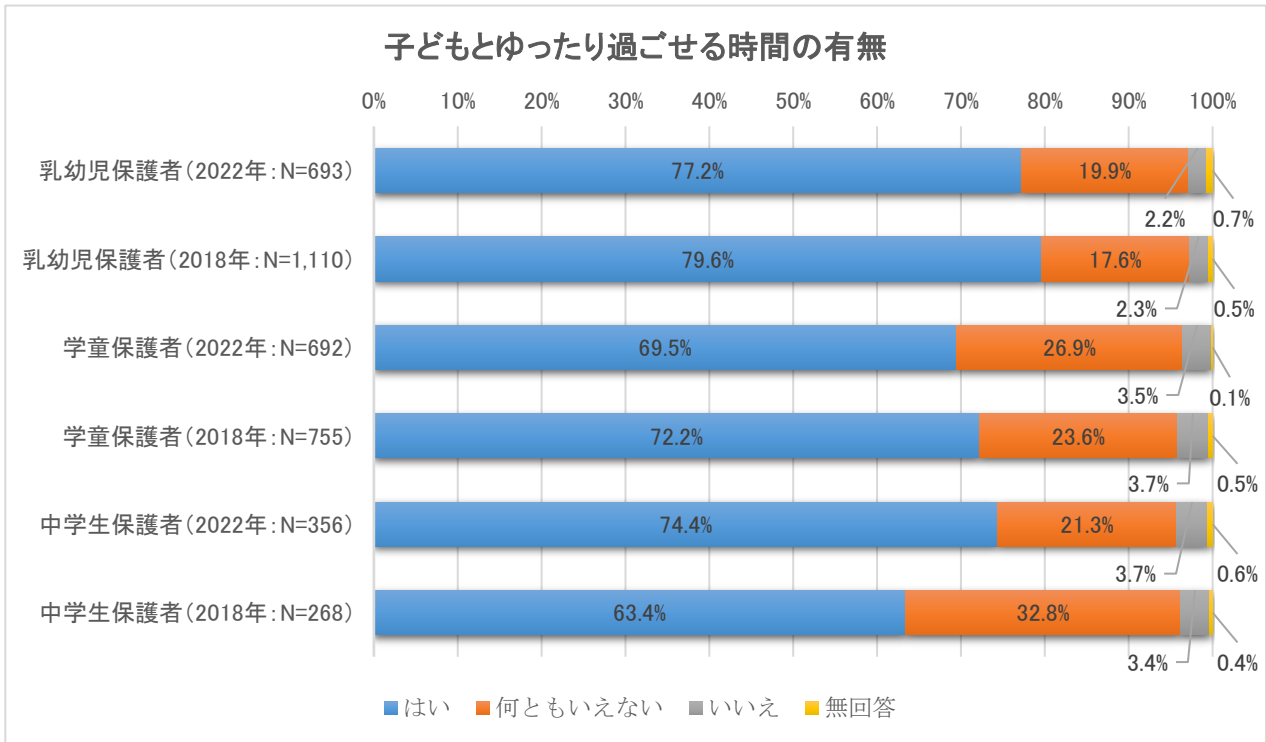
問：子育ては楽しいですか。



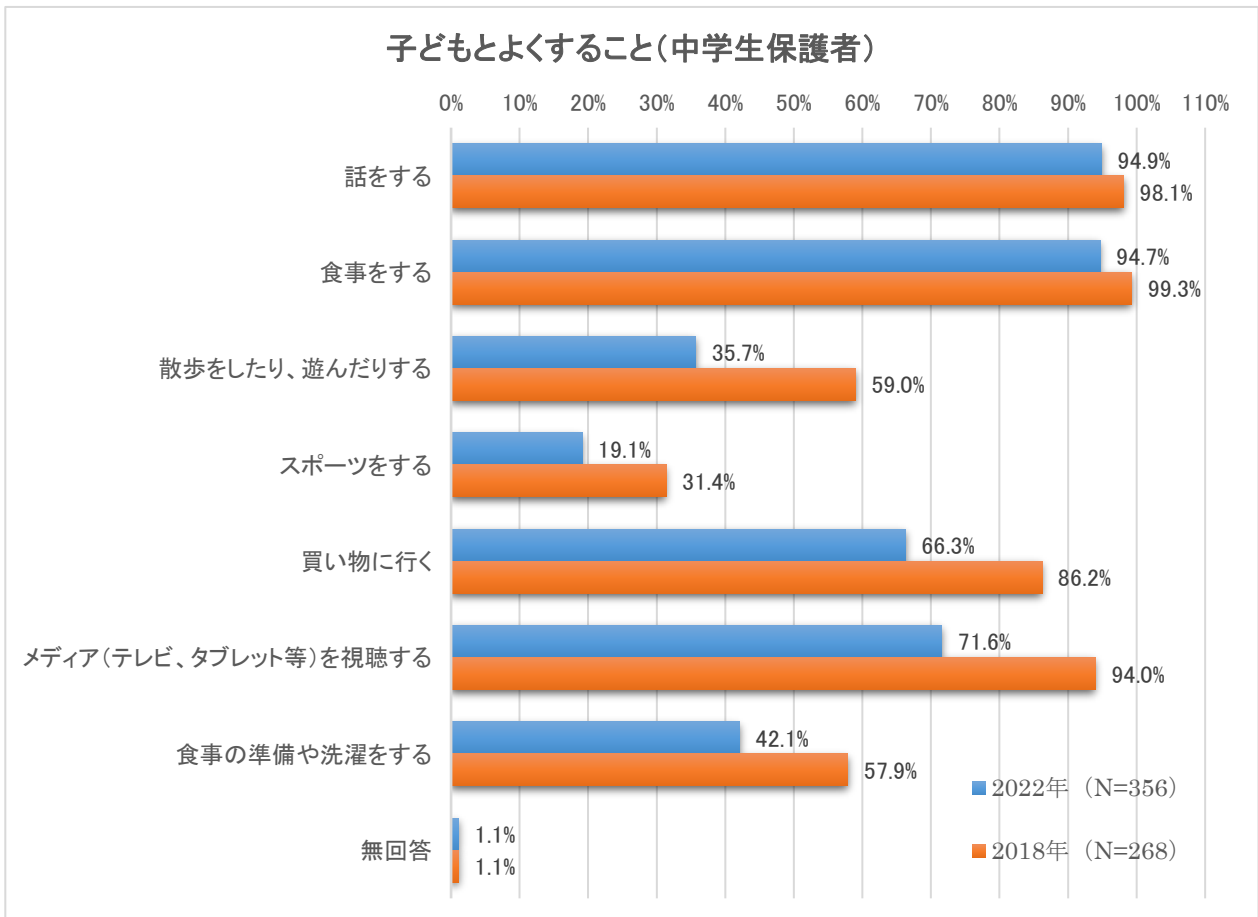
問：子育てでイライラすることがありますか。



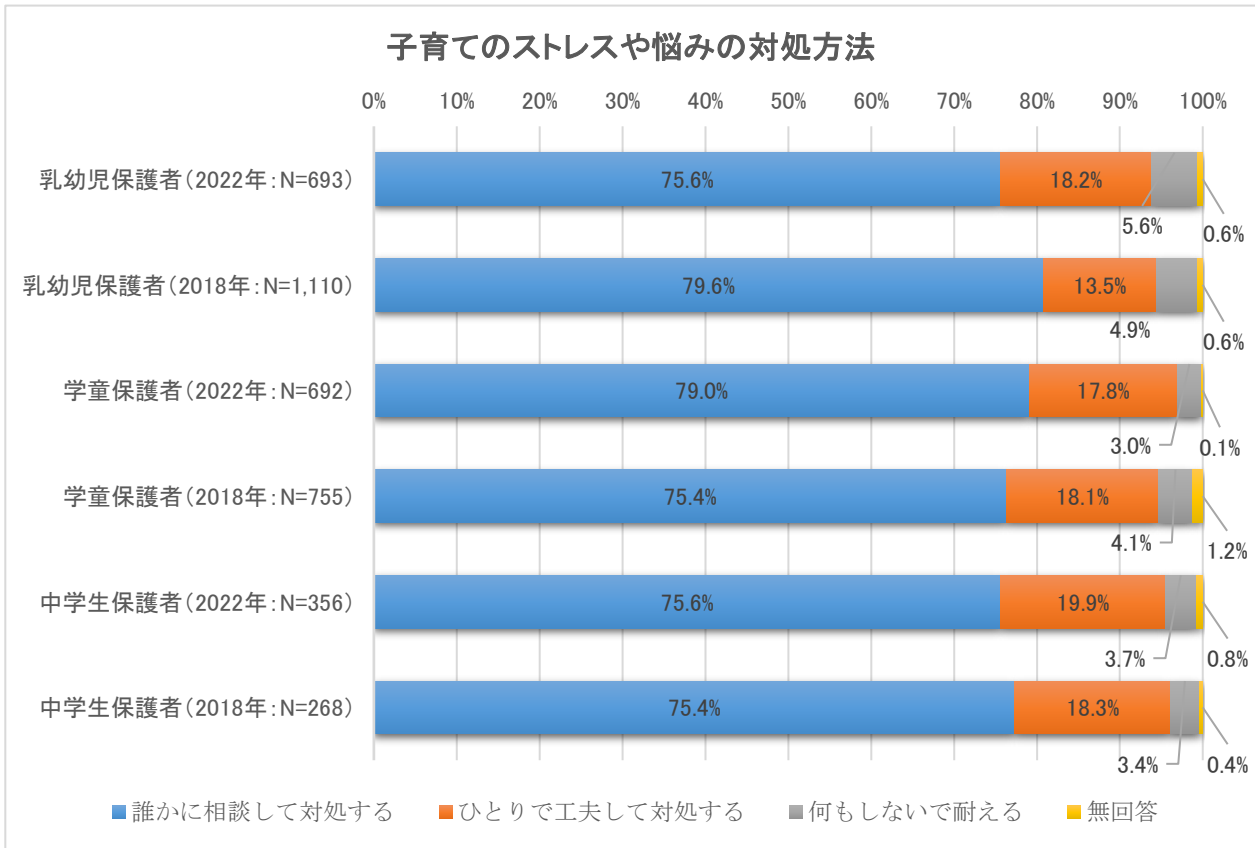
問：ゆったりとした気分でお子さまと過ごせる時間がありますか。



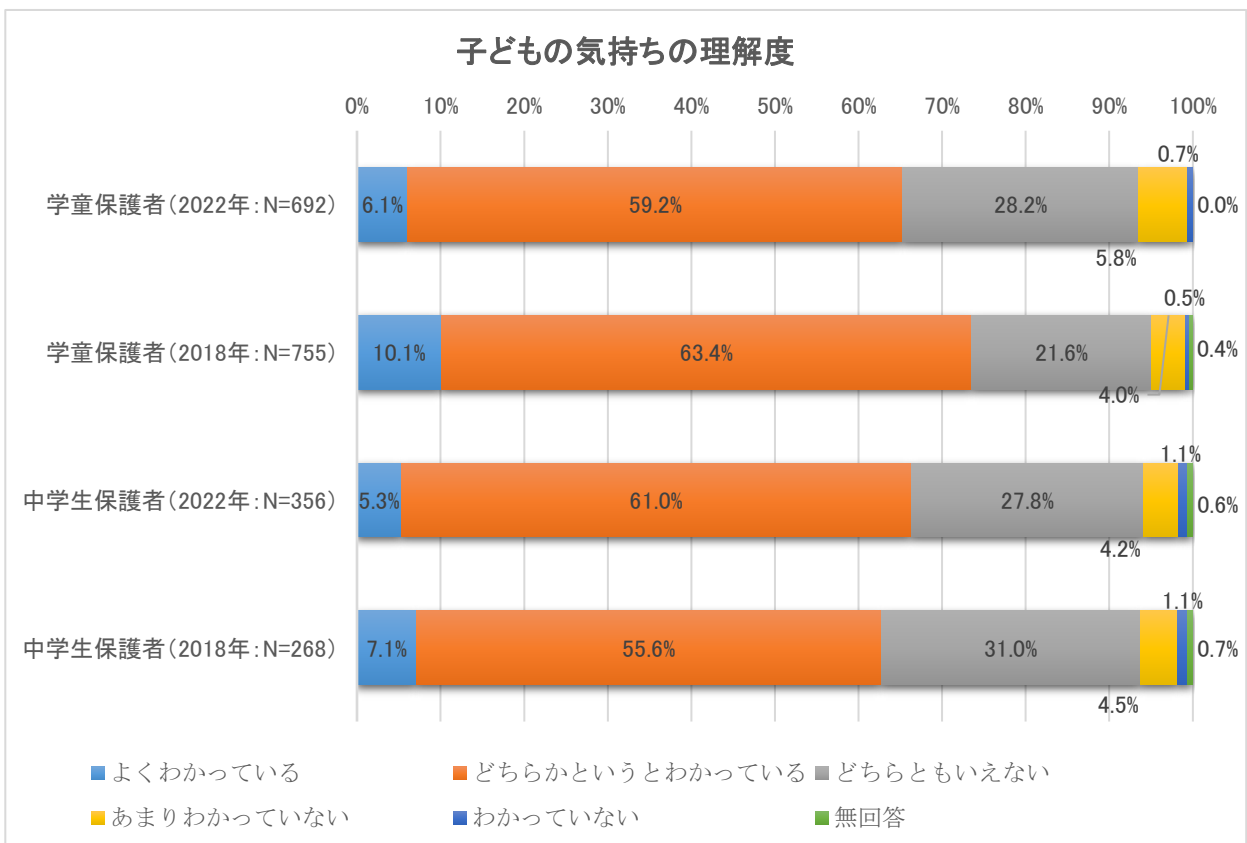
問：普段、お子さまと、一緒にすることを次から選択してください。（複数回答可）



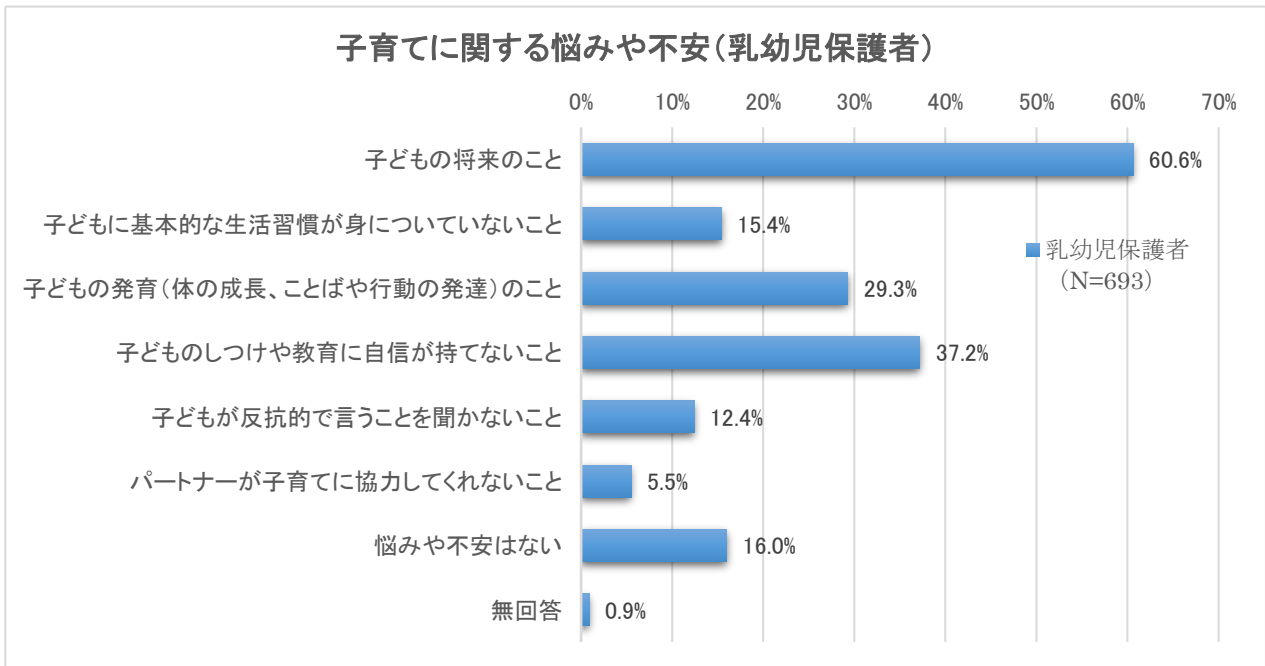
問：あなたが、子育てで、ストレスや悩みを感じたときは、どのように対処していますか。



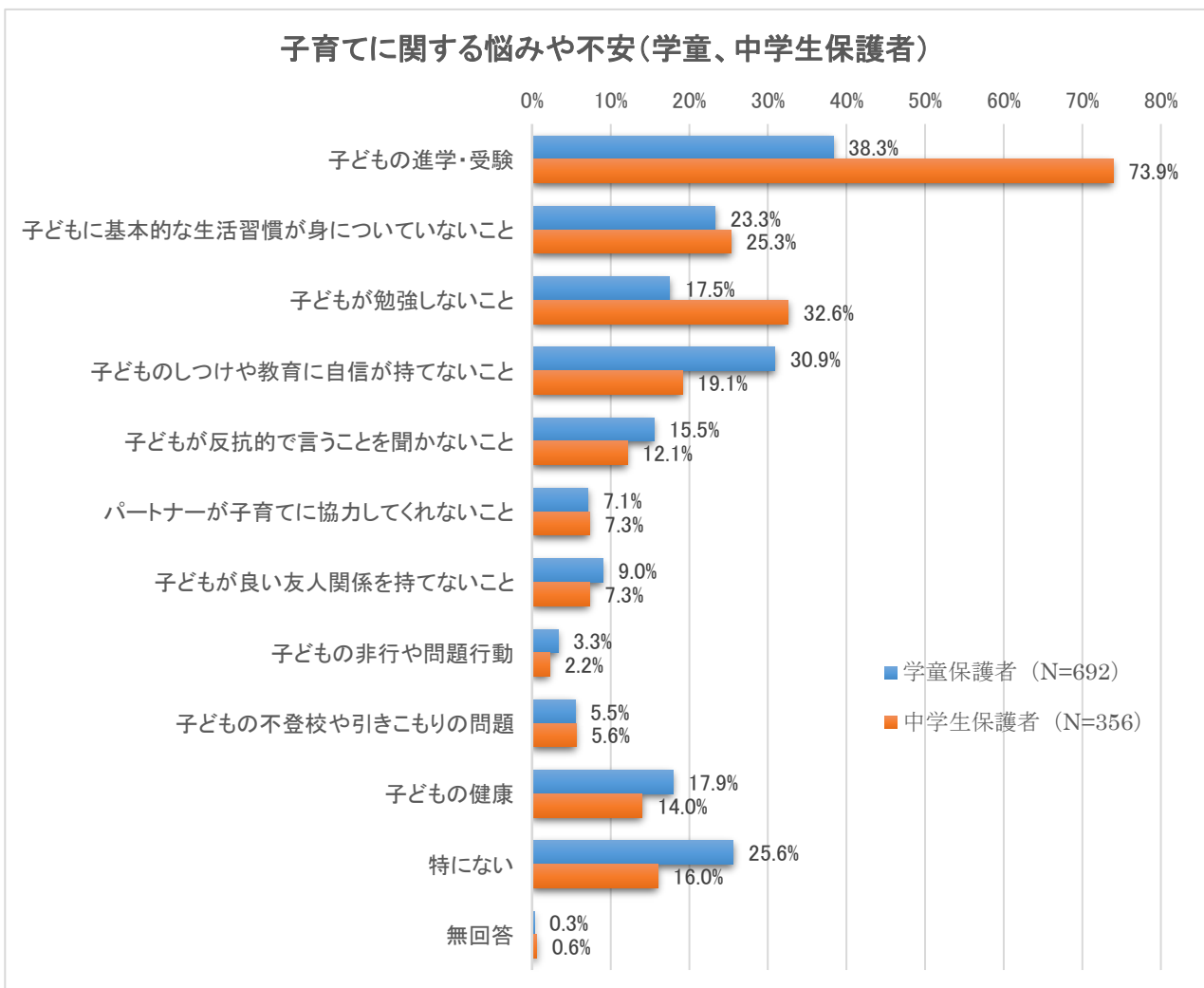
問：あなたは、お子さまの気持ちをわかっていると思いますか。



問：子育てに関する悩みや不安はありますか。（複数回答可）

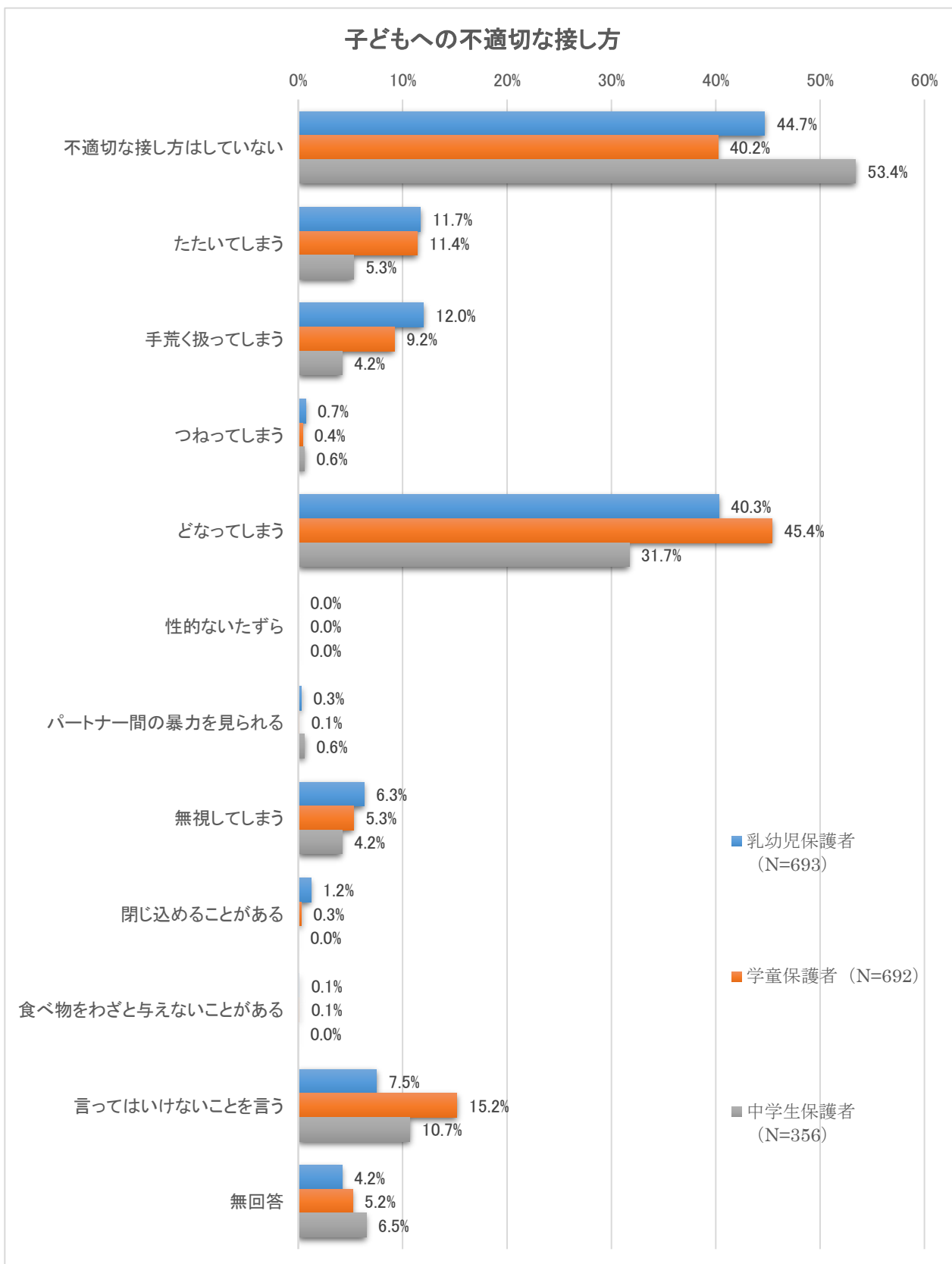


問：次のことについて、不安や悩みはありますか。（複数回答可）

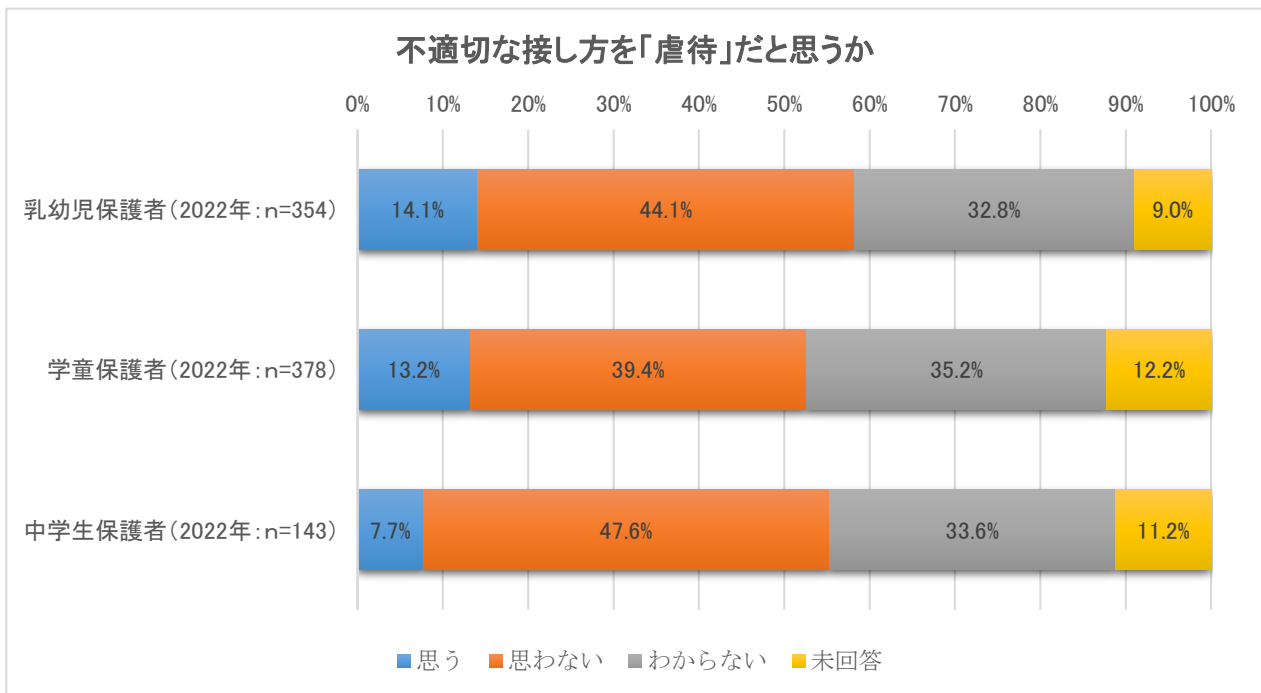


## (2) 子どもとの接し方

問：お子さまに対して、不適切な接し方をしていると思うことがありますか。（複数回答可）

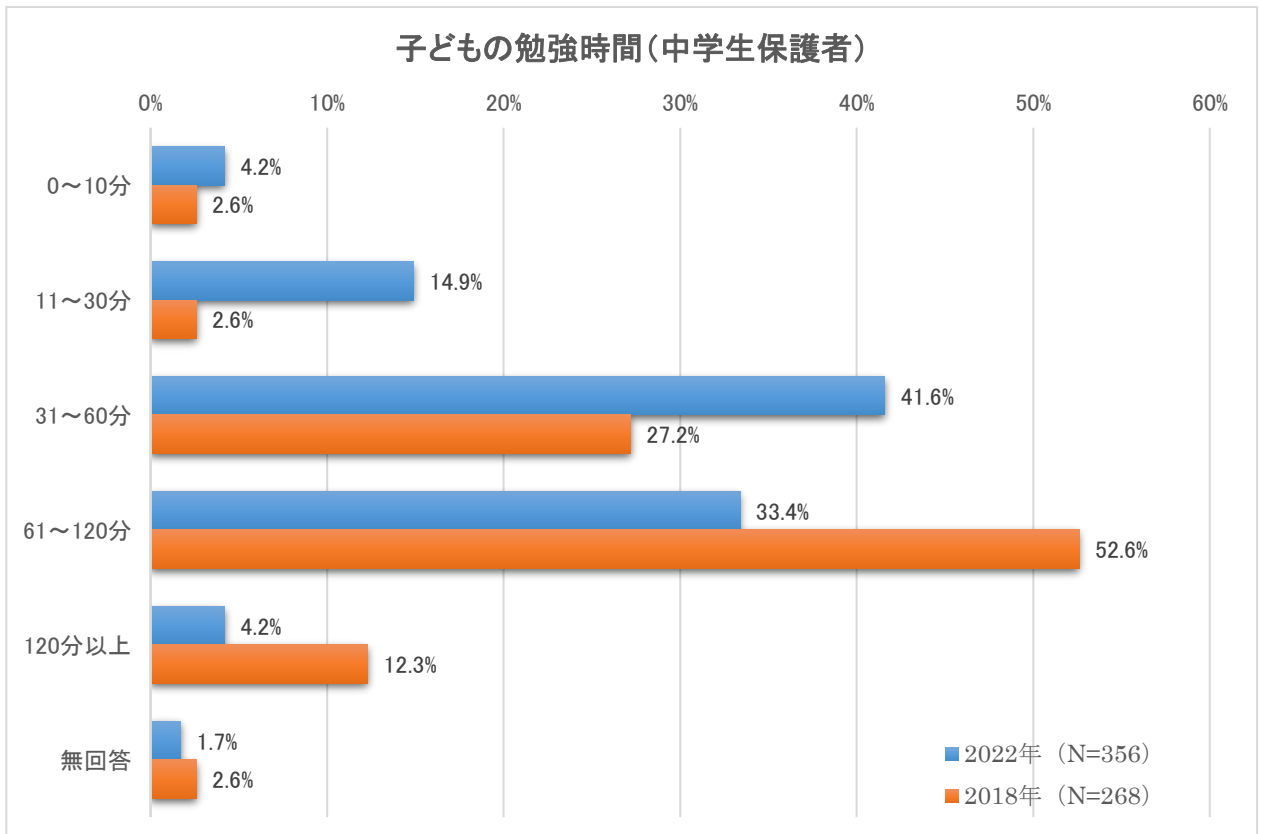


問：前問で、「不適切な接し方はしていない」以外を選択した方にお尋ねします。お子さまに対する不適切な接し方は「虐待」だと思いますか。

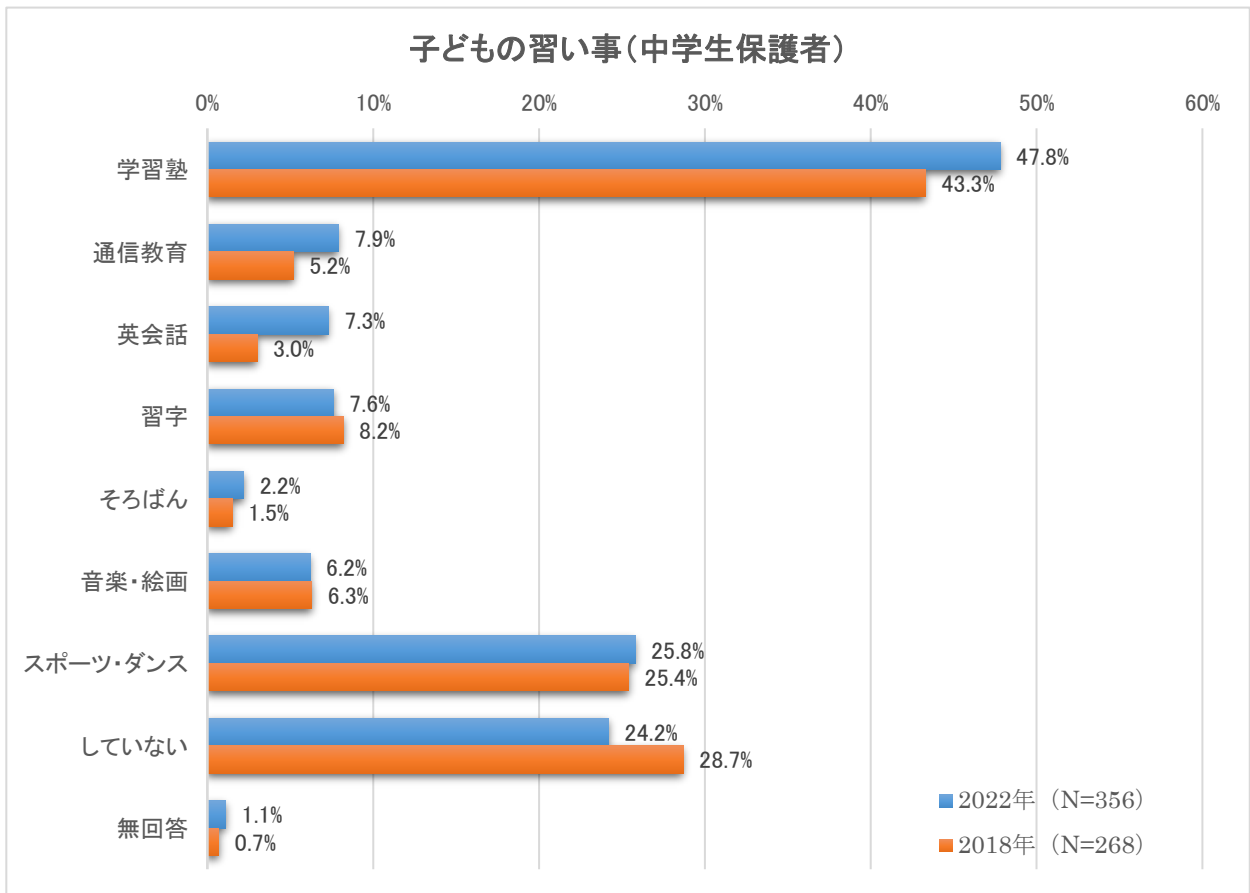


### (3) 子どもの勉強、進学

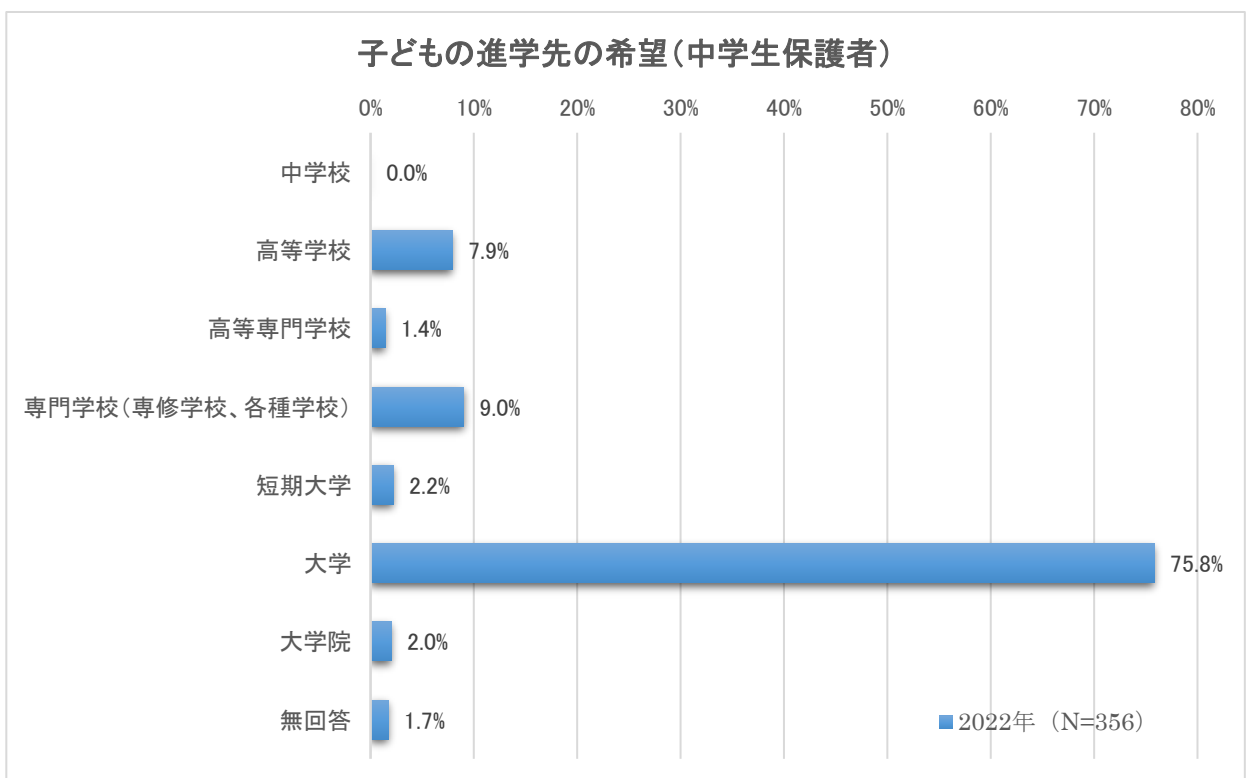
問：お子さまの学校以外での平均的な勉強時間をお尋ねします。



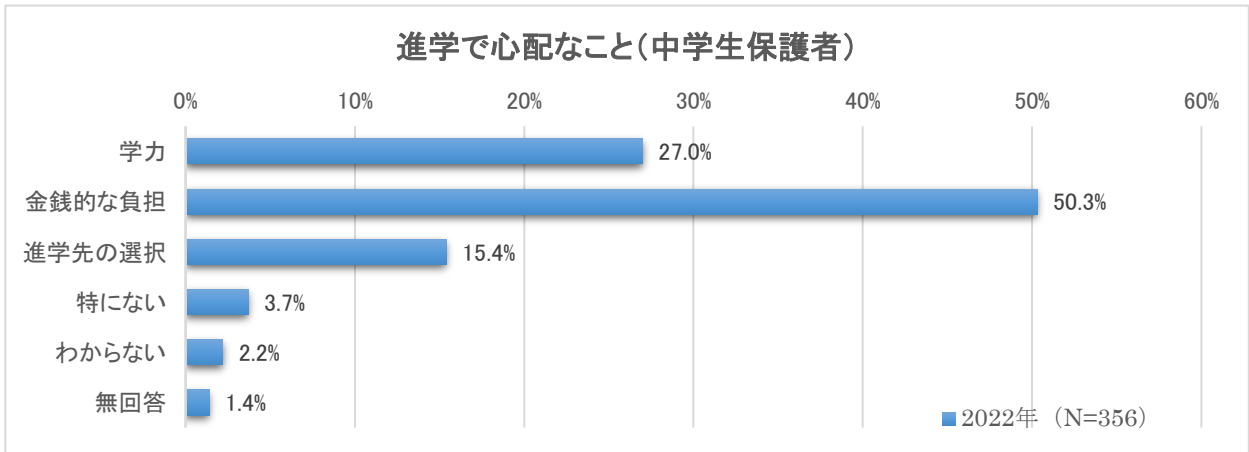
問：お子さまは、習い事をしていますか。（複数回答可）



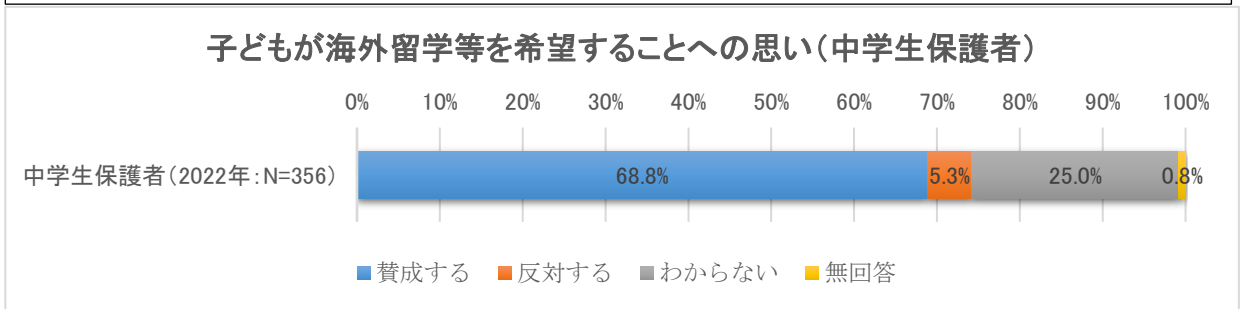
問：お子さまを、将来どの学校まで進学させたいと思いますか。



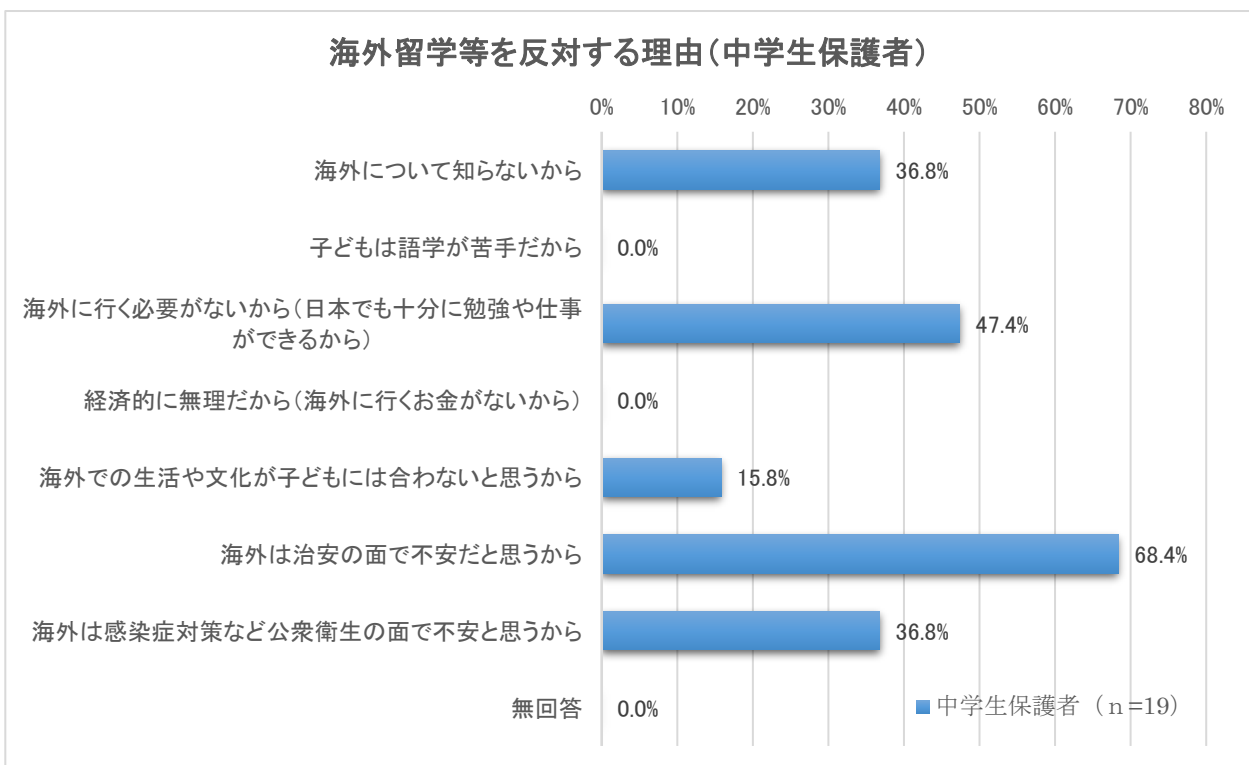
問：前問で選んだ学校に進学させる際、もっとも心配なことは何ですか。



問：将来お子さまが海外留学や海外での仕事を希望したら、どうしたいと思いますか。

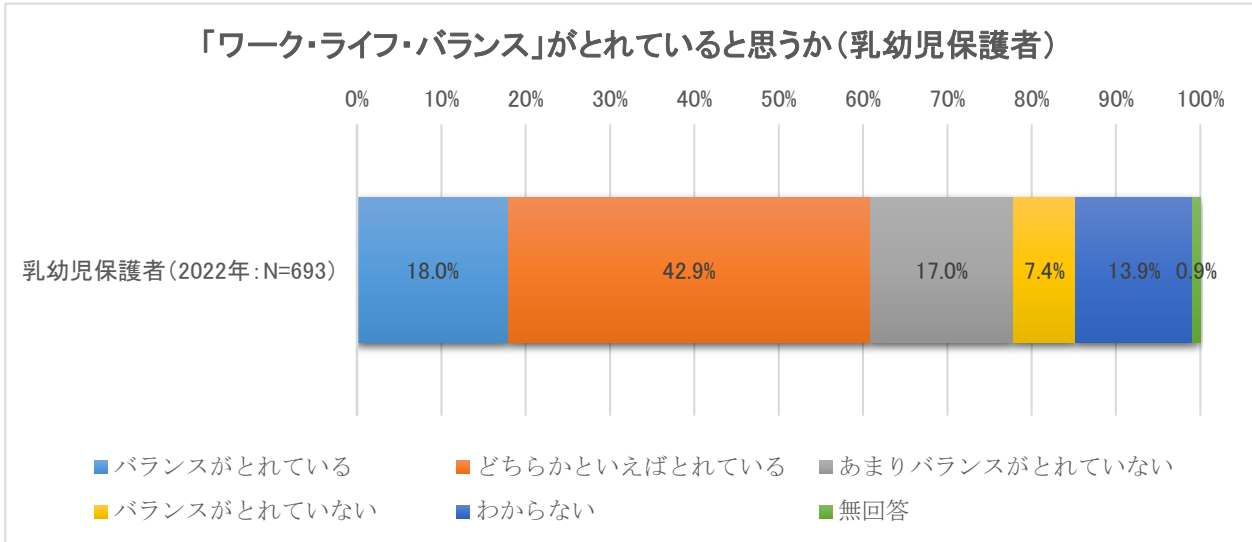


問：前問で「反対する」と回答した方にお尋ねします。理由は何ですか。(複数回答可)

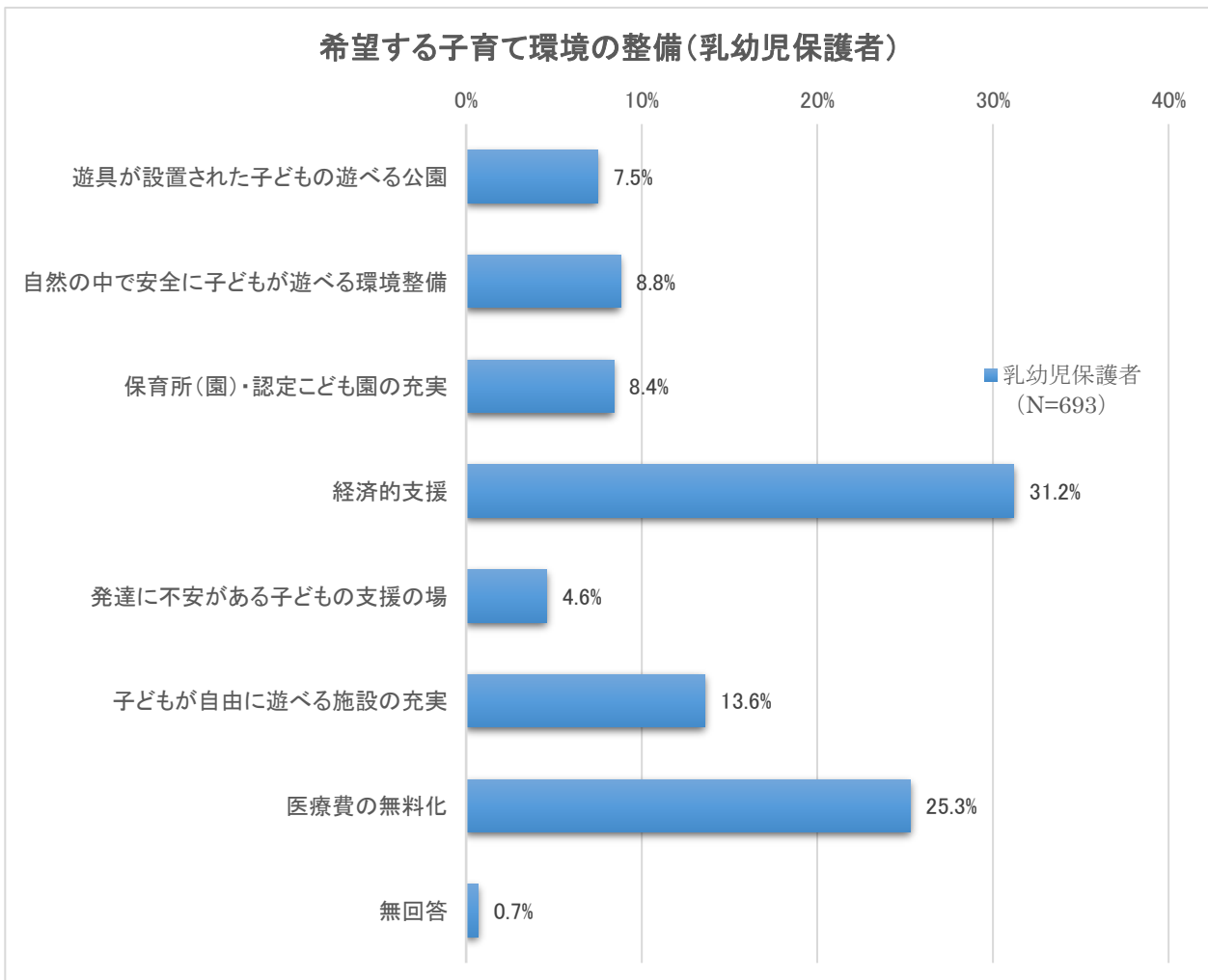


(4) 子育て環境、支援

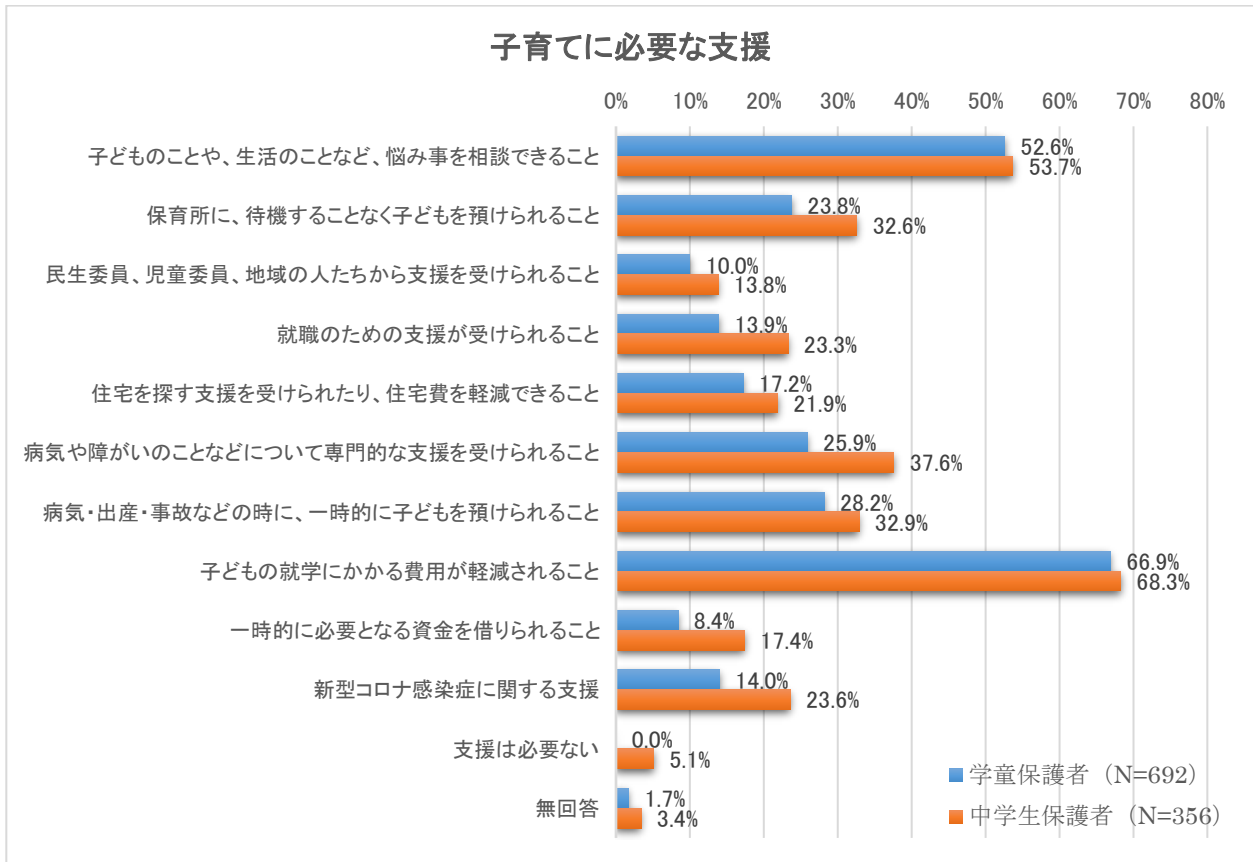
問：あなたは、「ワークライフバランス」がとれていると思いますか。



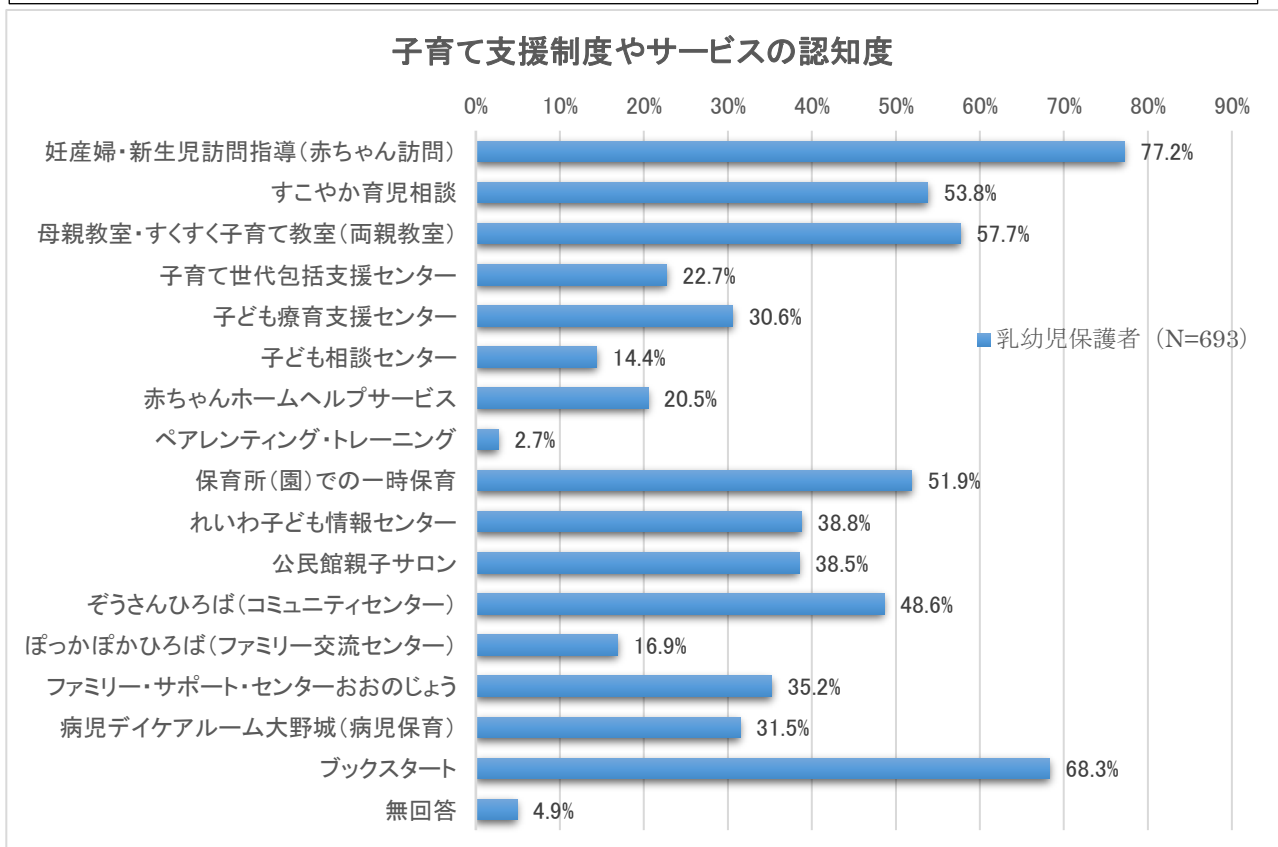
問：大野城市の子育て環境の整備で、すぐにでも取り組んでほしいものを一つ選択してください。



問：あなたが、子育てをする上で、必要としていること、必要だと思う支援はどのようなものですか。（複数回答可）

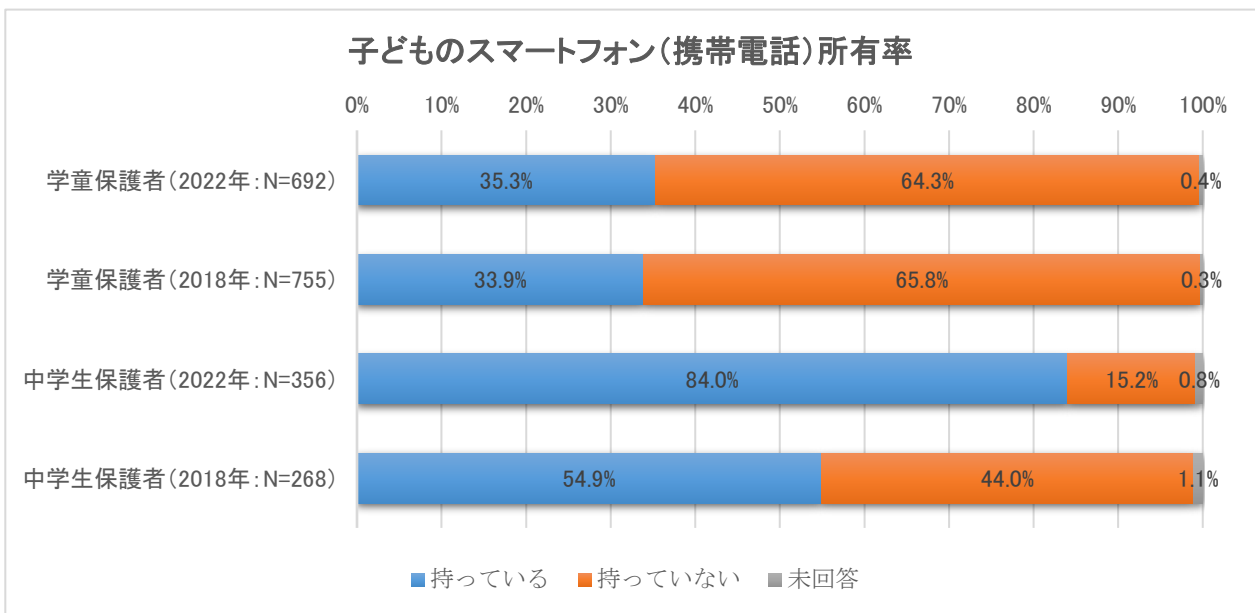


問：大野城市で実施している次の子育て支援制度やサービスを知っていますか。（複数回答可）

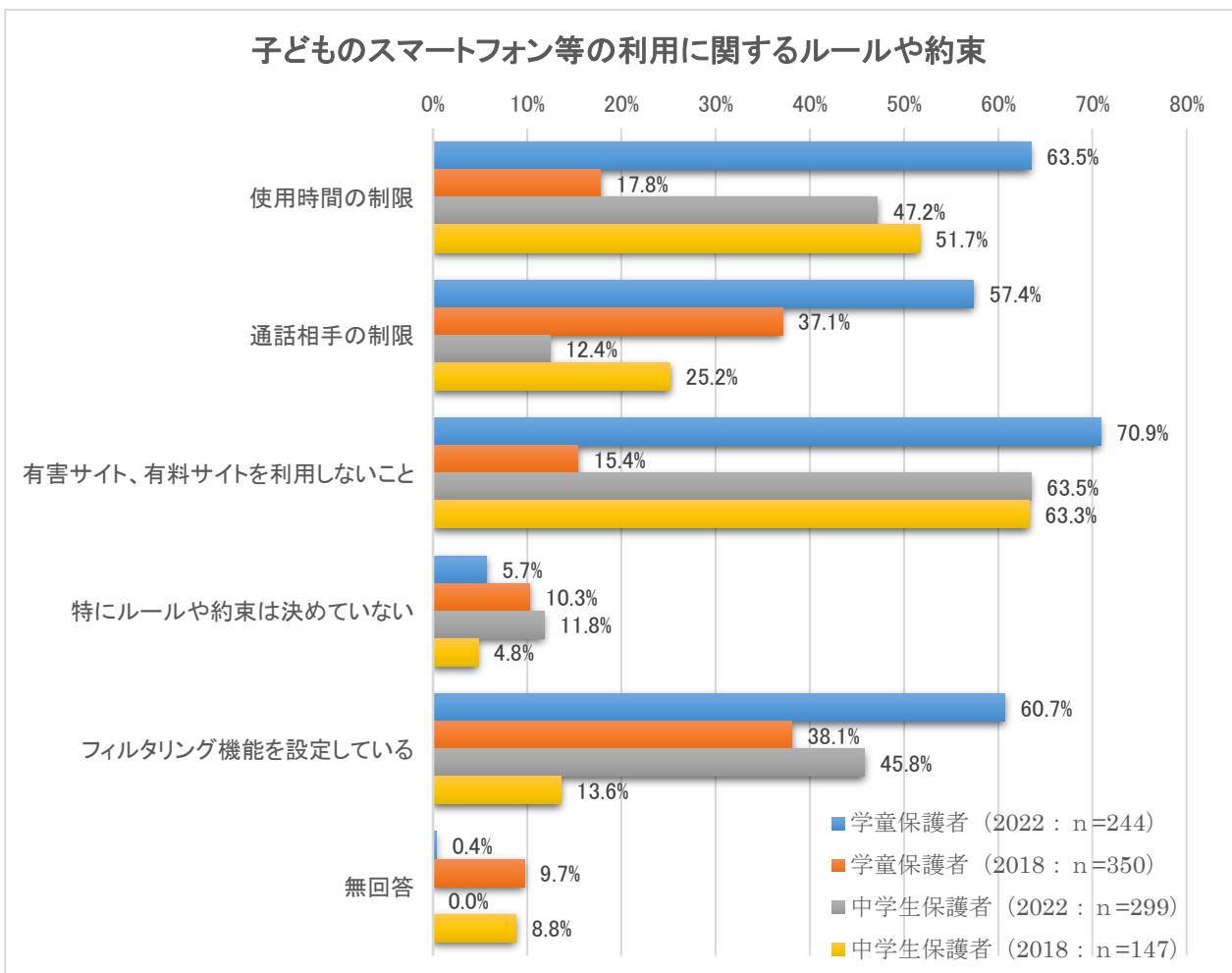


(5) スマートフォン

問：お子さまは、自分専用のスマートフォンを持っていますか。



問：前問で「スマートフォンを持っている」と回答した方にお尋ねします。利用についてのルールや約束を決めていますか。(複数回答可)



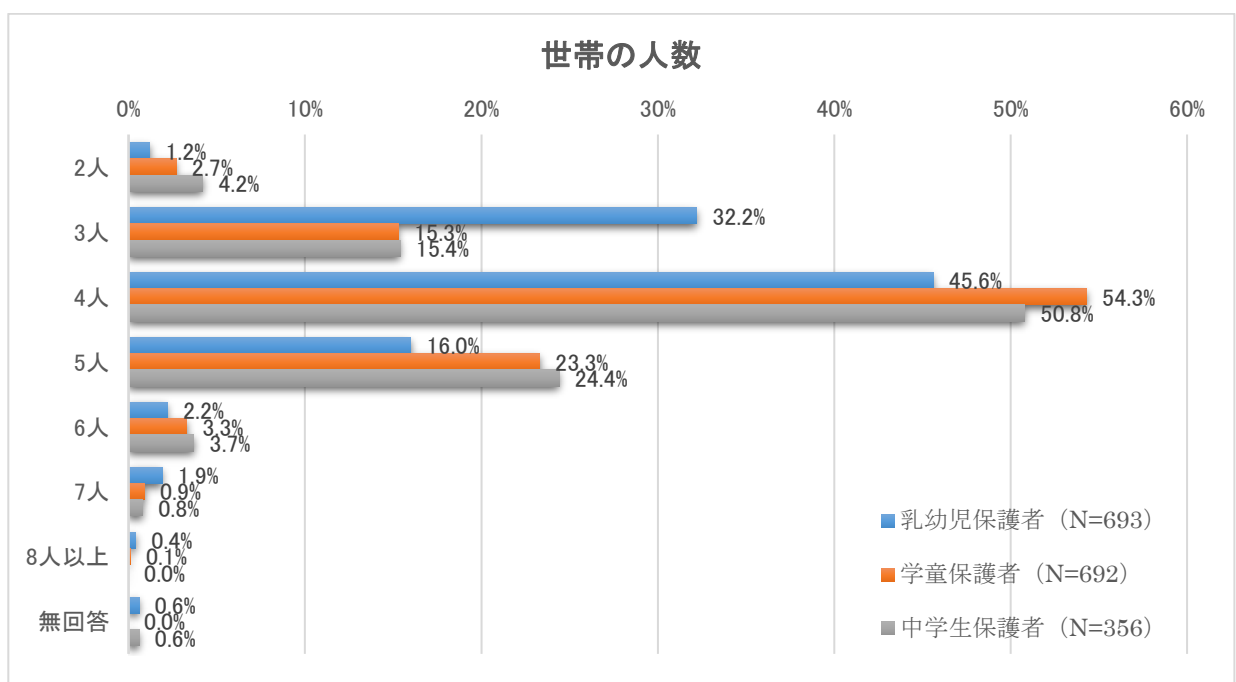
### 3. こどもの貧困

乳幼児保護者・学童保護者・中学生保護者に〈世帯の人数〉〈婚姻状況〉〈収入〉〈経済的理由で支えなかったもの〉について質問し、その回答から厚生労働省が公表している相対的貧困率の算出方法により算出した「貧困線未満世帯」を相対的貧困層とした。(2019年国民生活基礎調査による国の相対的貧困率は15.4%)

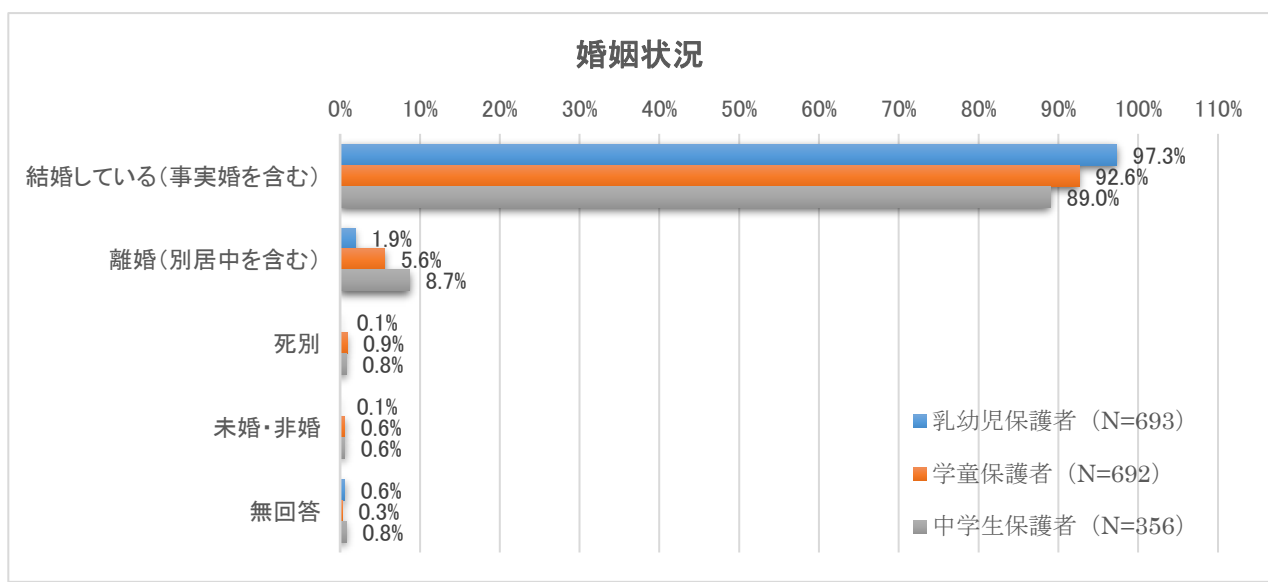
今回のアンケート調査による、大野城市の相対的貧困率は、乳幼児保護者世帯が7.94%、学童保護者世帯が8.24%、中学生保護者世帯が9.83%となっている。

※ 算出方法が異なるため、単純比較はできないが、前回調査時の大野城市における生活困難世帯の割合は、4.7%であった。

問：あなたの世帯の人数は何人ですか。



問：現在のあなたの婚姻状況を教えてください。



各年代の貧困線の表（網掛け部分）

乳幼児保護者

	総数		100万円未満	100	200	250	300	350	400	550	700	850万円未満	1000万円	1200万円以上
				～200万円未満	～250万円未満	～300万円未満	～350万円未満	～400万円未満	～550万円未満	～700万円未満	～1200万円未満			
総数	693		21	16	13	17	26	39	115	178	113	68	38	25
貧困線以上	614	88.60%	0	0	1	11	26	39	115	178	113	68	38	25
内婚姻	609	87.88%	0	0	1	10	26	37	114	178	113	68	38	24
内未婚等	5	0.72%	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	1
貧困線未満(貧困率)	55	7.94%	21	16	12	6	0	0	0	0	0	0	0	0
内婚姻	45	6.49%	15	13	11	6	0	0	0	0	0	0	0	0
内未婚等	10	1.44%	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2人	婚姻		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未婚等		3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
3人	婚姻		7	6	6	4	10	13	36	54	36	18	10	11
	未婚等		2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
4人	婚姻		6	4	3	6	14	16	55	82	53	39	21	8
	未婚等		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5人	婚姻		2	3	1	6	2	5	15	36	19	11	4	4
	未婚等		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6人	婚姻		0	0	0	0	0	2	6	1	3	0	0	1
	未婚等		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7人	婚姻		0	0	1	0	0	1	2	5	2	0	1	0
	未婚等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8人以上	婚姻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	未婚等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	24	3.46%												

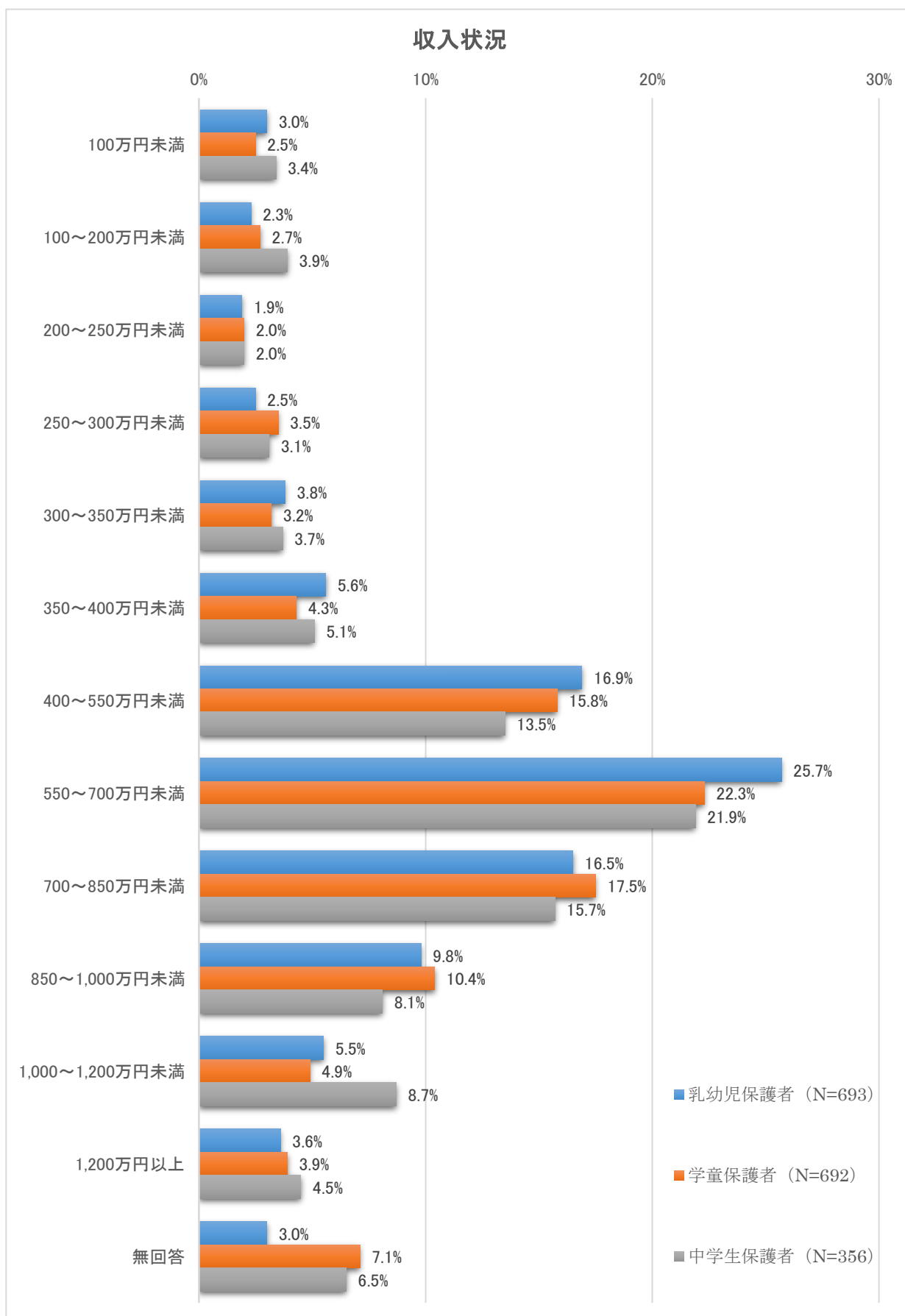
学童保護者

	総数		100 万円 未満	100	200	250	300	350	400	550	700	850 ～ 1000 万円 未満	1000	1200 万円 以上
				～ 200 万円 未満	～ 250 万円 未満	～ 300 万円 未満	～ 350 万円 未満	～ 400 万円 未満	～ 550 万円 未満	～ 700 万円 未満	～ 1000 万円 未満			
総数	692		17	19	14	24	22	30	109	153	121	72	34	27
貧困線 以上	585	84.54%	0	0	5	14	20	30	109	153	121	72	34	27
内婚姻	559	80.78%	0	0	0	11	17	25	105	148	120	72	34	27
内未婚等	26	3.76%	0	0	5	3	3	5	4	5	1	0	0	0
貧困線未 満(貧困 率)	57	<u>8.24%</u>	17	19	9	10	2	0	0	0	0	0	0	0
内婚姻	35	5.06%	12	7	5	9	2	0	0	0	0	0	0	0
内未婚等	22	3.18%	5	12	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2人	婚姻		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	未婚等		0	5	5	0	3	1	1	2	0	0	0	0
3人	婚姻		2	0	0	4	3	6	22	22	16	5	6	0
	未婚等		2	4	2	1	0	2	1	1	1	0	0	0
4人	婚姻		6	3	3	7	8	15	61	82	70	48	15	16
	未婚等		2	3	1	2	0	1	2	2	0	0	0	0
5人	婚姻		2	4	2	7	6	3	20	36	30	14	10	9
	未婚等		1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6人	婚姻		0	0	0	2	1	0	2	6	2	5	2	2
	未婚等		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7人	婚姻		1	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0
	未婚等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8人以上	婚姻		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	未婚等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	50	7.23%												

中学生保護者

	総数		100	100	200	250	300	350	400	550	700	850	1000	1200
			万円未満	～200万円未満	～250万円未満	～300万円未満	～350万円未満	～400万円未満	～550万円未満	～700万円未満	～850万円未満	1000万円～1200万円未満	1200万円以上	
総数	356		12	13	7	11	13	18	48	78	56	29	31	16
貧困線以上	297	83.43%	0	0	1	8	12	18	48	78	56	29	31	16
内婚姻	275	77.25%	0	0	0	4	9	13	42	77	56	28	30	16
内未婚等	22	6.18%	0	0	1	4	3	5	6	1	0	1	1	0
貧困線未満(貧困率)	35	9.83%	12	13	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0
内婚姻	21	5.90%	10	7	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
内未婚等	14	3.93%	2	6	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0
2人	婚姻		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	未婚等		2	2	1	1	2	3	2	0	0	0	0	0
3人	婚姻		0	0	0	1	4	2	5	13	8	3	1	1
	未婚等		0	3	2	2	0	2	4	1	0	0	0	0
4人	婚姻		6	6	1	3	4	7	25	42	29	16	16	9
	未婚等		0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0
5人	婚姻		2	0	0	3	1	3	10	19	15	7	11	6
	未婚等		0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6人	婚姻		0	1	0	0	0	1	1	3	4	2	1	0
	未婚等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7人	婚姻		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	未婚等		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8人以上	婚姻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未婚等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	24	6.74%												

問：前年のあなたの世帯全員の収入の合計額を教えてください。



問：過去1年間で、経済的理由で必要な物が買えなかったことや、支払いが遅れたり、できなかったものはありますか。

